

障がい福祉に関するアンケート 報告書

平成27年3月
長岡京市

目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果概要	2
(1) 回答者属性	2
(2) 日常生活での介助について	2
(3) 障がいの状況について	2
(4) 住まいや暮らしについて	3
(5) 日中活動や就労について	4
(6) 障がい福祉サービスの利用状況と利用意向	5
(7) 相談相手について	5
(8) 権利擁護について	5
(9) 災害時の避難等について	6
3. 調査結果	7
1. 回答者属性	7
(1) アンケート記入者	7
(2) 年齢	7
(3) 性別	8
(4) 一緒に暮らしている人	9
2. 日常生活での介助について	10
(1) 日常生活で介助が必要なこと	10
3. 障がいの状況について	19
(1) 身体障害者手帳について	19
(2) 身体障害者手帳の主たる障がいについて	20
(3) 療育手帳について	21
(4) 精神障害者保健福祉手帳について	22
(5) 難病認定について	23
(6) 発達障がいとしての診断	24
(7) 高次脳機能障害としての診断	26
(8) 現在受けている医療的ケア	27
4. 住まいや暮らしについて	28
(1) 現在の暮らし方	28
(2) 地域で生活するためにあるとよい支援	29
(3) 現在の生活で困っていることや不安に思うこと	36

5. 日中活動や就労について	43
（1）一週間の外出の頻度	43
（2）一緒に外出する人	43
（3）外出の目的	44
（4）外出の際に困ることや外出をとりやめた経験	45
（5）平日の日中の主な過ごし方	46
（6）働く意欲の有無	48
（7）職業訓練等の受講意向	49
（8）障がい者の就労支援として必要なこと	49
（9）病院に関することで困っていること	51
6. 障がい福祉サービス等利用について	52
（1）障害支援（程度）区分の認定	52
（2）障がい福祉サービスの利用状況と意向	53
7. 相談相手について	67
（1）悩みや困ったことの相談先	67
（2）障がい福祉に関する情報の入手先	68
8. 権利擁護について	69
（1）障がいがあることで差別や嫌な思いをした経験	69
（2）長岡京市民の障がい者に対する理解	70
（3）成年後見人制度の認知	70
9. 災害時の避難等について	71
（1）災害時の一人での避難	71
（2）近所に自分を助けてくれる人がいるか	74
（3）災害時に障がいがあることで困ることや心配なこと	78
10. 自由記述	85

■ 資料編

1. 調査概要

■ 目的

障がい者の生活状況や福祉サービスの利用状況、利用意向などを把握し、「障がい福祉計画」「障がい者（児）福祉基本計画」の基礎資料とすることを目的とし調査を実施した。

■ 方法

郵送による配布・回収

■ 調査期間

平成 26 年 8 月 20 日～平成 26 年 9 月 10 日

■ 対象と回収の状況

	身体障がい	知的障がい	精神障がい
調査対象者	身体障害者手帳所持者	療育手帳所持者	精神障害者保健福祉手帳所持者
抽出方法	無作為抽出 (ただし、療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者を除き、「64歳以下」と「65歳以上」に区分し、抽出割合を約1/2と約1/5としました)	全数抽出 (ただし、精神障害者保健福祉手帳所持者を除く)	全数抽出
抽出基準日	平成26年6月1日		
配布数	2,272件		
	合計：1,262件 17歳以下：28件 64歳以下：544件 65歳以上：690件	合計：438件 17歳以下：99件 64歳以下：325件 65歳以上：14件	合計：572件 17歳以下：5件 64歳以下：442件 65歳以上：125件
有効回答数(率)	1,142件 (50.2%) ※下記「アンケート回答による回答者属性」には手帳所持の設問で所持する障がい者手帳が不明な回答件数を含まないため、有効回答数(率)とは一致しません。		
(参考) 抽出方法及び アンケート回答による回答者属性	648件 (51.3%) 17歳以下：12件 64歳以下：258件 65歳以上：363件 年齢不明：15件	223件 (50.9%) 17歳以下：37件 64歳以下：169件 65歳以上：8件 年齢不明：9件	218件 (38.1%) 17歳以下：4件 64歳以下：157件 65歳以上：53件 年齢不明：4件

※1：回答者属性はアンケート調査の結果から算出している。合計には年齢の「不明・無回答」を含む

※2：有効回答数には手帳所持に関する設問の「手帳なし」「不明・無回答」を含む

2. 調査結果概要

(1) 回答者属性

「男性」が約5割、女性が4.5割とやや男性が多くなっています。

「60歳代」が最も多く約2割、次いで「70歳代」「80歳代以上」が1.5割などとなっています。

「独居」は1割強、同居している人は「配偶者」が最も多く約4割、次いで「父母」が約3割、「子ども」が約2割などとなっています。

(2) 日常生活での介助について

「全部介助が必要」なことは、全体では「お金の管理」が最も多く、次いで「薬の管理」、「外出」となっています。また三障がい共通して「外出」「お金の管理」、「薬の管理」が上位となっています。

「一部介助が必要」なことについては、「身体障がい」では「外出」、「知的障がい」では「家族以外の人に自分の考えを伝えること」、「精神障がい」では「家族以外の人に、自分の考えを伝える」「お金の管理」が最も多くなっています。

■ 全部介助が必要なこと

	全体 (n=1,142)	身体障がい (n=749)	知的障がい (n=247)	精神障がい (n=218)
第1位	お金の管理 22.1%	外出 21.8%	お金の管理 53.0%	薬の管理 19.3%
第2位	薬の管理 21.4%	お金の管理 19.2%	薬の管理 51.0%	お金の管理 18.3%
第3位	外出 18.1%	薬の管理 18.8%	外出 28.7%	外出 13.3%

(3) 障がいの状況について

身体障害者手帳は約7.5割が所持しており、「1級」が約2割、「2級」から「4級」が1割から1.5割、「5級」「6級」は1割以下となっています。「17歳以下」「18～64歳」「65歳以上」の年齢別にみると、どの年代も「1級」が最も多く、「17歳以下」「18～64歳」では「2級」が、「65歳以上」では「4級」が2番目に多くなっています。身体障害者手帳の所持の主たる障がいは「肢体不自由」が最も多く約5割、次いで「内部障がい」が3割弱となっています。

療育手帳は約2割が所持しており、「A判定」「B判定」とともに約1割となっています。

精神障害者保健福祉手帳は約3割が所持しており、「2級」が最も多く約1割となっています

発達障害として診断を受けた人は1割強、「17歳以下」では約2割となっています。

難病認定を受けている人は1割弱となっています。

(4) 住まいや暮らしについて

「家族と暮らしている」が最も多く7割強、次いで「一人で暮らしている」が1割強となっています。また、「福祉施設で暮らしている」「病院に入院している」はそれぞれ1割以下となっています。

将来の暮らし方について、「福祉施設で暮らしている」人は「今のまま生活したい」が最も多く6割強(37人)、次いで「家族と一緒に生活したい」が2割強(13人)などとなっています。

「病院に入院している」人は「家族と一緒に生活したい」が最も多く3.5割強(12人)、次いで「今のまま生活したい」「グループホームなどを利用したい」が2割弱(6人)などとなっています。

地域で生活するためにあるとよい支援は、「全体」では「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く、三障がいに共通して「必要な福祉サービスが適切に利用できること」「生活に必要なお金の負担が軽減されること」「緊急時に助けてくれる人がいること」が上位となっています。また、「身体障がい」「知的障がい」は「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く、「精神障がい」では「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が最も多くなっています。

■ 地域で生活するためにあるとよい支援

	全体 (n=1,142)	身体障がい (n=413)	知的障がい (n=233)	精神障がい (n=135)
第1位	必要な福祉サービスが適切に利用できること 64.2%	必要な福祉サービスが適切に利用できること 65.4%	必要な福祉サービスが適切に利用できること 68.2%	生活に必要なお金の負担が軽減されること 72.6%
第2位	生活に必要なお金の負担が軽減されること 61.0%	生活に必要なお金の負担が軽減されること 56.2%	緊急時に助けてくれる人がいること 67.8%	必要な福祉サービスが適切に利用できること 63.0%
第3位	緊急時に助けてくれる人がいること 56.1%	緊急時に助けてくれる人がいること 55.7%	生活に必要なお金の負担が軽減されること 66.5%	緊急時に助けてくれる人がいること 58.5%

現在の生活で困っていることや不安に思うことは、「全体」では「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く、三障がいに共通して「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が上位となっています。「知的障がい」では介助者や地域の中に親しい人がいないなど「人」に関わることが、「精神障がい」では経済的なことが上位となっています。

■ 現在の生活で困っていることや不安に思うこと

	全体 (n=1,142)	身体障がい (n=425)	知的障がい (n=232)	精神障がい (n=136)
第1位	自分の健康や体力に自信がない 37.6%	自分の健康や体力に自信がない 39.5%	将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である 53.0%	自分の健康や体力に自信がない 47.8%
第2位	将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である 34.1%	将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である 29.4%	家族など介助者の健康状態に不安がある 30.2%	将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である 40.4%
第3位	家族など介助者の健康状態に不安がある 24.5%	家族など介助者の健康状態に不安がある 27.1%	地域の中に親しい人がいない 25.9%	生活に必要なお金が足りない 33.1%

(5) 日中活動や就労について

外出の際に困ることや外出をとりやめた理由は、「発作など突然の体調不良が心配である」が最も多く3割強、次いで「道路（歩道）や駅に階段や段差が多い」「困った時にどうすればいいのか心配である」が約3割、「電車やバスの乗り降りが難しい」が3割弱となっています。

会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている人は2割弱であり、勤務形態は「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が最も多く約3.5割、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が3割強などとなっています。

働く意欲がある人は4割強、このうち実際に就労している人は5割弱となっています。

障がい者の就労支援として必要なこととして、「職場の障がい者理解」が最も多く約6.5割、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が約6割、「短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮」が約4.5割などとなっています。

（６）障がい福祉サービスの利用状況と利用意向

利用しているサービスは「計画相談支援・障がい児相談支援」が最も多く約 1.5 割、次いで「移動支援」「日常生活用具等給付」が約 1 割となっています。

利用意向は「全体」では「移動支援」が最も多く約 3 割、次いで「計画相談支援・障がい児相談支援」が 3 割弱、「相談支援」2.5 割強、「短期入所」「自立訓練」が約 2.5 割などとなっています。

また、三障がいに共通して「移動支援」が上位となっています。

■ 障がい福祉サービスの利用意向

	全体 (n=1,142)	身体障がい (n=749)	知的障がい (n=247)	精神障がい (n=218)
第 1 位	移動支援 30.8%	移動支援 30.8%	計画相談支援・ 障がい児相談支援 57.5%	移動支援 33.7%
第 2 位	計画相談支援・ 障がい児相談支援 28.3%	日常生活用具等 給付 30.4%	成年後見制度 利用支援 49.0%	計画相談支援・ 障がい児相談支援 29.2%
第 3 位	相談支援 27.6%	居宅介護 26.3%	相談支援 47.8%	相談支援 28.5%
第 4 位	短期入所 26.4%	短期入所 25.5%	共同生活援助 44.9%	短期入所 28.4%
第 5 位	自立訓練 25.6%	生活介護 25.0%	移動支援 42.5%	自立訓練 26.1%

（７）相談相手について

悩みや困ったことの相談先は「家族や親せき」が最も多く 7.5 割弱、次いで「かかりつけの医師や看護師」が「友人・知人」が 3 割弱などとなっています。

（８）権利擁護について

障がいがあることで差別を受けた、または嫌な思いをしたことがある人は約 3.5 割となっています。（「ある」「少しある」の合計）また、そのような経験をした場所は「学校・職場」が最も多く約 4.5 割、次いで「近所」が約 2.5 割、「住んでいる地域」が 2 割強となっています。

成年後見人制度について「名前も内容も知っている」は約 3.5 割、「名前も内容も知らない」が約 2.5 割となっています。

(9) 災害時の避難等について

災害時の一人での避難について、「できる」と「できない」が4割弱、「わからない」が約2割となっています。「身体障がい」「知的障がい」で「できない」が最も多く、「知的障がい」が5.5割強、「身体障がい」が約4割となっています。「精神障がい」で「できる」が最も多く4.5割となっています。

近所に自分を助けてくれる人がいるかについて、「いる」が2割強、「いない」が4割弱、「わからない」が3割強となっています。三障がい共通して「いない」が最も多く、「知的障がい」「精神障がい」が約5割、「身体障がい」が3割強となっています。

災害時に障がいがあることで困ることや心配なことは、「身体障がい」「知的障がい」では「安全なところまで、すばやく避難することができない」が最も多く、「精神障がい」では「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が最も多くなっています。

■ 災害時に障がいがあることで困ることや心配なこと

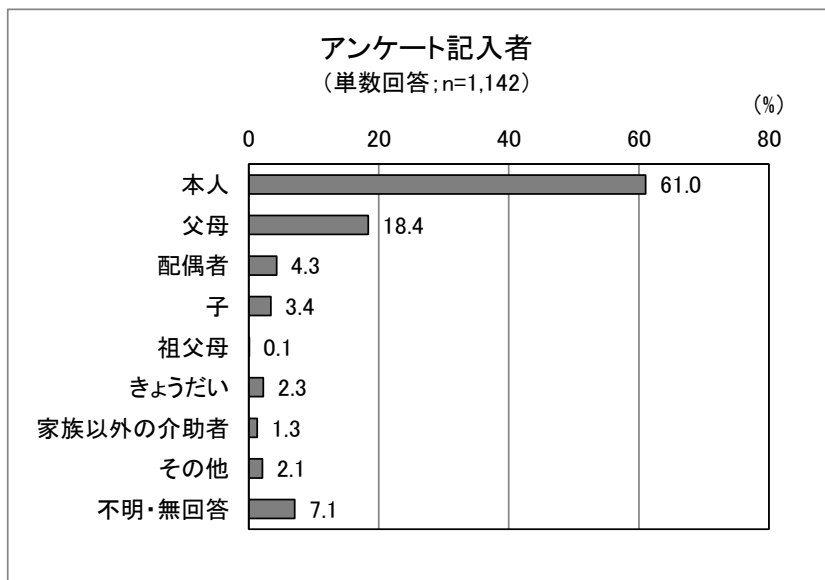
	全体 (n=1,055)	身体障がい (n=433)	知的障がい (n=228)	精神障がい (n=136)
第1位	安全なところまで、 すばやく避難する ことができない 48.5%	安全なところまで、 すばやく避難する ことができない 55.2%	安全なところまで、 すばやく避難する ことができない 62.3%	治療が受けられな い、薬がもらえな い、医療的ケアが受 けられない 60.0%
第2位	治療が受けられな い、薬がもらえな い、医療的ケアが受 けられない 44.7%	治療が受けられな い、薬がもらえない、 医療的ケアが受けら れない 45.0%	避難場所の生活環 境（他人との関わり 等）が不安 58.3%	避難場所の生活環 境（他人との関わり 等）が不安 48.8%
第3位	避難場所の設備（ト イレ等）が不安 41.2%	避難場所の設備（ト イレ等）が不安 41.8%	周囲とコミュニケ ーションがとれな い 54.4%	周囲とコミュニケ ーションがとれな い 40.4%

3. 調査結果

1. 回答者属性

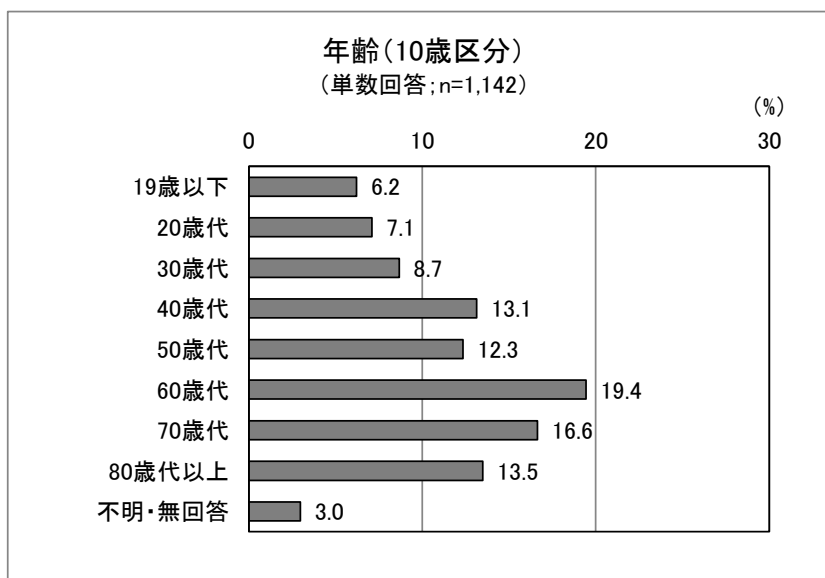
(1) アンケート記入者

「本人」が最も多く 61.0%、次いで「父母」が 18.4%などとなっています。



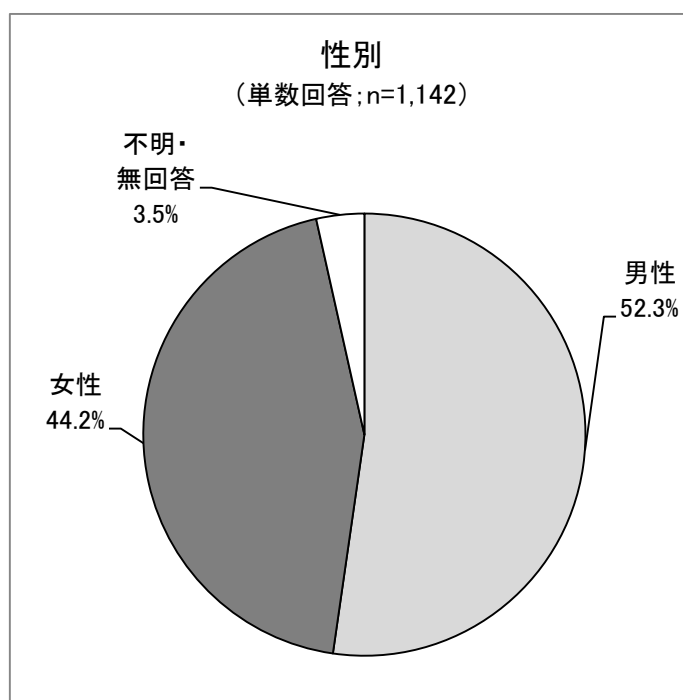
(2) 年齢

「60 歳代」が最も多く 19.4%、次いで「70 歳代」が 16.6%、「80 歳代以上」が 13.5%などとなっています。



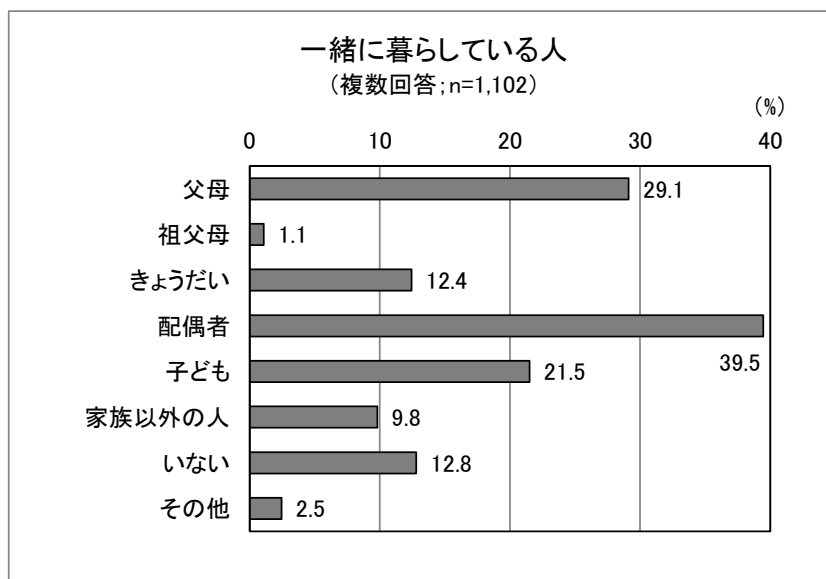
(3) 性別

「男性」が 52.3%、「女性」が 44.2%となっています。



(4) 一緒に暮らしている人

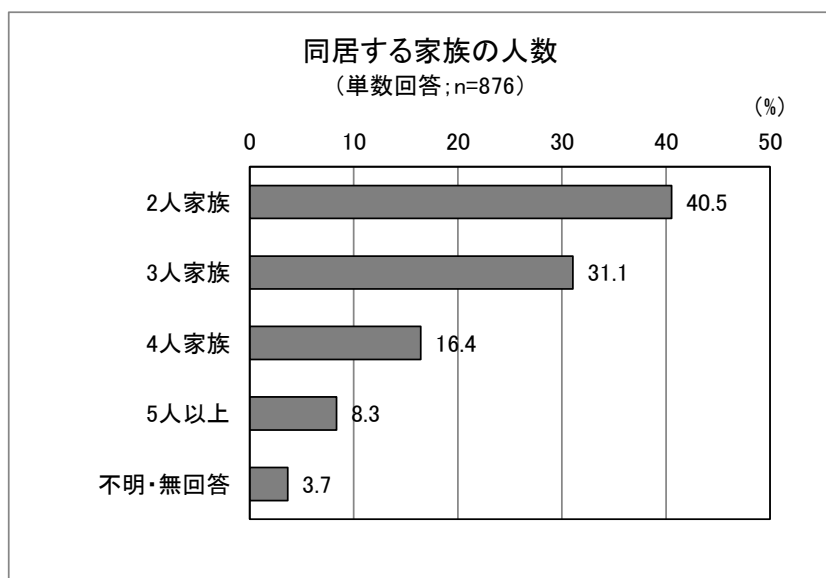
「配偶者」が最も多く 39.5%、次いで「父母」が 29.1%、「子ども」が 21.5%などとなっています。
また、「いない」が 12.8%となっています。



【家族と同居している人】

(同居する家族の人数)

「2人家族」が最も多く 40.5%、次いで「3人家族」が 31.1%などとなっています。



※ 本人を含む

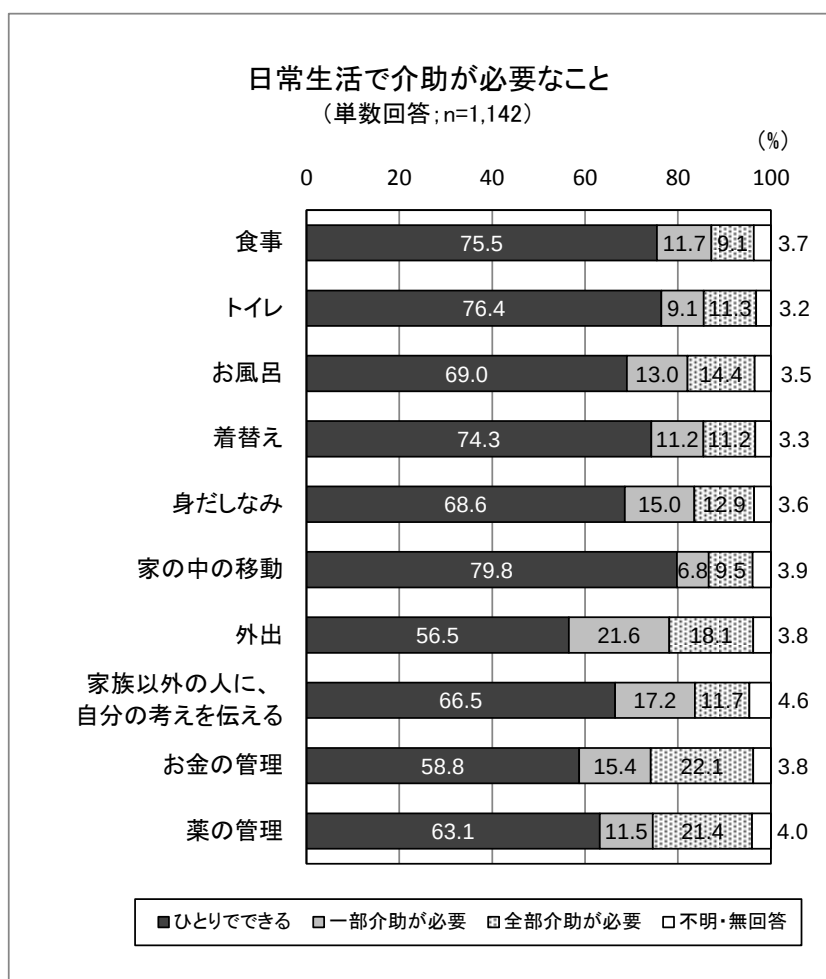
2. 日常生活での介助について

(1) 日常生活で介助が必要なこと

「ひとりでできる」は「家の中の移動」が最も多く 79.8%、次いで「トイレ」が 76.4%、「食事」が 75.5%、「着替え」が 74.3%などとなっています。

「一部介助が必要」は「外出」が最も多く 21.6%、次いで「家族以外の人に、自分の考えを伝える」が 17.2%、「お金の管理」が 15.4%、「身だしなみ」が 15.0%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く 22.1%、次いで「薬の管理」が 21.4%、「外出」が 18.1%などとなっています。



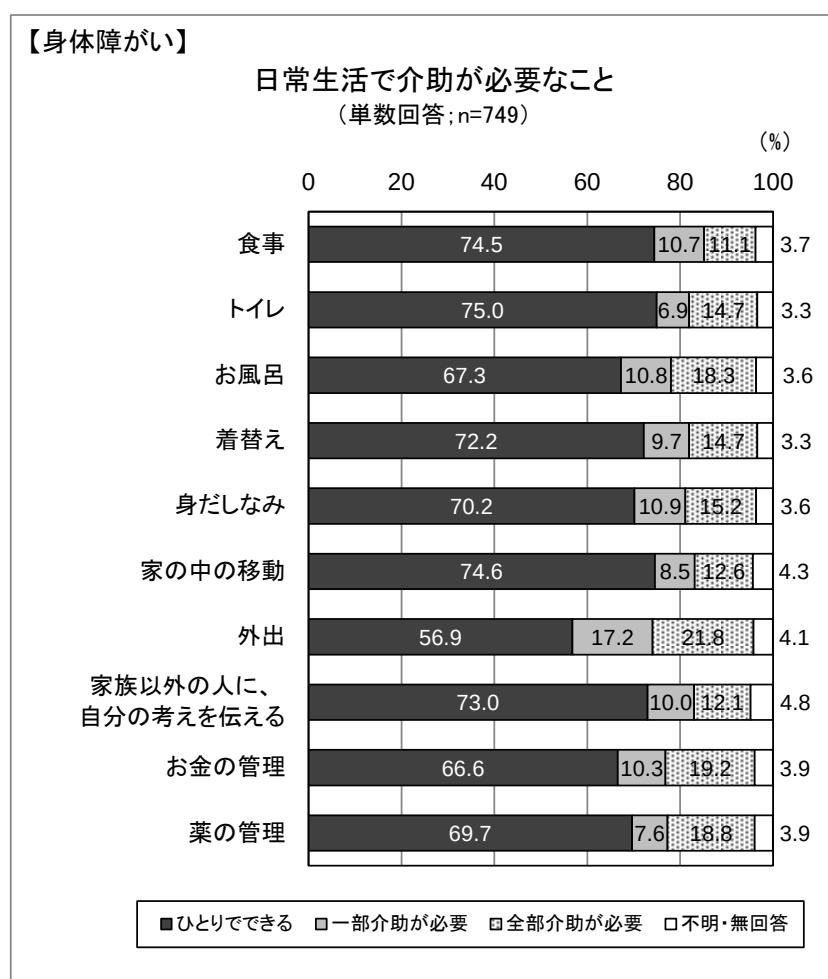
【障がい種別】

(身体障がい)

「ひとりでできる」は「トイレ」が最も多く 75.0%、次いで「家の中の移動」が 74.6%、「着替え」が 74.5%などとなっています。

「一部介助が必要」は「外出」が最も多く 17.2%、次いで「身だしなみ」が 10.9%、「お風呂」が 10.8%などとなっています。

「全部介助が必要」は「外出」が最も多く 21.8%、次いで「お金の管理」が 19.2%「薬の管理」が 18.8%などとなっています。

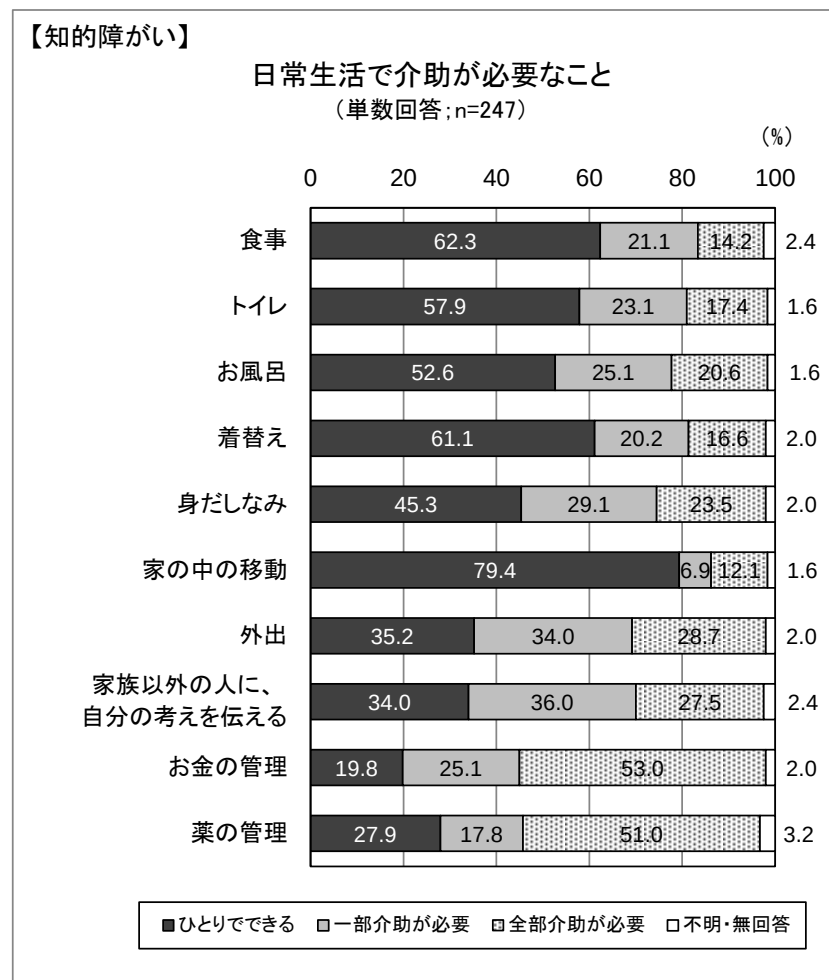


(知的障がい)

「ひとりでできる」は「家の中の移動」が最も多く 79.4%、次いで「食事」が 62.3%、「着替え」が 61.1%などとなっています。

「一部介助が必要」は「家族以外の人に自分の考えを伝えること」が最も多く 36.0%、次いで「外出」が 34.0%、「身だしなみ」が 29.1%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く 53.0%、次いで「薬の管理」が 51.0%、「外出」が 28.7%などとなっています。

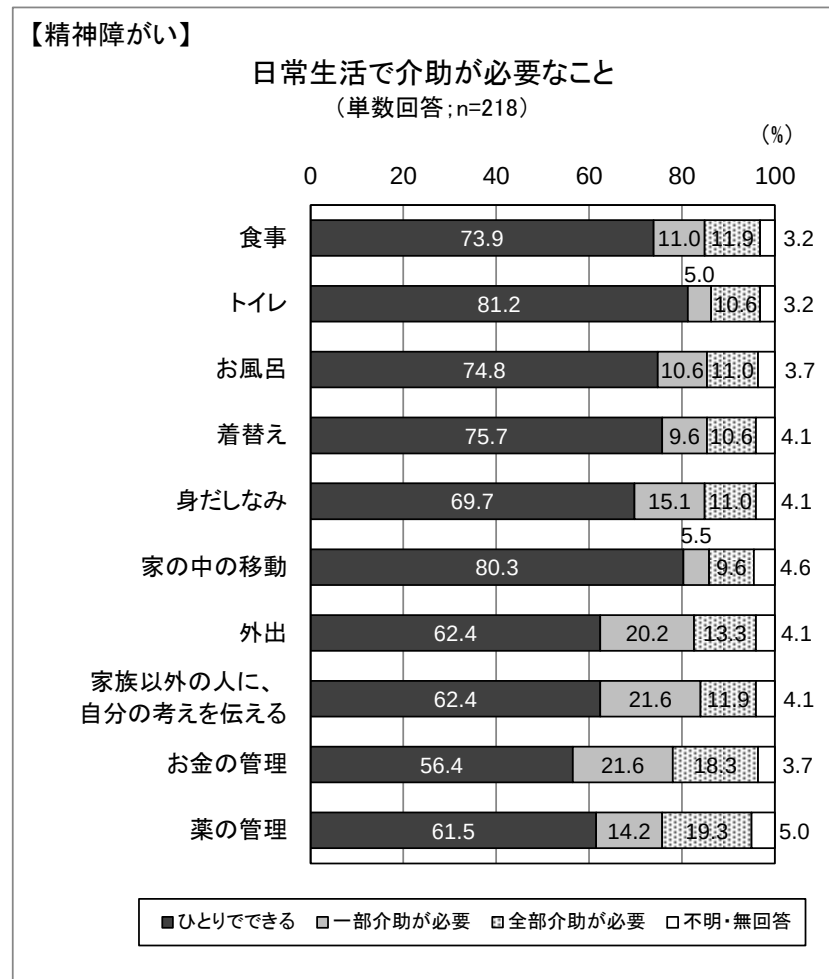


(精神障がい)

「ひとりでできる」は「トイレ」が最も多く 81.2%、次いで「家の中の移動」が 80.3%、「着替え」が 75.7%などとなっています。

「一部介助が必要」は「家族以外の人に、自分の考えを伝える」「お金の管理」が最も多く 21.6%、次いで「外出」が 20.2%などとなっています。

「全部介助が必要」は「薬の管理」が最も多く 19.3%、次いで「お金の管理」が 18.3%「外出」が 13.3%などとなっています。

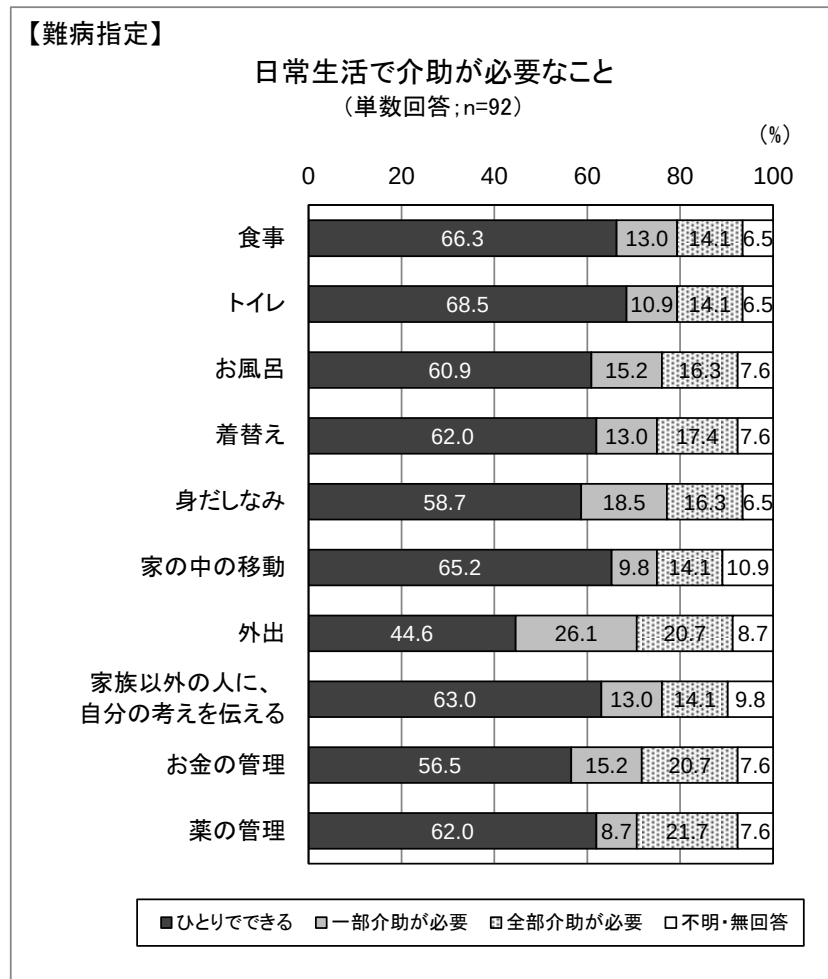


(難病指定)

「ひとりでできる」は「トイレ」が最も多く 68.5%、次いで「食事」が 66.3%、「家の中の移動」が 65.2%などとなっています。

「一部介助が必要」は「外出」が最も多く 26.1%、次いで「身だしなみ」が 18.5%、「お風呂」「お金の管理」が 15.2%などとなっています。

「全部介助が必要」は「薬の管理」が最も多く 21.7%、次いで「外出」「お金の管理」が 20.7%などとなっています。

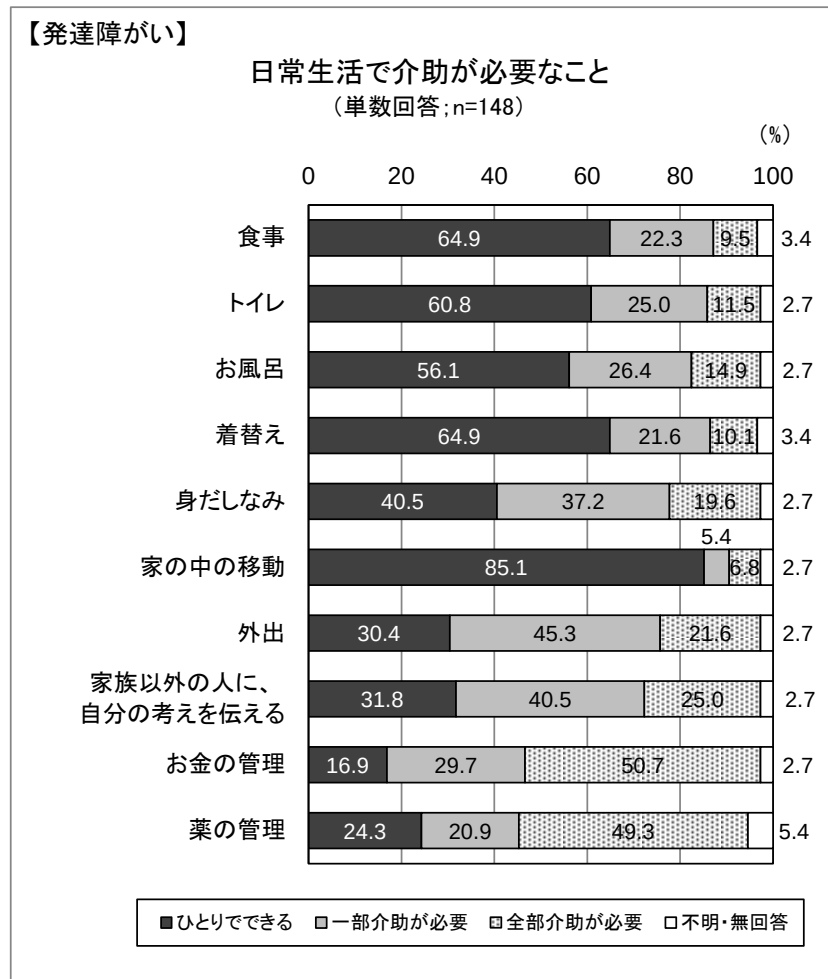


(発達障がい)

「ひとりでできる」は「家の中の移動」が最も多く 85.1%、次いで「食事」「着替え」が 64.9%などとなっています。

「一部介助が必要」は「外出」が最も多く 45.3%、次いで「家族以外の人に自分の考えを伝えること」が 40.5%、「身だしなみ」が 37.2%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く 50.7%、次いで「薬の管理」が 49.3%などとなっています。

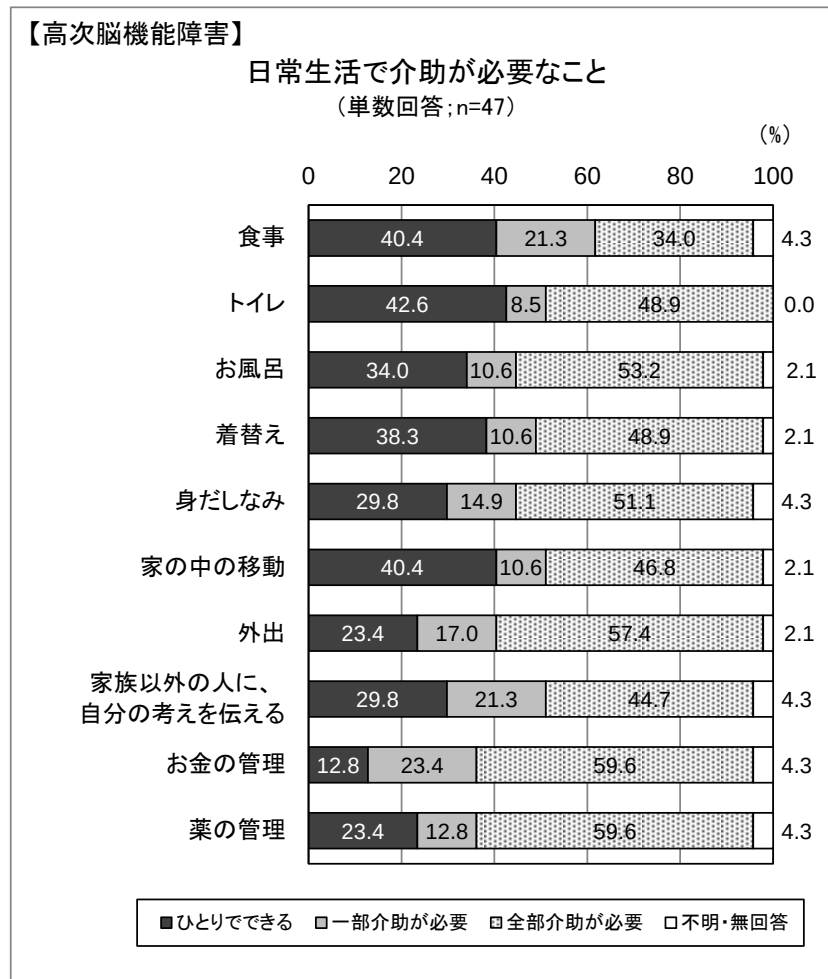


（高次脳機能障害）

「ひとりでできる」は「トイレ」が最も多く 42.6%、次いで「食事」「家の中の移動」が 40.4%などとなっています。

「一部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く 23.4%、次いで「食事」「家族以外の人に自分の考えを伝えること」が 21.3%などとなっています。

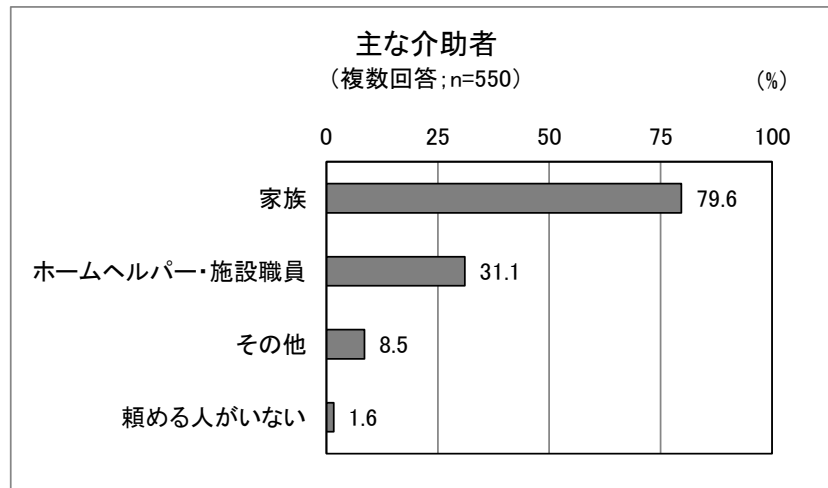
「全部介助が必要」は「お金の管理」「薬の管理」が最も多く 59.6%、次いで「外出」が 57.4%などとなっています。



【介助が必要な人】

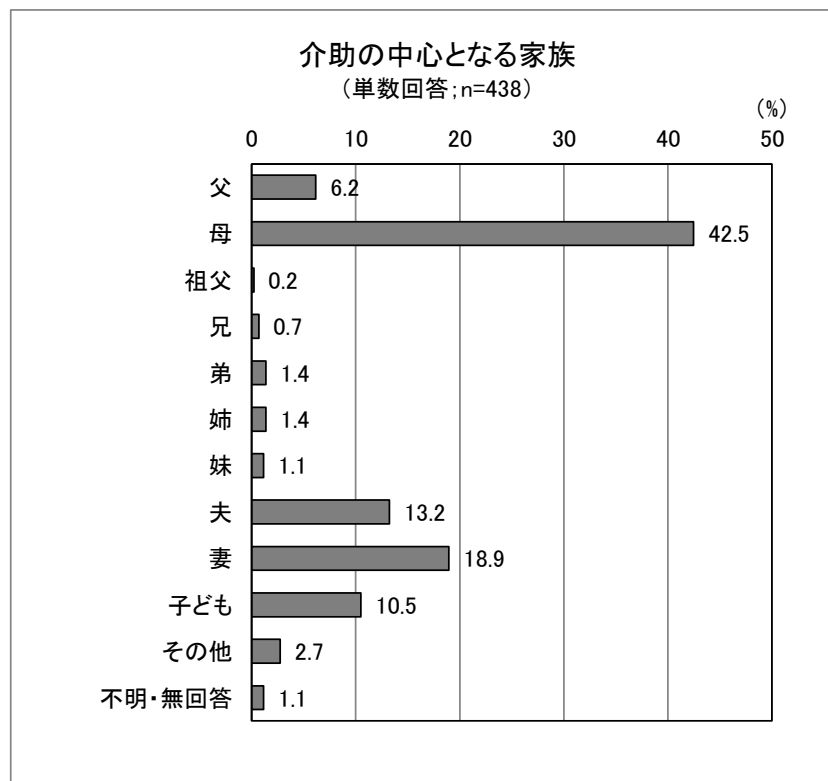
① 主な介助者

「家族」が最も多く 79.6%、次いで「ホームヘルパー・施設職員」が 31.1%となっています。一方、「頼める人がいない」が 1.6%となっています。



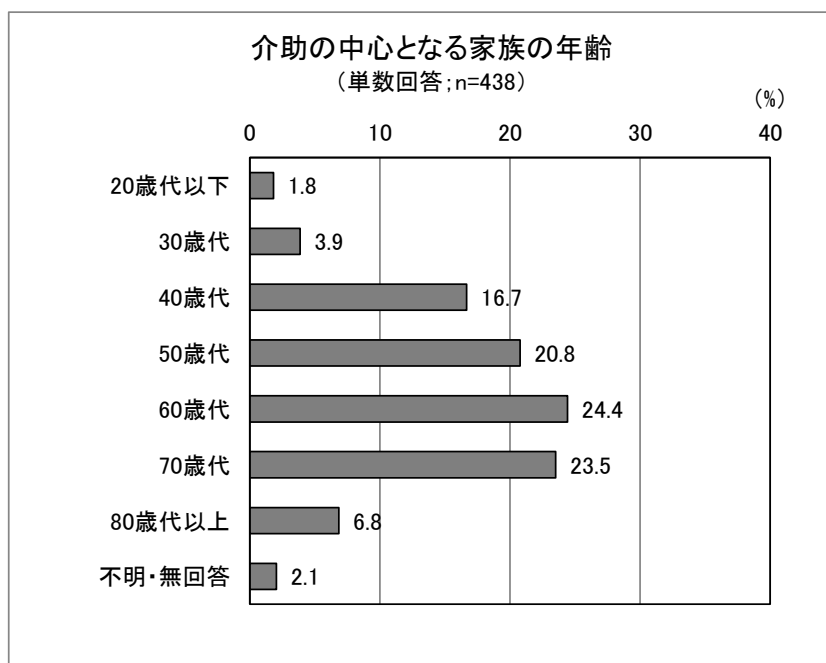
② 介助の中心となる家族

「母」が最も多く 42.5%、次いで「妻」が 18.9%、「夫」が 13.2%、「子ども」が 10.5%などとなっています。



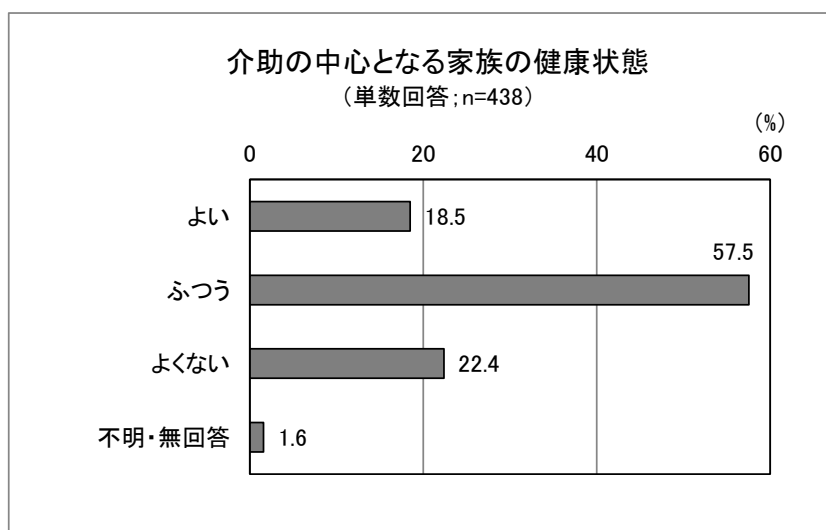
③ 介助の中心となる家族の年齢

「60 歳代」が最も多く 24.4%、次いで「70 歳代」が 23.5%、「50 歳代」が 20.8%、「40 歳代」が 16.7%などとなっています。



④ 介助の中心となる家族の健康状態

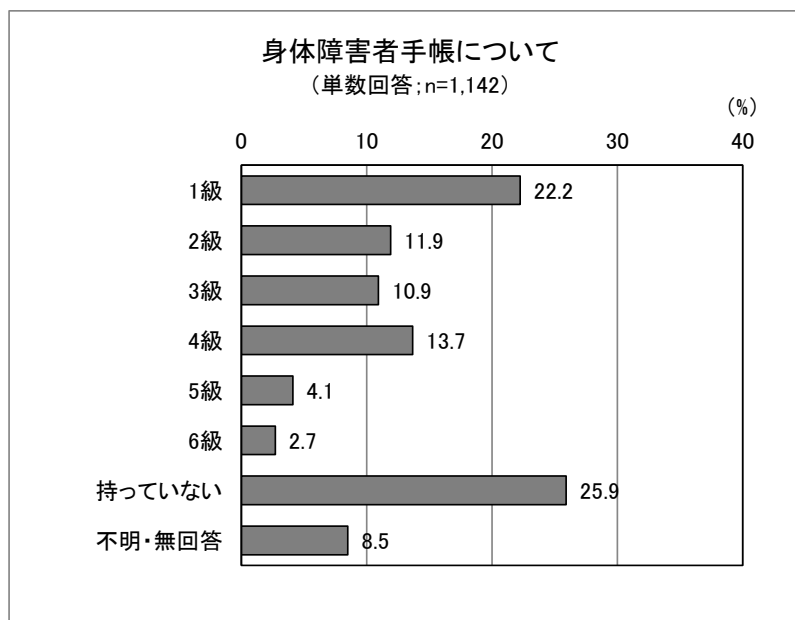
「ふつう」が最も多く 57.5%、次いで「よくない」が 22.4%、「よい」が 18.5%となっています。



3. 障がいの状況について

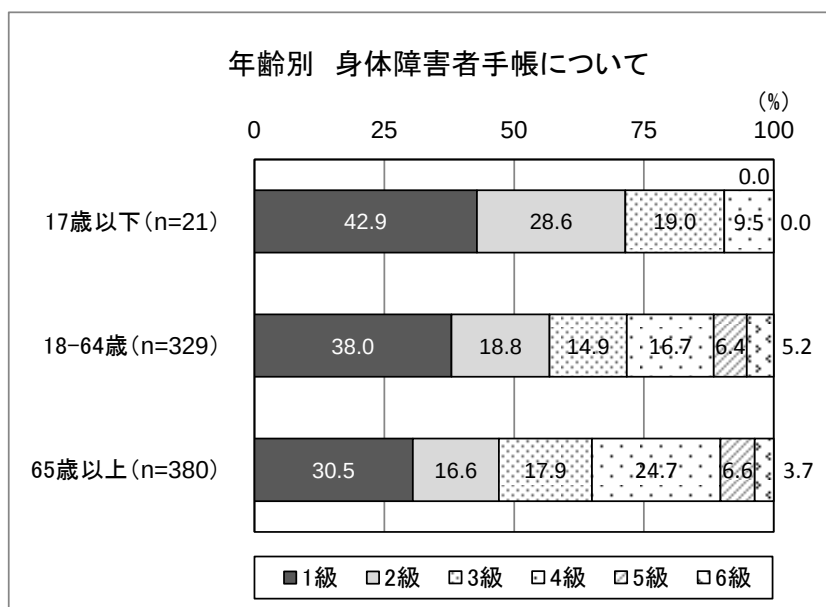
(1) 身体障害者手帳について

「持っていない」が最も多く 25.9%、次いで「1 級」が 22.2%、「4 級」が 13.7%、「2 級」が 11.9%、などとなっています。



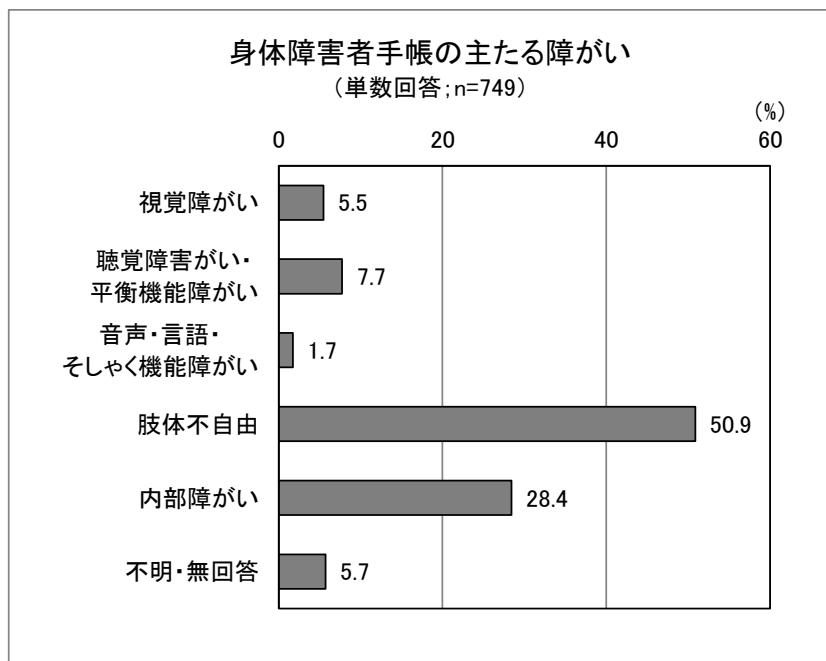
【年齢別】

17 歳以下で身体障害者手帳を所持しているのは 21 件であり、「1 級」が最も多くなっています。18～64 歳では「1 級」が最も多く 38.0%、次いで「2 級」が 18.8%、「4 級」が 16.7%となっています。65 歳以上では「1 級」が最も多く 30.5%、次いで「4 級」が 24.7%、「2 級」が 16.6%となっています。



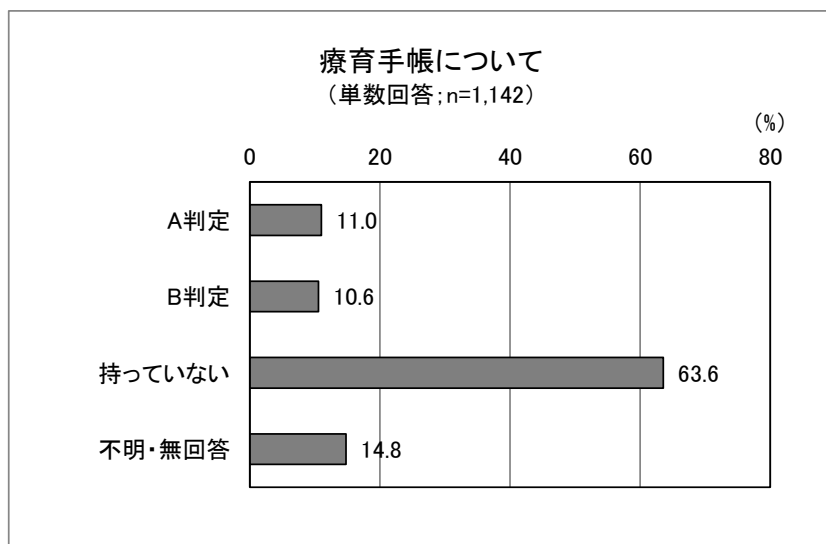
(2) 身体障害者手帳の主たる障がいについて

「肢体不自由」が最も多く 50.9%、次いで「内部障がい」が 28.4%などとなっています。



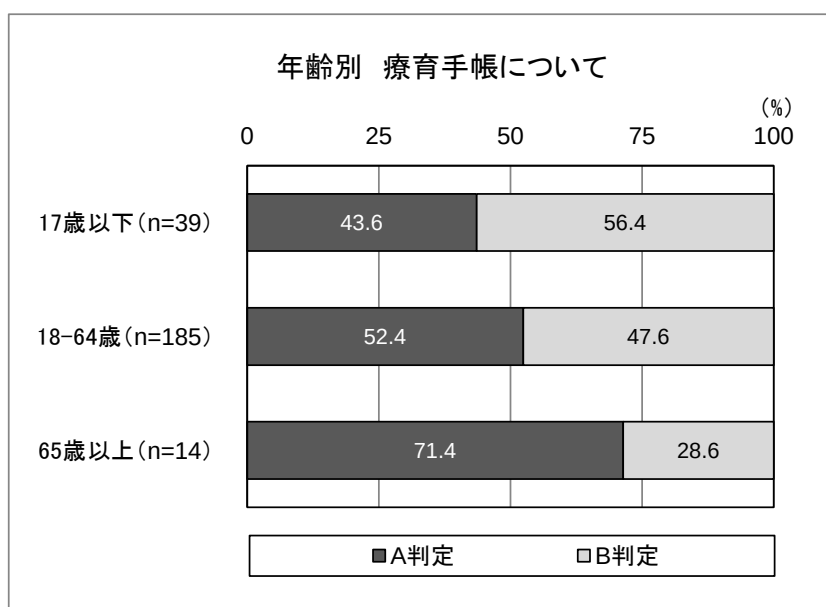
(3) 療育手帳について

「持っていない」が最も多く 63.6%、次いで「A判定」が 11.0%、「B判定」が 10.6%となっています。



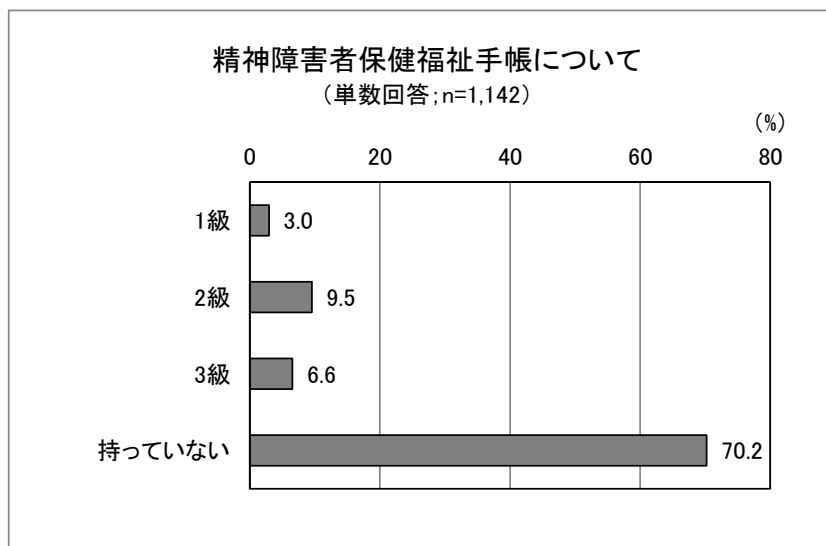
【年齢別】

17歳以下で療育手帳を所持しているのは 39 件であり、「B判定」が 56.4%、「A判定」が 43.6%となっています。18～64歳では「A判定」が 52.4%、「B判定」が 47.6%、65歳以上では「A判定」が 71.4%、「B判定」が 28.6%となっています。



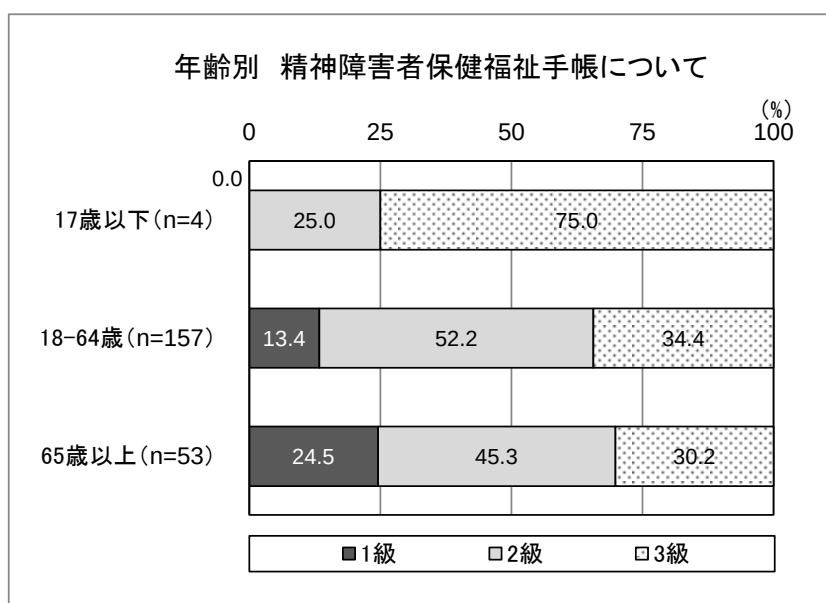
(4) 精神障害者保健福祉手帳について

「持っていない」が最も多く 70.2%、次いで「2 級」が 9.5%、「3 級」が 6.6%、「1 級」が 3.0%となっています。



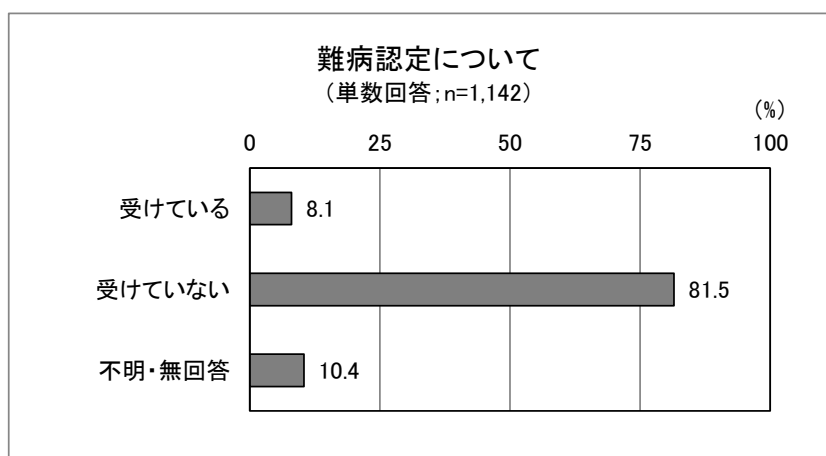
【年齢別】

17 歳以下で精神障害者保健福祉手帳を所持しているのは 4 件となっています。18～64 歳では「2 級」が最も多く 52.2%、次いで「3 級」が 34.4%、「1 級」が 13.4%となっています。65 歳以上では「2 級」が最も多く 45.3%、次いで「3 級」が 30.2%、「1 級」が 24.5%となっています。



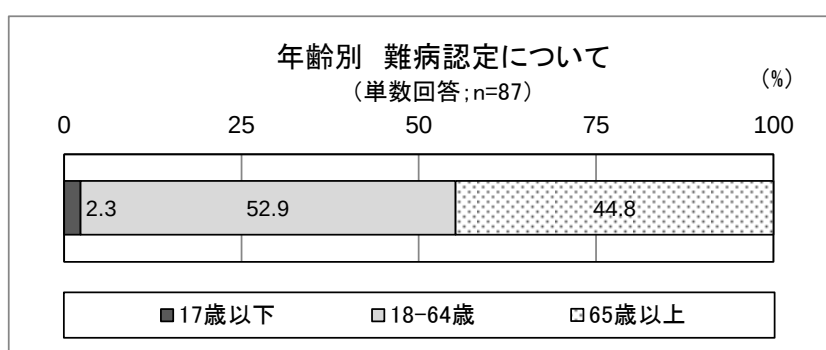
(5) 難病認定について

「受けていない」が81.5%、「受けている」が8.1%となっています。



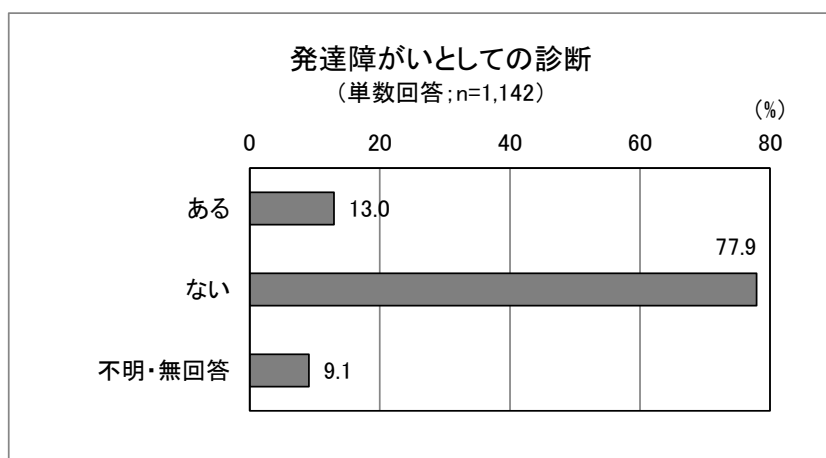
【年齢別】

「18-64 歳」が52.9%、「65 歳以上」が44.8%、「17 歳以下」が2.3%となっています。



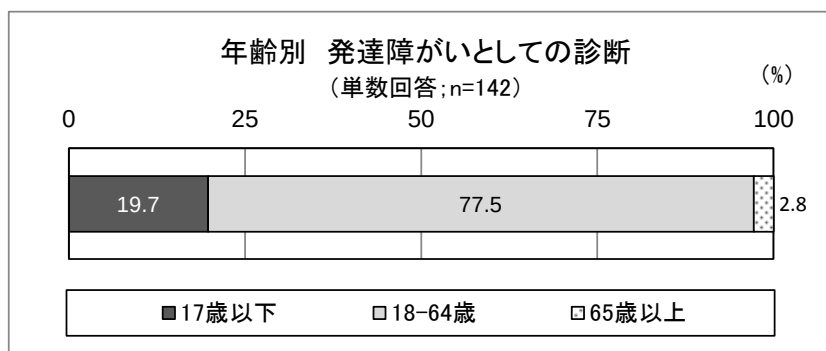
(6) 発達障がいとしての診断

「ない」が77.9%、「ある」が13.0%となっています。



【年齢別】

「18-64 歳」が77.5%、「17 歳以下」が19.7%、「65 歳以上」が2.8%となっています。



【発達障がいと他の障がいの併発の状況】

■年齢別発達障がいの診断の有無

	実数				比率			
	ある	ない	不明・無回答	総計	ある	ない	不明・無回答	総計
17歳以下	28	25	0	53	52.8	47.2	0.0	100.0
18～64歳	110	452	44	606	18.2	74.6	7.3	100.0
65歳以上	4	393	52	449	0.9	87.5	11.6	100.0
不明・無回答	6	20	8	34	17.6	58.8	23.5	100.0
総計	148	890	104	1,142	13.0	77.9	9.1	100.0

■年齢別発達障がいと身体障がいの併発

	実数				比率			
	あり	なし	不明・無回答	総計	ある	ない	不明・無回答	総計
17歳以下	5	23	0	28	17.9	82.1	0.0	100.0
18～64歳	27	77	6	110	24.5	70.0	5.5	100.0
65歳以上	3	0	1	4	75.0	0.0	25.0	100.0
不明・無回答	2	3	1	6	33.3	50.0	16.7	100.0
総計	37	103	8	148	25.0	69.6	5.4	100.0

(階級)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	総計
17歳以下	1	1	2	1	0	0	5
18～64歳	18	3	3	1	1	1	27
65歳以上	1	2	0	0	0	0	3
不明・無回答	1	1	0	0	0	0	2
総計	21	7	5	2	1	1	37

(実数)

							(比率)
1級	2級	3級	4級	5級	6級	総計	
20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	100.0	
66.7	11.1	11.1	3.7	3.7	3.7	100.0	
33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
56.8	18.9	13.5	5.4	2.7	2.7	100.0	

(比率)

■年齢別発達障がいと知的障がいの併発

	実数				比率			
	あり	なし	不明・無回答	総計	ある	ない	不明・無回答	総計
17歳以下	26	2	0	28	92.9	7.1	0.0	100.0
18～64歳	89	18	3	110	80.9	16.4	2.7	100.0
65歳以上	1	1	2	4	25.0	25.0	50.0	100.0
不明・無回答	4	2	0	6	66.7	33.3	0.0	100.0
総計	120	23	5	148	81.1	15.5	3.4	100.0

(階級)

	実数			比率		
	A判定	B判定	総計	A判定	B判定	総計
17歳以下	9	17	26	34.6	65.4	100.0
18～64歳	50	39	89	56.2	43.8	100.0
65歳以上	1	0	1	100.0	0.0	100.0
不明・無回答	2	2	4	50.0	50.0	100.0
総計	62	58	120	51.7	48.3	100.0

■年齢別発達障がいと精神障がいの併発

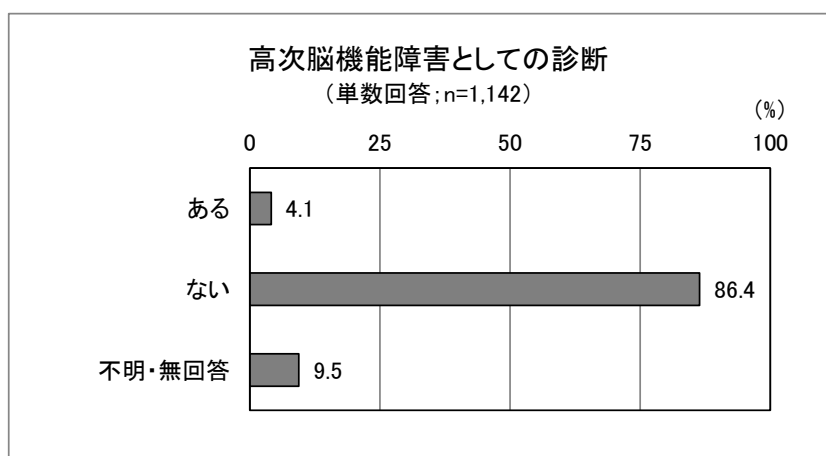
	実数				比率			
	あり	なし	不明・無回答	総計	ある	ない	不明・無回答	総計
17歳以下	3	24	1	28	10.7	85.7	3.6	100.0
18～64歳	23	79	8	110	20.9	71.8	7.3	100.0
65歳以上	4	0	0	4	100.0	0.0	0.0	100.0
不明・無回答	0	5	1	6	0.0	83.3	16.7	100.0
総計	30	108	10	148	20.3	73.0	6.8	100.0

(階級)

	実数				比率			
	1級	2級	3級	総計	1級	2級	3級	総計
17歳以下	0	0	3	3	0.0	0.0	100.0	100.0
18～64歳	7	8	8	23	30.4	34.8	34.8	100.0
65歳以上	1	3	0	4	25.0	75.0	0.0	100.0
不明・無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	8	11	11	30	26.7	36.7	36.7	100.0

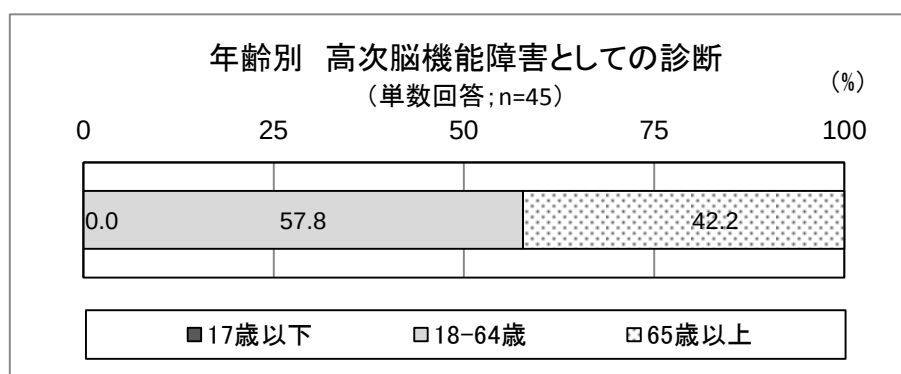
(7) 高次脳機能障害としての診断

「ない」が86.4%、「ある」が4.1%となっています。



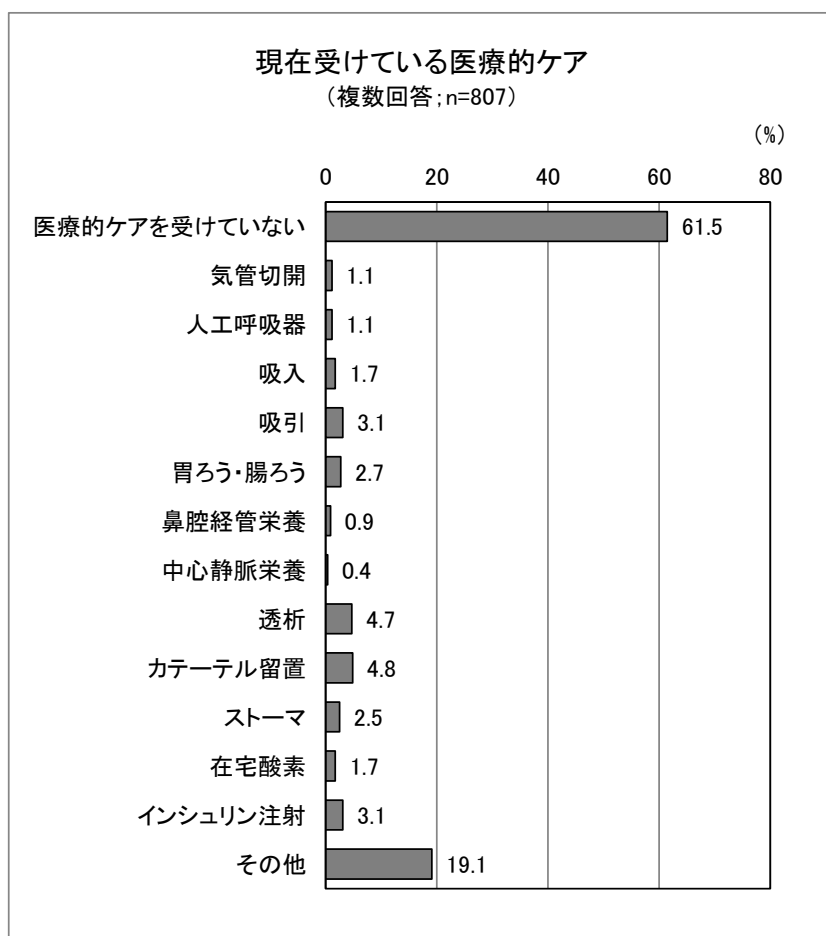
【年齢別】

「ある」は「18-64歳」が57.8%、「65歳以上」が42.2%、「17歳以下」が0.0%となっています。



（８） 現在受けている医療的ケア

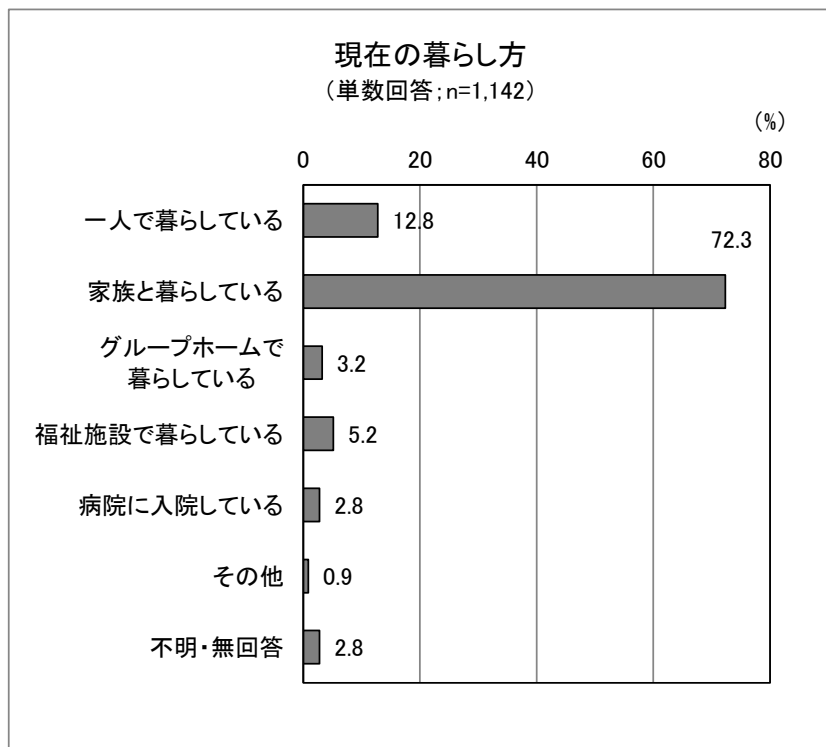
「医療的ケアを受けていない」が最も多く 61.5%、次いで「カテーテル留置」が 4.8%、「透析」が 4.7%、「吸引」「インシュリン注射」が 3.1%などとなっています。



4. 住まいや暮らしについて

(1) 現在の暮らし方

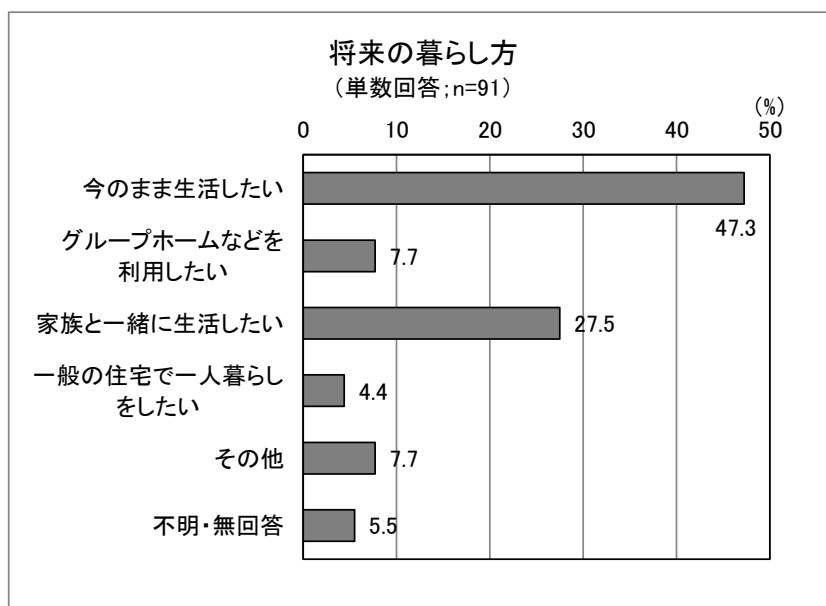
「家族と暮らしている」が最も多く 72.3%、次いで「一人で暮らしている」が 12.8%、「福祉施設で暮らしている」が 5.2%などとなっています。



【福祉施設・病院に入院している方】

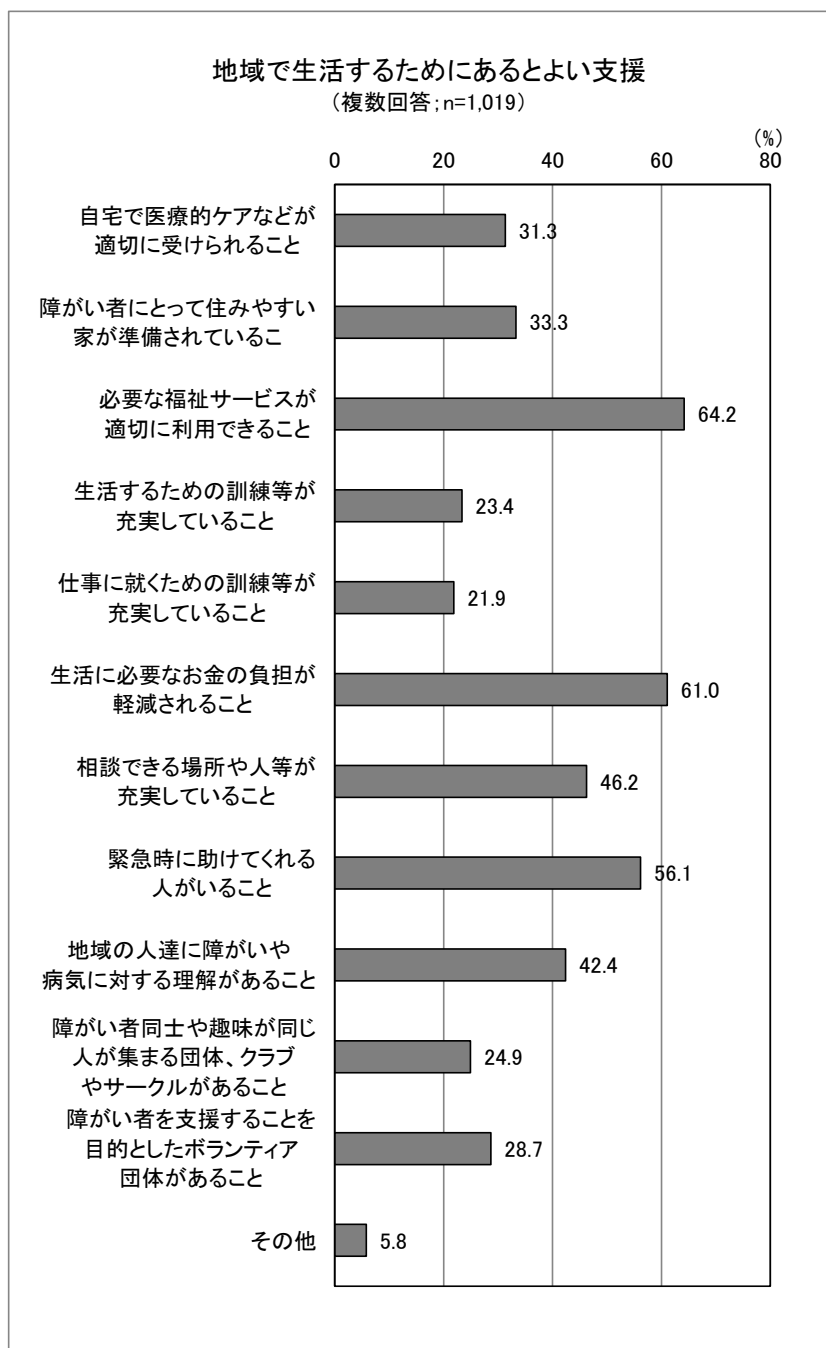
(将来の暮らし方)

「今のまま生活したい」が最も多く 47.3%、次いで「家族と一緒に生活したい」が 27.5%などとなっています。



（２） 地域で生活するためにあるとよい支援

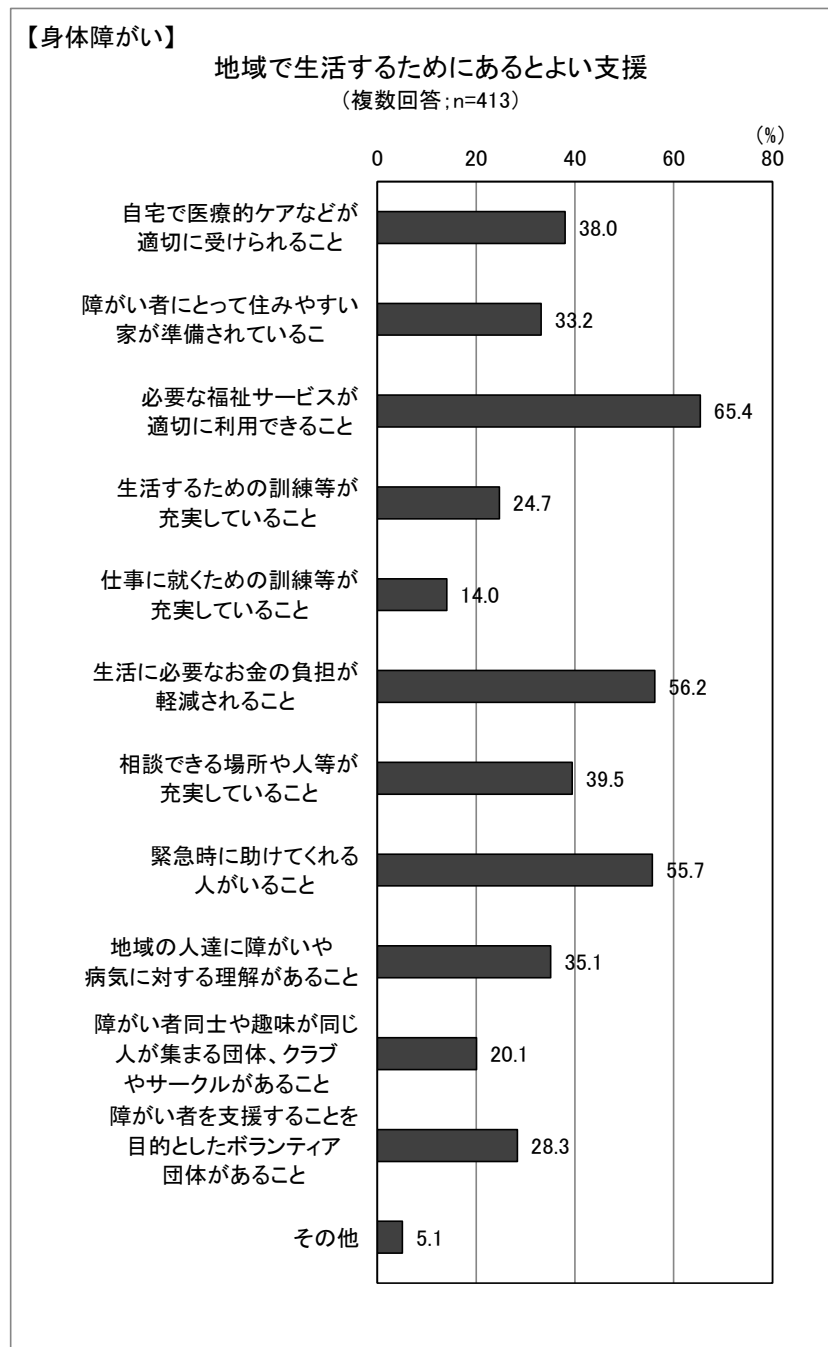
「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く 64.2%、次いで「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が 61.0%、「緊急時に助けてくれる人がいること」が 56.1%、「相談できる場所や人等が充実していること」が 46.2%、「地域の人達に障がいや病気に対する理解があること」が 42.4%などとなっています。



【障がい種別】

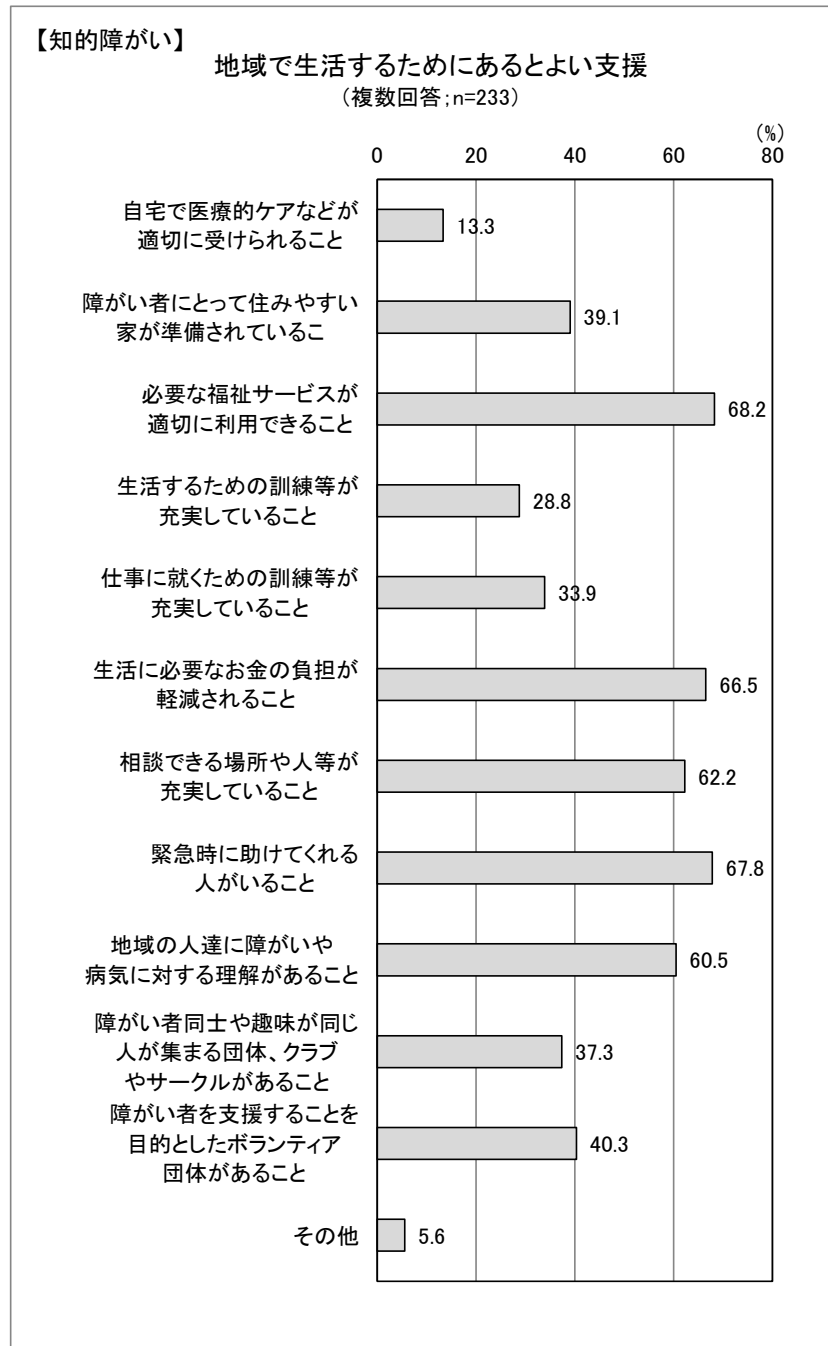
（身体障がい）

「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く 65.4%、次いで「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が 56.2%、「緊急時に助けてくれる人がいること」が 55.7%などとなっています。



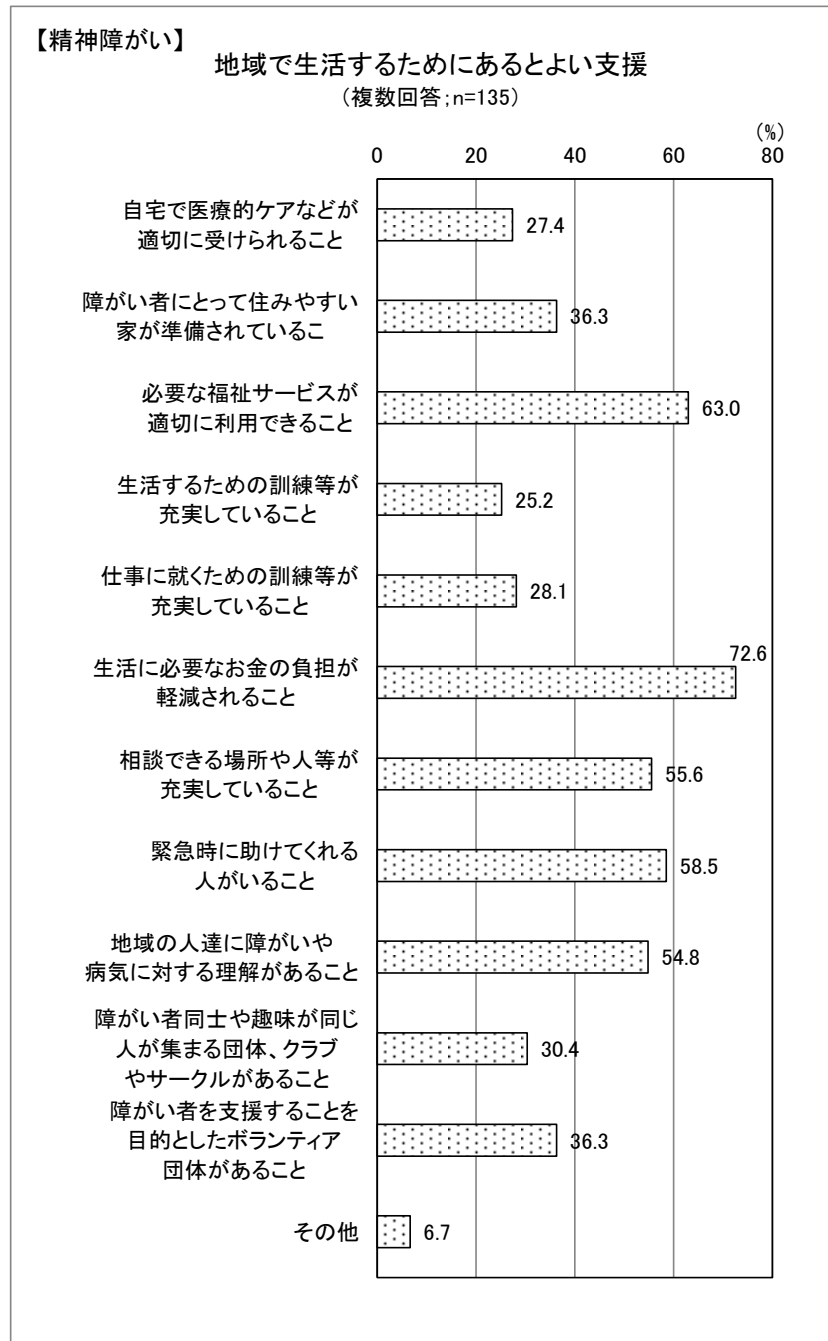
（知的障がい）

「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く 68.2%、次いで「緊急時に助けられる人がいること」が 67.8%、「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が 66.5%、「相談できる場所や人等が充実していること」が 62.2%、「地域の人達に障がいや病気に対する理解があること」が 60.5%などとなっています。



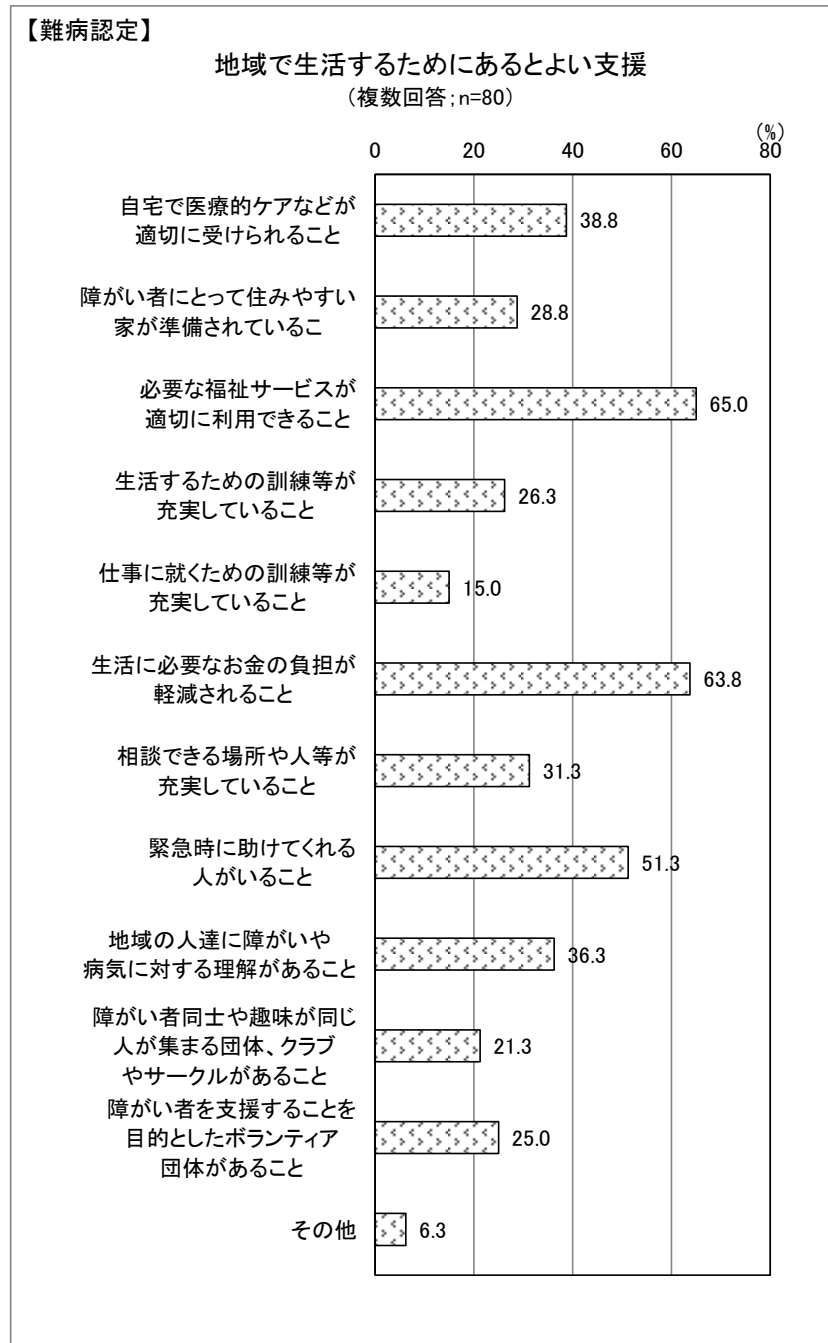
(精神障がい)

「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が最も多く 72.6%、次いで「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が 63.0%、「緊急時に助けしてくれる人がいること」が 58.5%、「相談できる場所や人等が充実していること」が 55.6%、「地域の人達に障がいや病気に対する理解があること」が 54.8%などとなっています。



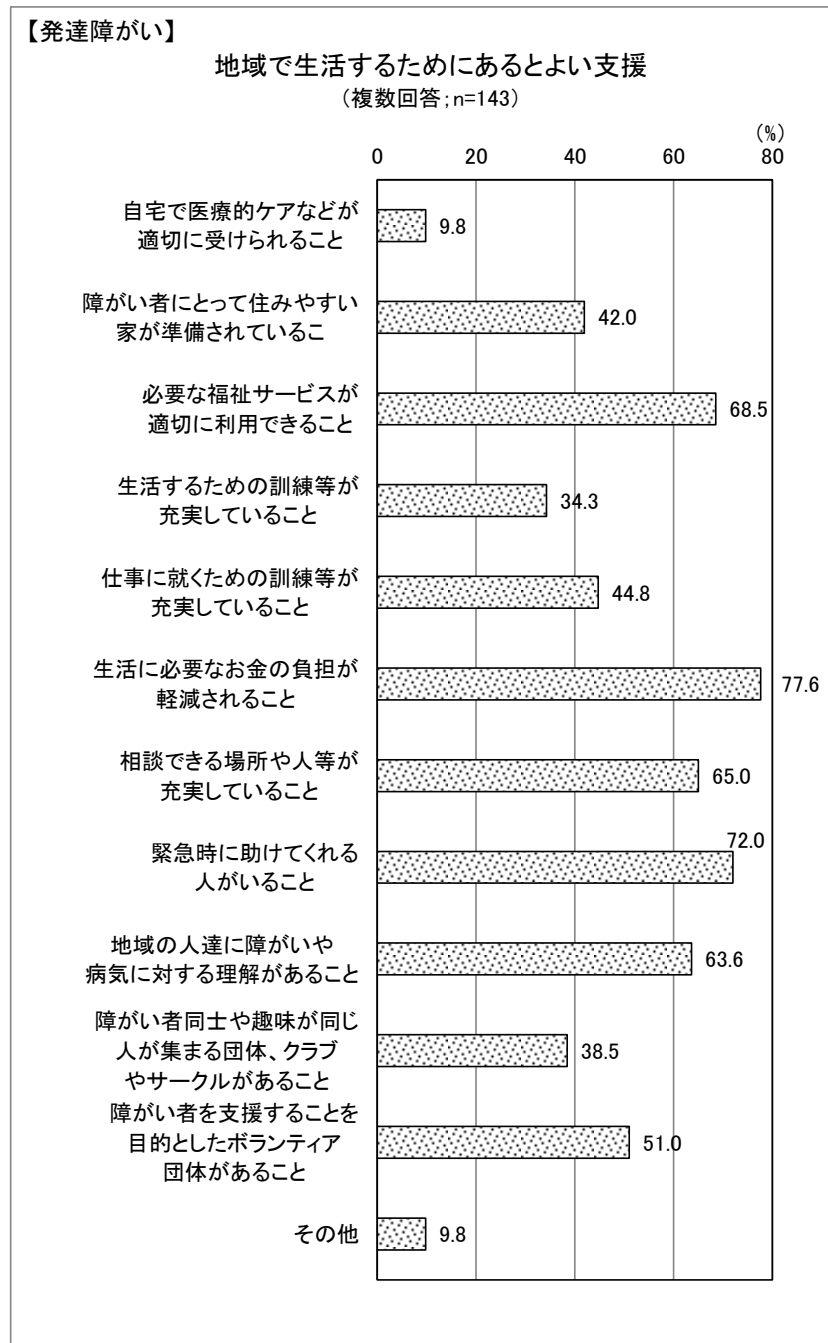
(難病指定)

「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く 65.0%、次いで「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が 63.8%、「緊急時に助けてくれる人がいること」が 51.3%などとなっています。



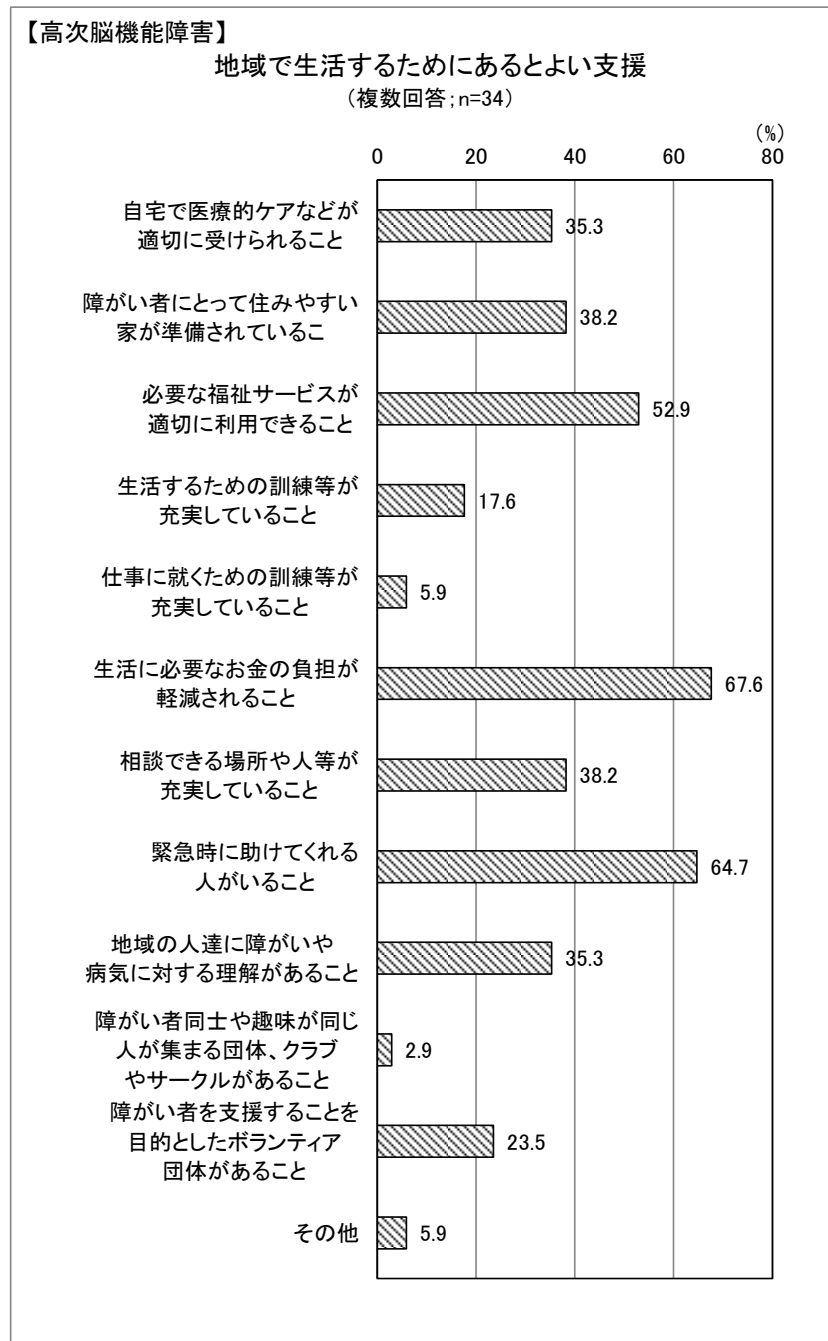
(発達障がい)

「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が最も多く 77.6%、次いで「緊急時に助けてくれる人がいること」が 72.0%、「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が 68.5%、「相談できる場所や人等が充実していること」が 65.0%、「地域の人達に障がいや病気に対する理解があること」が 63.6%などとなっています。



（高次脳機能障害）

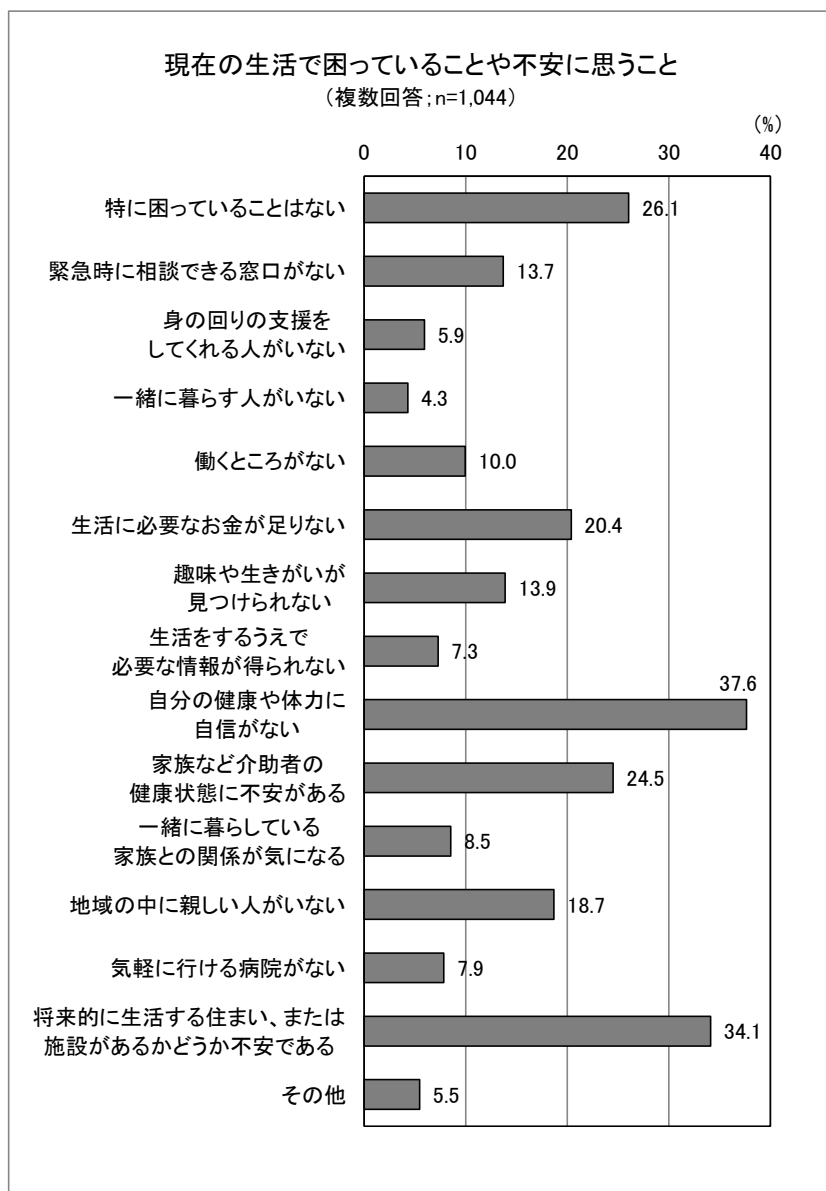
「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が最も多く 67.6%、次いで「緊急時に助けてくれる人がいること」が 64.7%、「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が 52.9%などとなっています。



(3) 現在の生活で困っていることや不安に思うこと

「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く 37.6%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が 34.1%、「家族など介助者の健康状態に不安がある」が 24.5%、「生活に必要なお金が足りない」が 20.4%などとなっています。

一方、「特に困っていることはない」は 26.1%となっています。

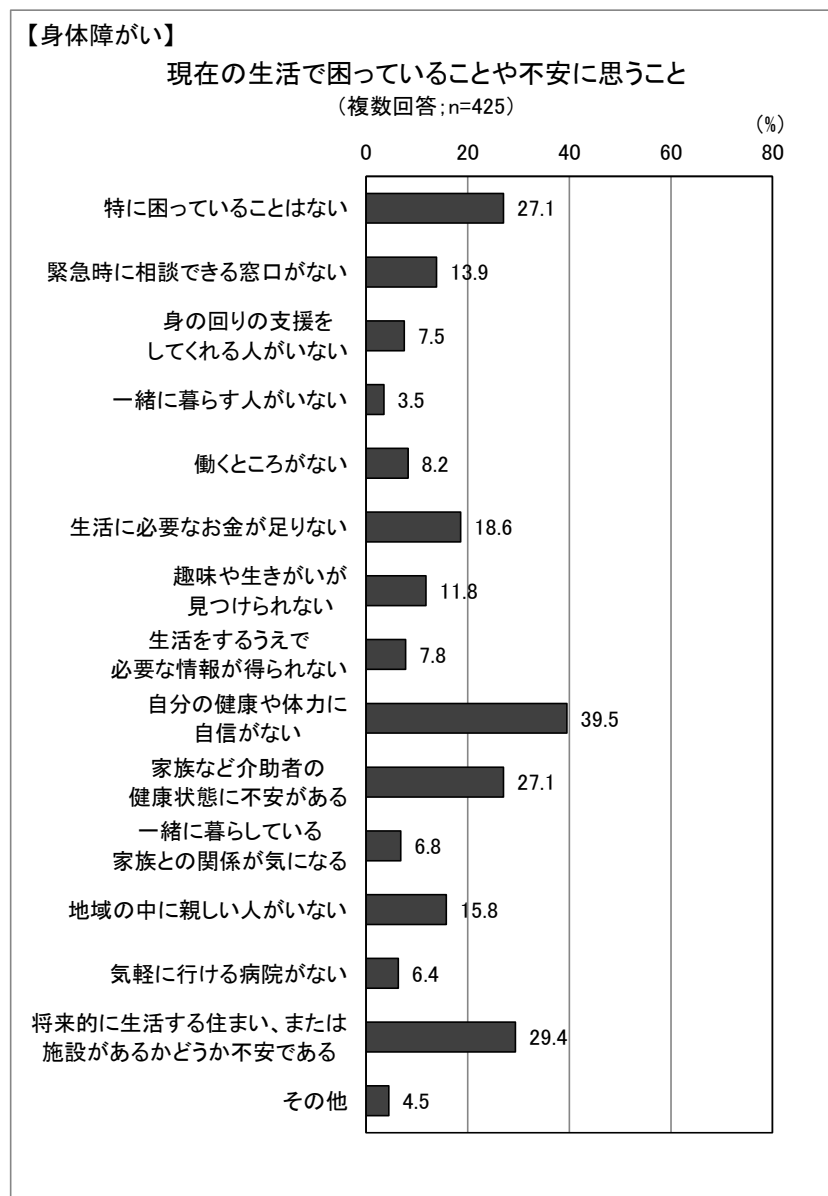


【障がい種別】

(身体障がい)

「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く 39.5%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が 29.4%、「家族など介助者の健康状態に不安がある」が 27.1% などとなっています。

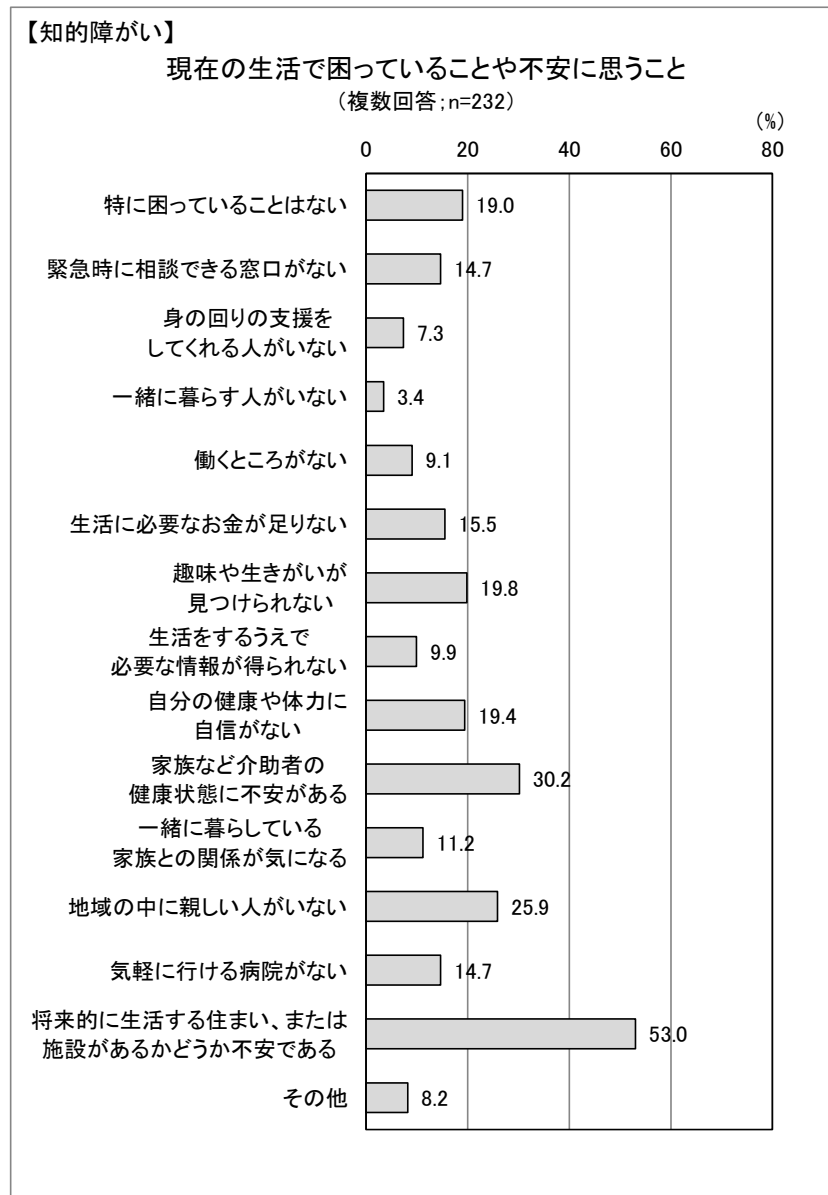
一方、「特に困っていることはない」は 27.1%となっています。



(知的障がい)

「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が最も多く 53.0%、次いで「家族など介助者の健康状態に不安がある」が 30.2%、「地域の中に親しい人がいない」が 25.9%などとなっています。

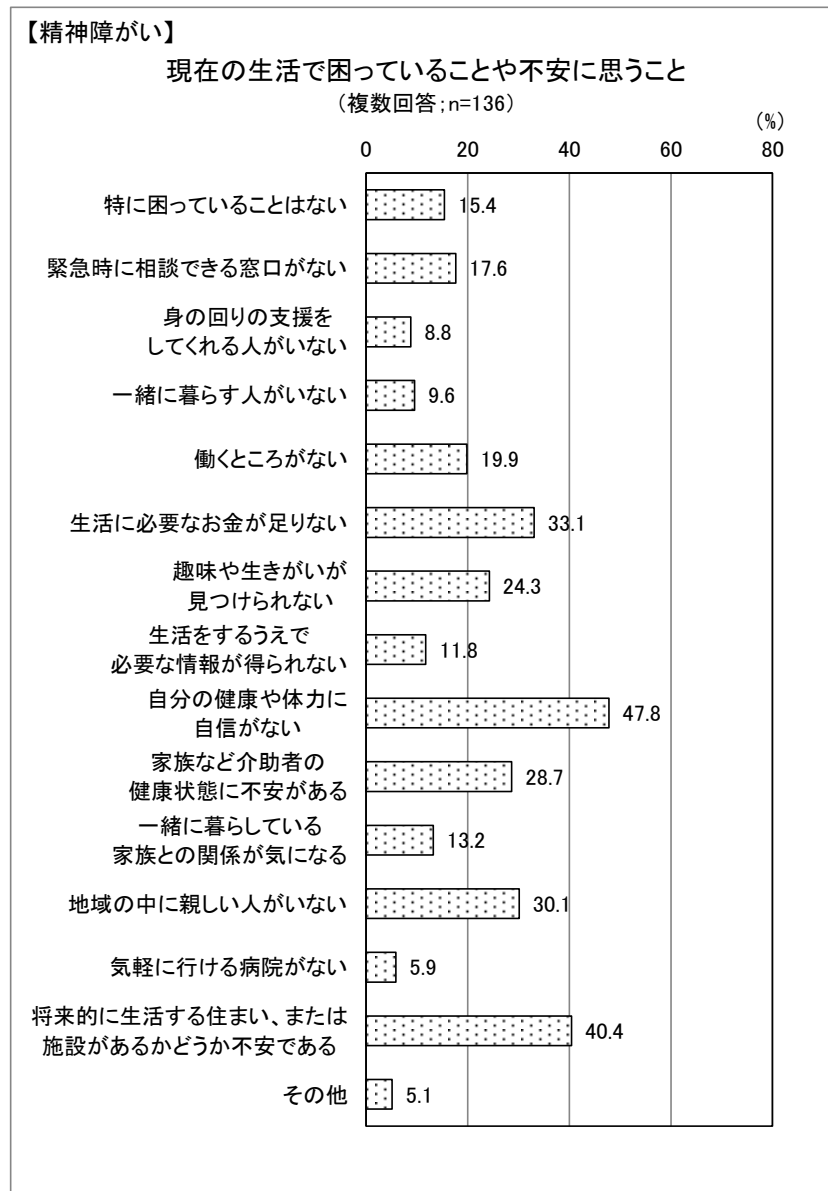
一方、「特に困っていることはない」は 19.0%となっています。



(精神障がい)

「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く 47.8%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が 40.4%、「生活に必要なお金が足りない」が 33.1%などとなっています。

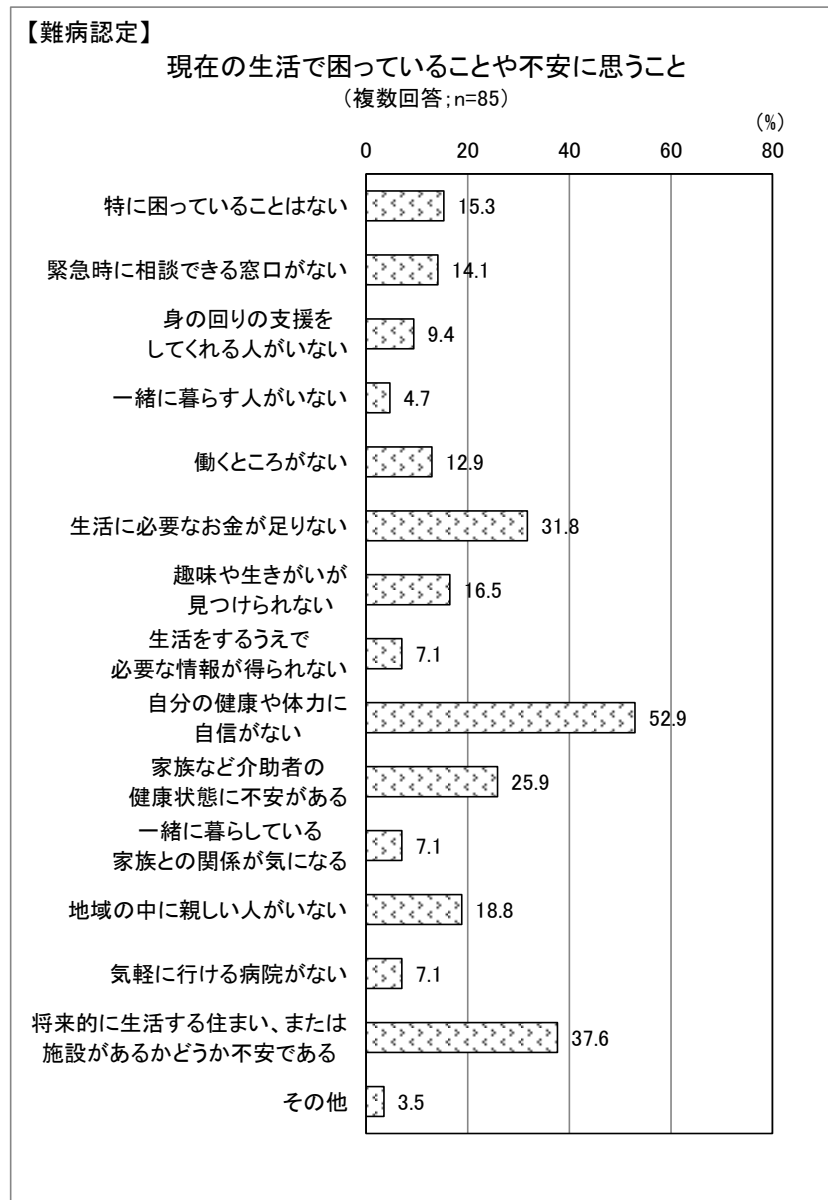
一方、「特に困っていることはない」は 15.4%となっています。



(難病認定)

「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く 52.9%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が 37.6%、「生活に必要なお金が足りない」が 31.8%などとなっています。

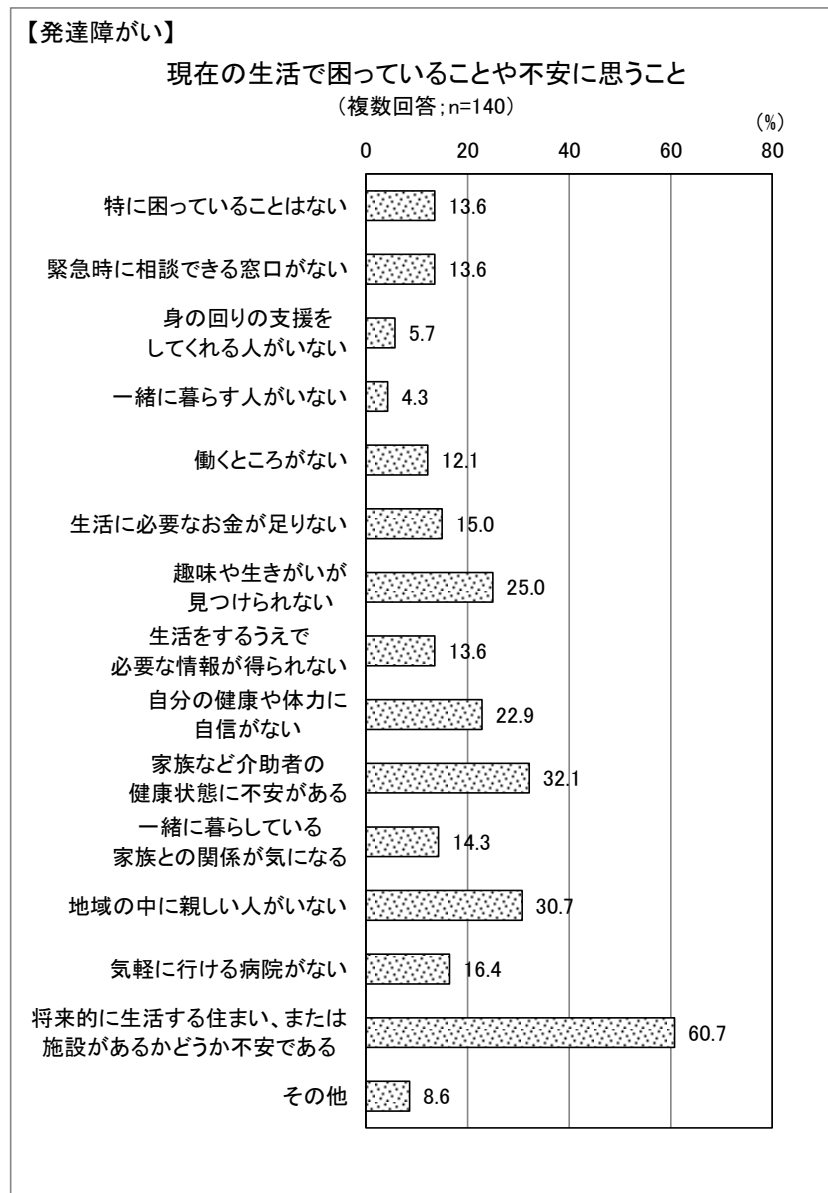
一方、「特に困っていることはない」は 15.3%となっています。



(発達障がい)

「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が最も多く 60.7%、次いで「家族など介助者の健康状態に不安がある」が 32.1%、「地域の中に親しい人がいない」が 30.7%などとなっています。

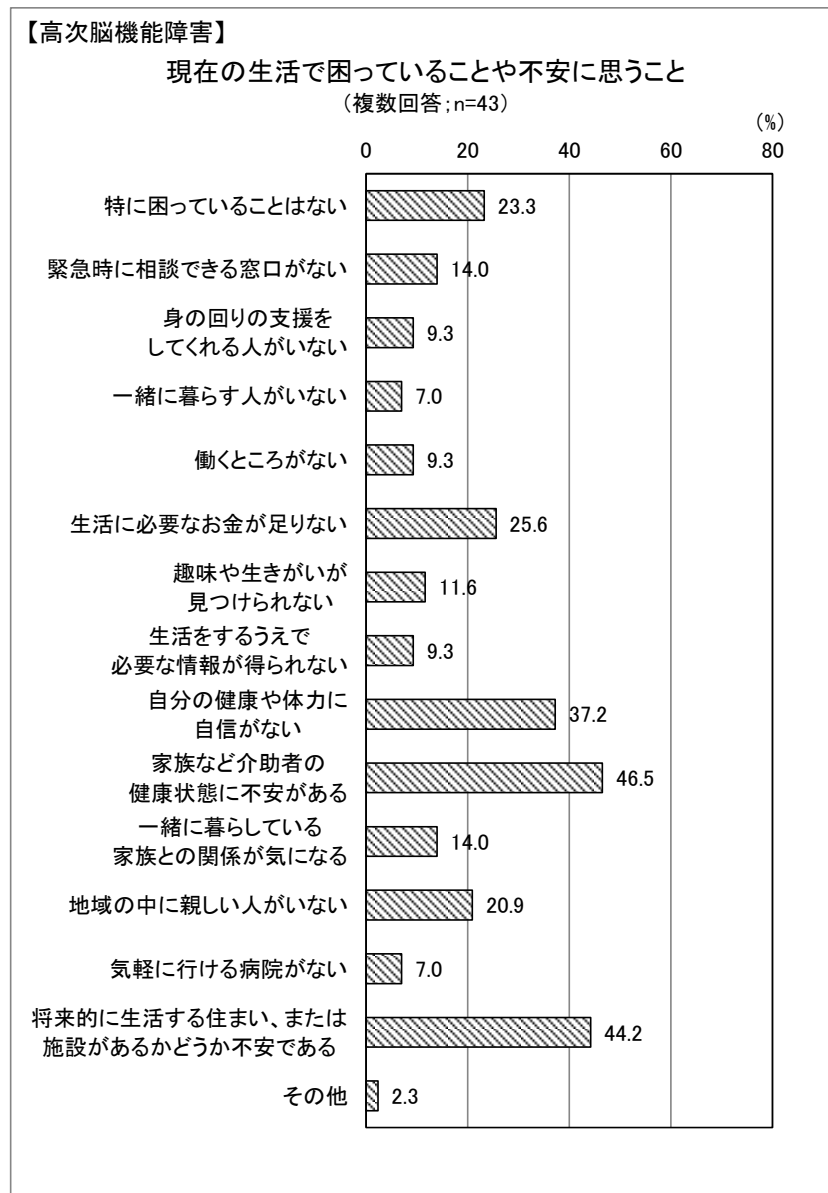
一方、「特に困っていることはない」は 13.6%となっています。



(高次脳機能障害)

「家族など介助者の健康状態に不安がある」が最も多く 46.5%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が 44.2%、「自分の健康や体力に自信がない」が 37.2% などとなっています。

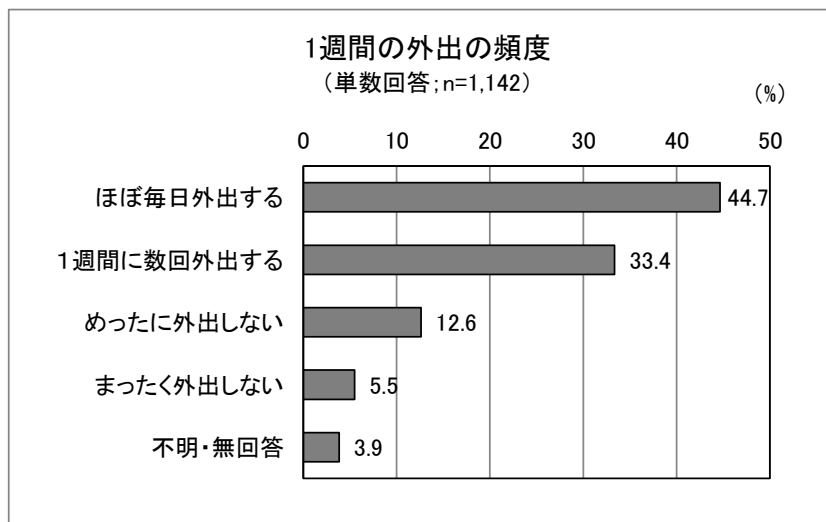
一方、「特に困っていることはない」は 23.3%となっています。



5. 日中活動や就労について

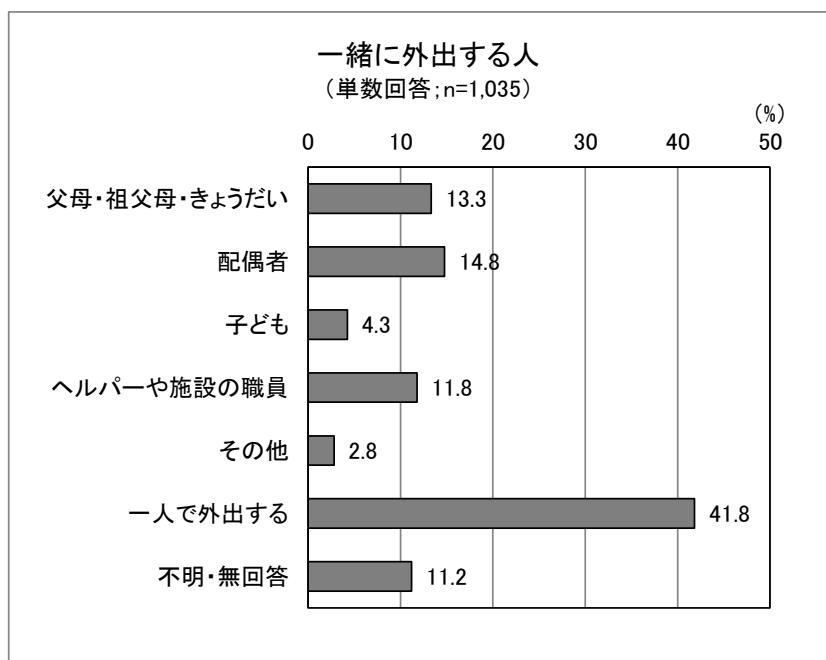
(1) 一週間の外出の頻度

「ほぼ毎日外出する」が最も多く 44.7%、次いで「1週間に数回外出する」が 33.4%などとなっています。一方、「まったく外出しない」が 5.5%となっています。



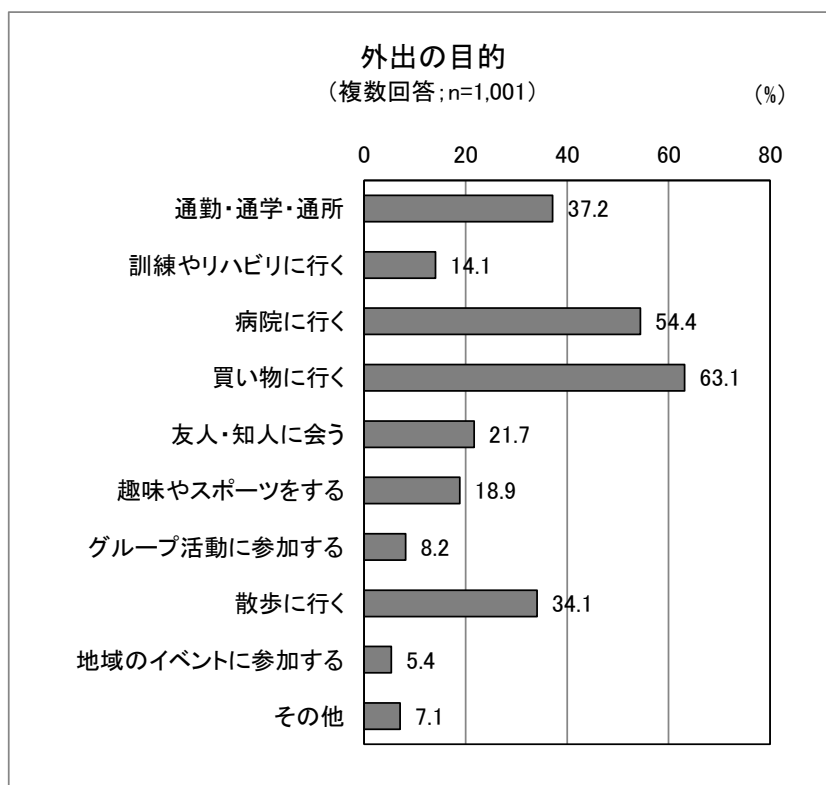
(2) 一緒に外出する人

「一人で外出する」が最も多く 41.8%、次いで「配偶者」が 14.8%、「父母・祖父母・きょうだい」が 13.3%などとなっています。



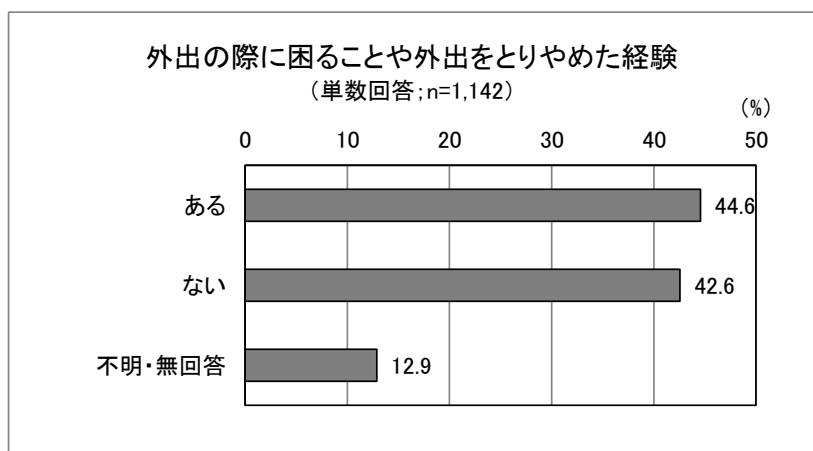
(3) 外出の目的

「買い物に行く」が最も多く 63.1%、次いで「病院に行く」が 54.4%、「通勤・通学・通所」が 37.2%、「散歩に行く」が 34.1%などとなっています。



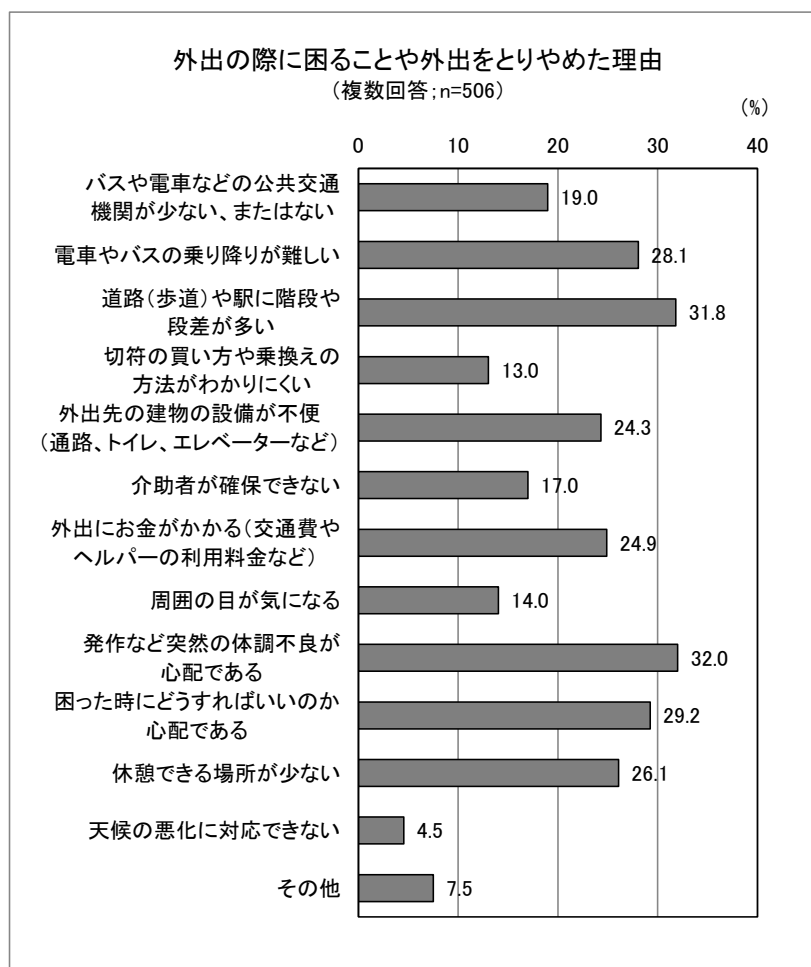
(4) 外出の際に困ることや外出をとりやめた経験

「ある」が44.6%、「ない」が42.6%となっています。



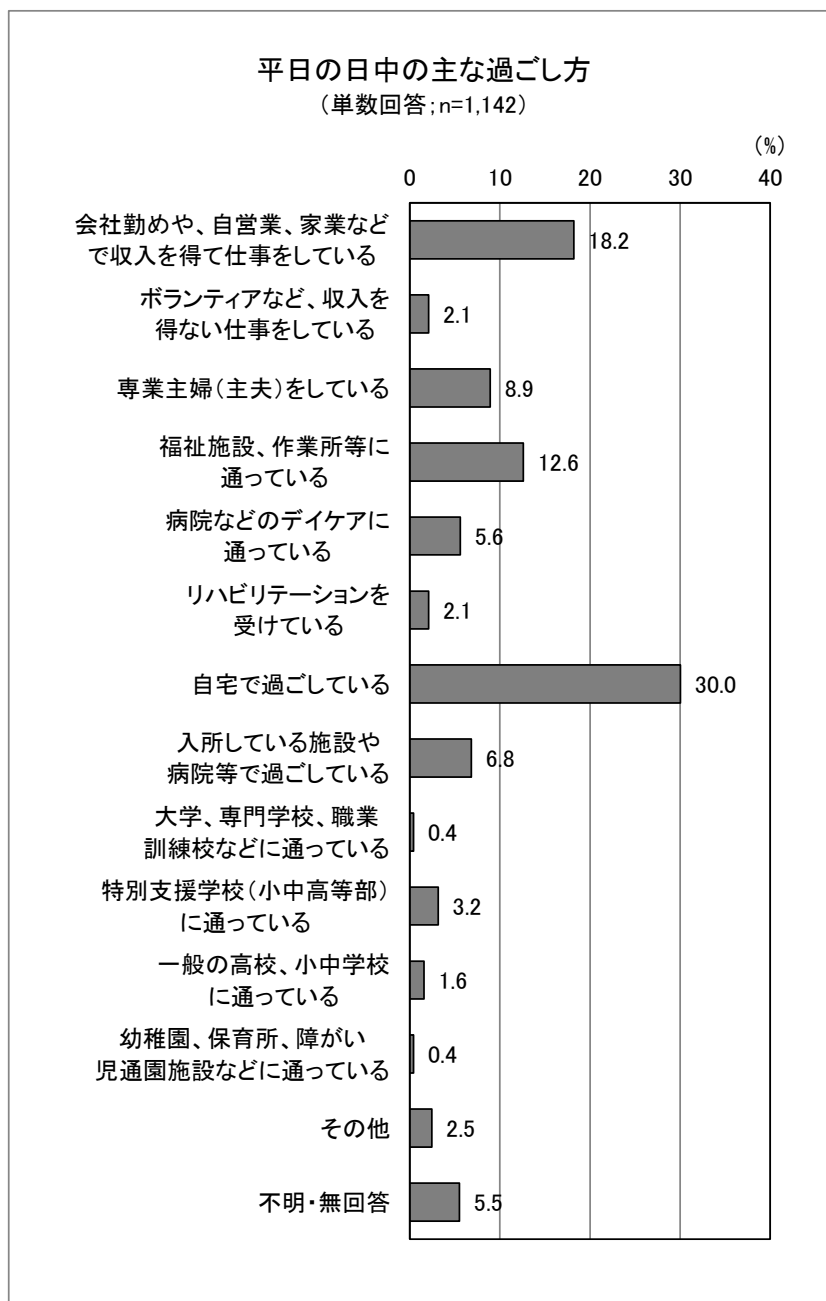
【外出の際に困ることや外出をとりやめた理由】

「発作など突然の体調不良が心配である」が最も多く32.0%、次いで「道路（歩道）や駅に階段や段差が多い」が31.8%、「困った時にどうすればいいのか心配である」が29.2%、「電車やバスの乗り降りが難しい」が28.1%、「休憩できる場所が少ない」が26.1%などとなっています。



(5) 平日の日中の主な過ごし方

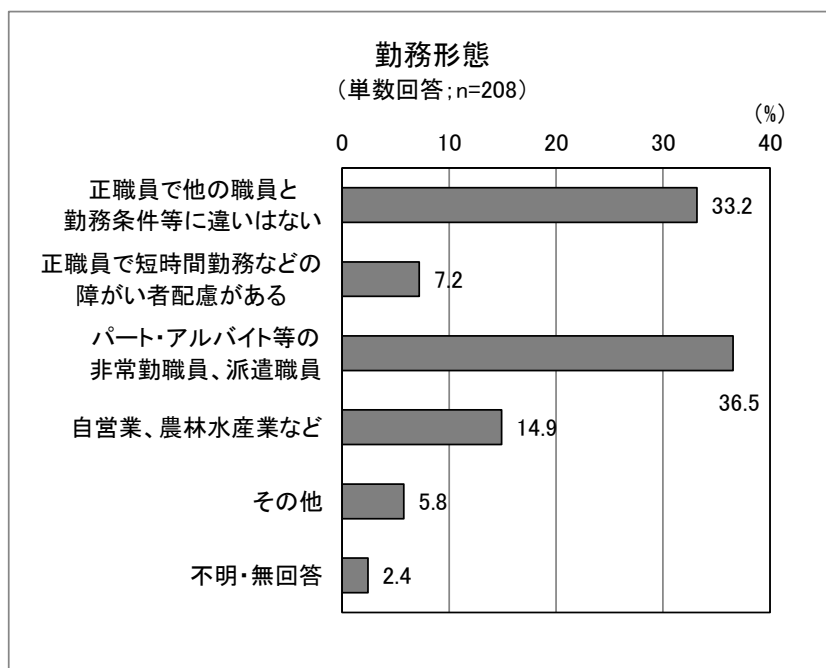
「自宅で過ごしている」が最も多く 30.0%、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が 18.2%、「福祉施設、作業所等に通っている」が 12.6%、「福祉施設、作業所等に通っている」が 12.6%などとなっています。



【会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている】

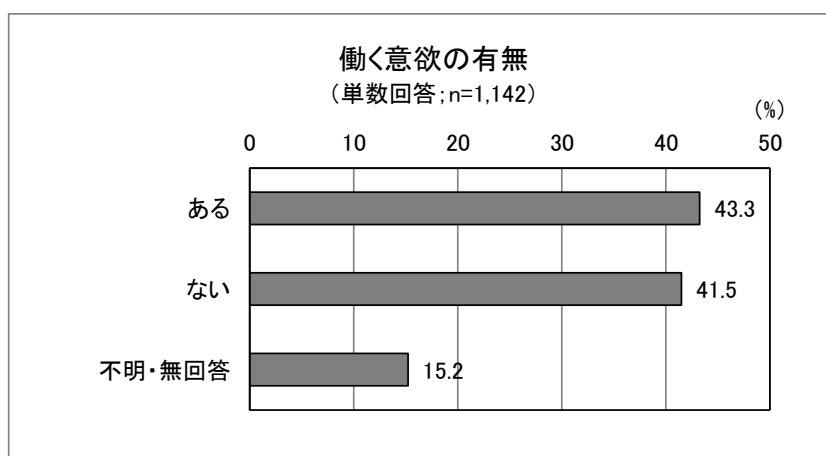
（勤務形態）

「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が最も多く 36.5%、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 33.2%、「自営業、農林水産業など」が 14.9%などとなっています。



(6) 働く意欲の有無

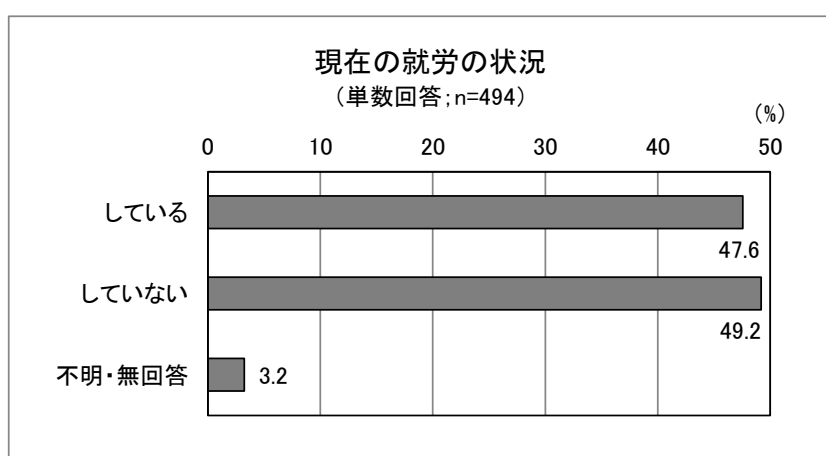
「ある」が43.3%、「ない」が41.5%となっています。



【働く意欲がある人】

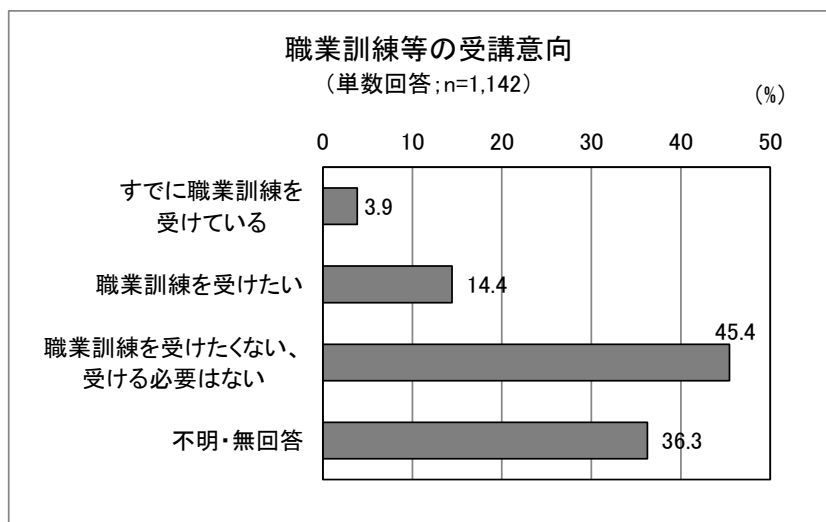
(現在の就労の状況)

「していない」が49.2%、「している」が47.6%となっています。



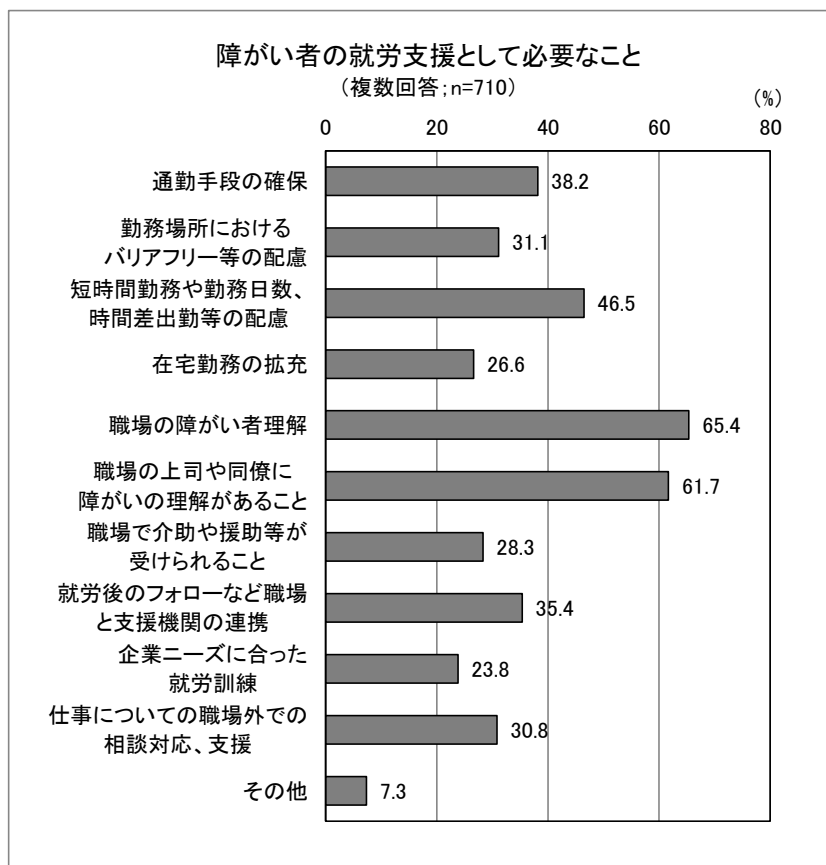
(7) 職業訓練等の受講意向

「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が最も多く 45.4%、次いで「職業訓練を受けたい」が 14.4%などとなっています。



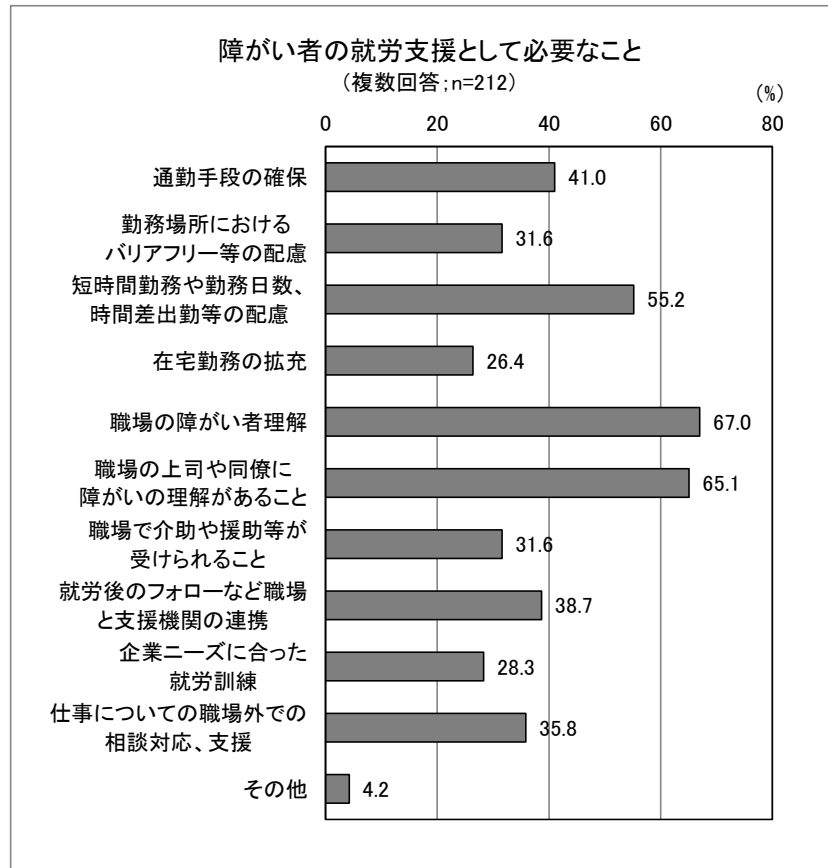
(8) 障がい者の就労支援として必要なこと

「職場の障がい者理解」が最も多く 65.4%、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が 61.7%、「短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮」が 46.5%などとなっています。



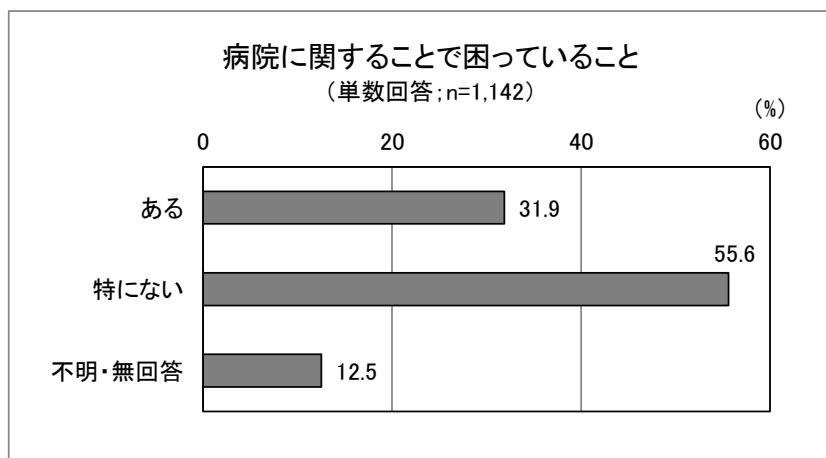
【働く意欲があり、就労していない人】

「職場の障がい者理解」が最も多く 67.0%、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が 65.1%、「短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮」が 55.2%などとなっています。



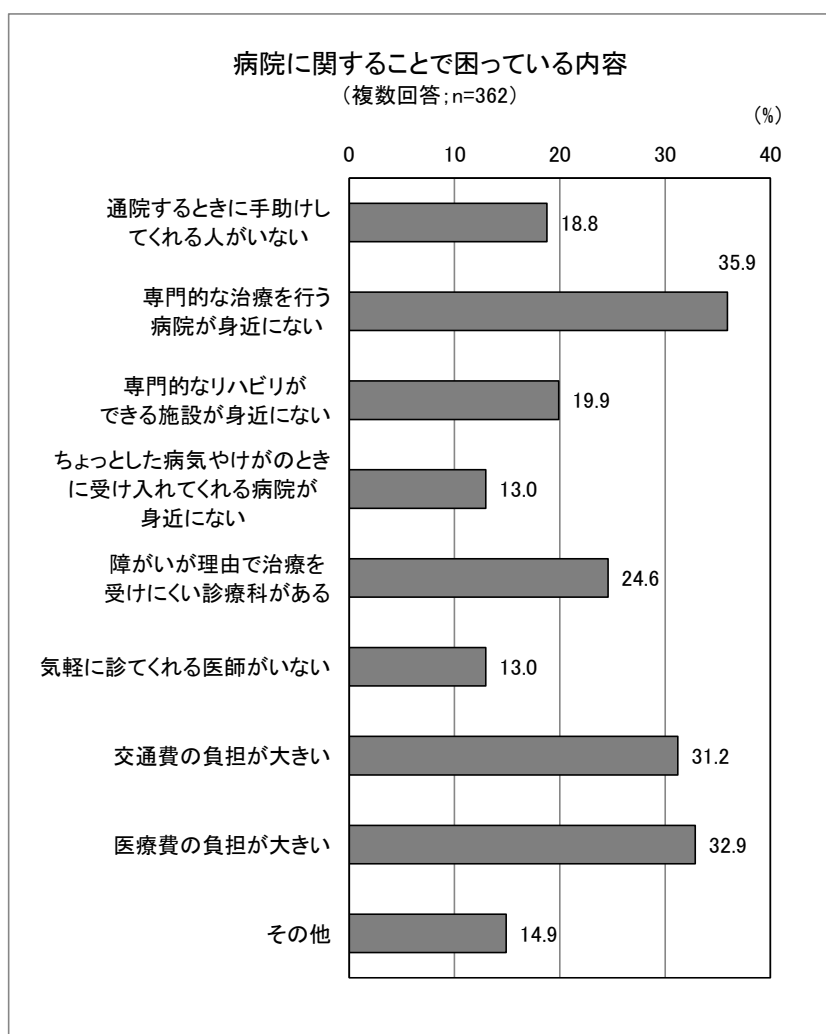
(9) 病院に関することで困っていること

「特にない」が55.6%、「ある」が31.9%となっています。



【病院に関することで困っている内容】

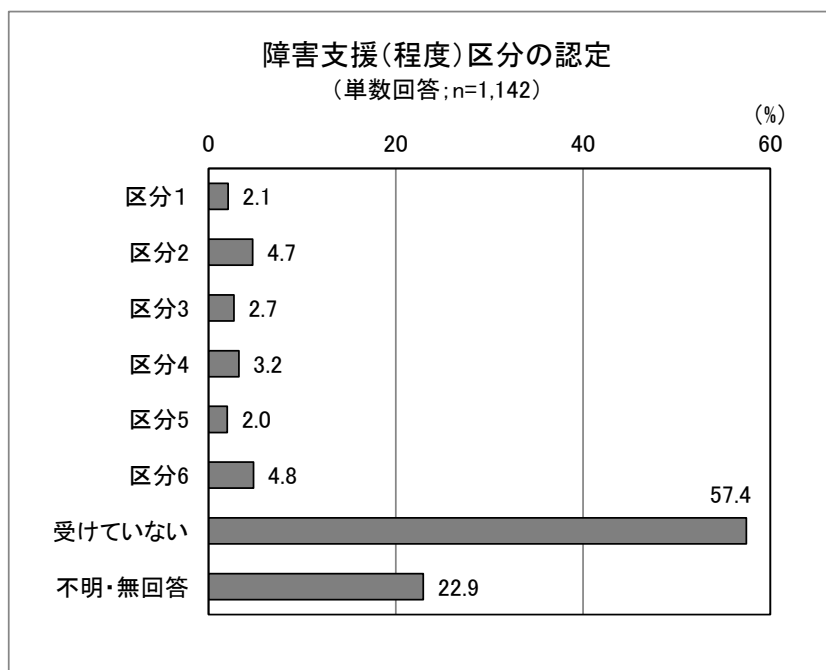
「専門的な治療を行う病院が身近にない」が最も多く 35.9%、次いで「医療費の負担が大きい」が 32.9%、「交通費の負担が大きい」が 31.2%などとなっています。



6. 障がい福祉サービス等利用について

(1) 障害支援（程度）区分の認定

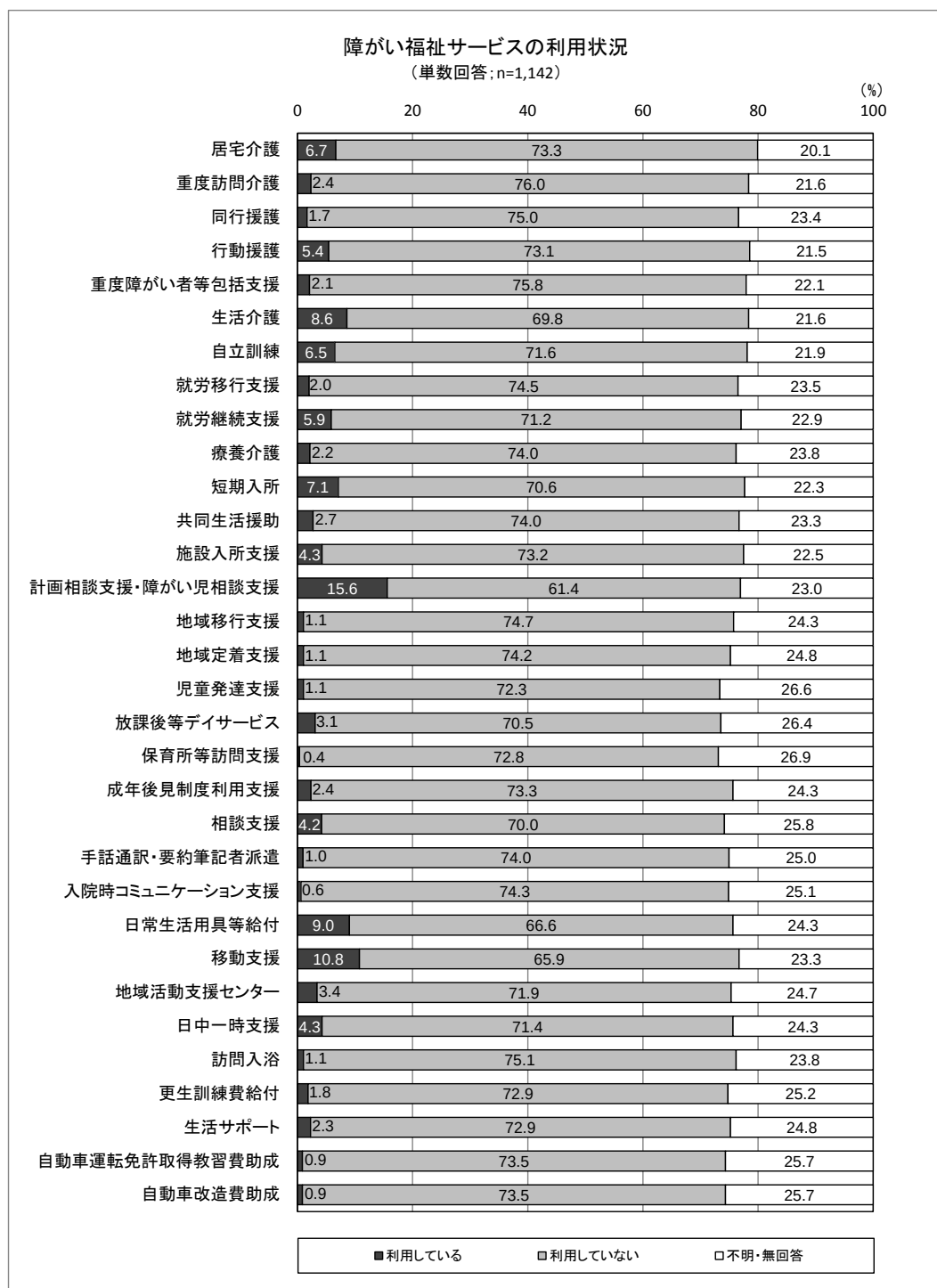
「受けていない」が最も多く 57.4%、次いで「区分 6」が 4.8%、「区分 2」が 4.7%、「区分 4」が 3.2%などとなっています。



(2) 障がい福祉サービスの利用状況と意向

① 利用状況

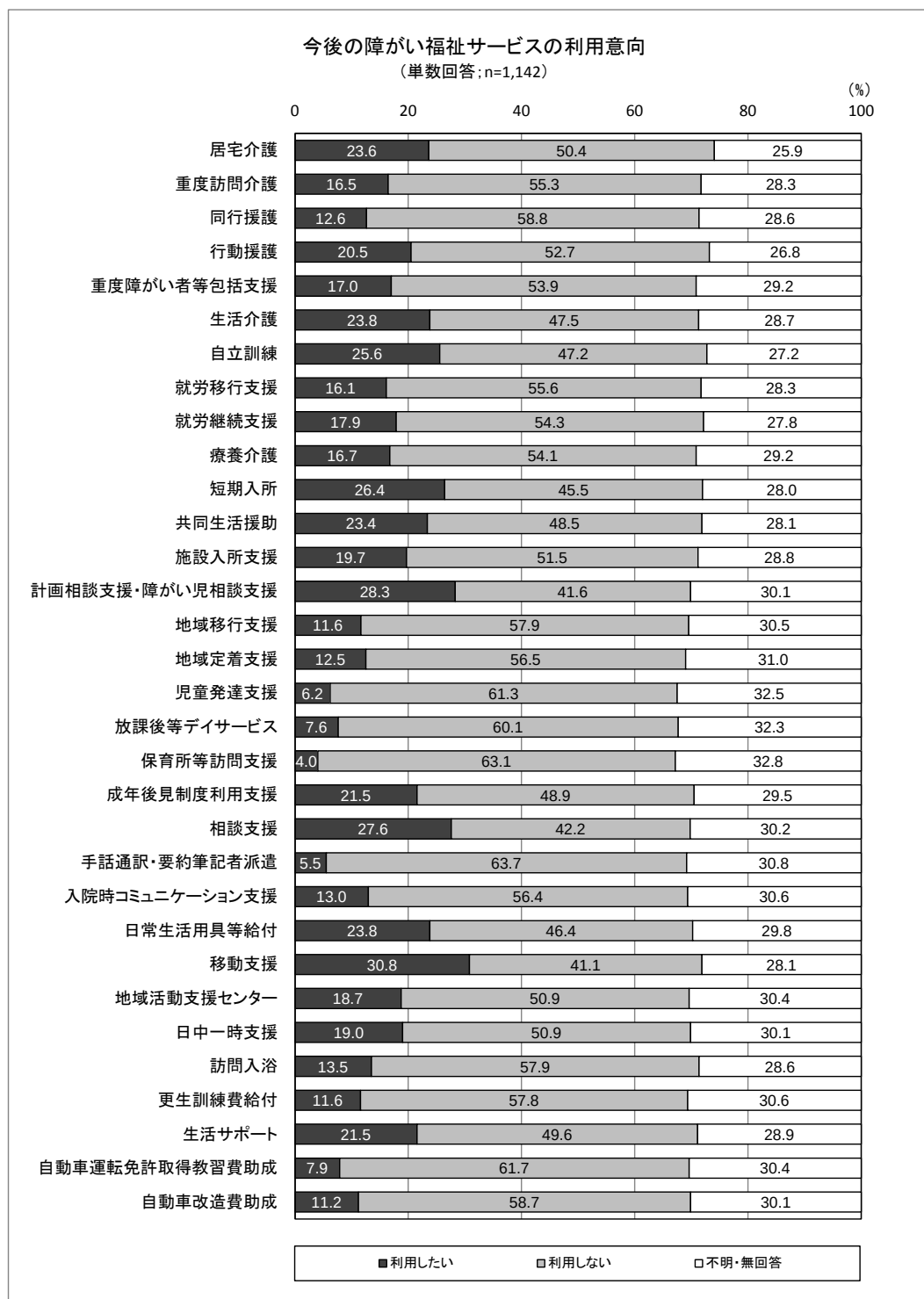
「利用している」は「計画相談支援・障がい児相談支援」が最も多く 15.6%、次いで「移動支援」が 10.8%、「日常生活用具等給付」が 9.0%、「生活介護」が 8.6%、「短期入所」が 7.1%などとなっています。



② 利用意向

「利用したい」は「移動支援」が最も多く 30.8%、次いで「計画相談支援・障がい児相談支援」が 28.3%、「相談支援」が 27.6%、「短期入所」が 26.4%、「自立訓練」が 25.6%などとなっています。

「利用しない」は「手話通訳・要約筆記者派遣」が最も多く 63.7%、次いで「保育所等訪問支援」が 63.1%、「自動車運転免許取得教習費助成」が 61.7%、「児童発達支援」が 61.3%、「放課後デイサービス」が 60.1%などとなっています。

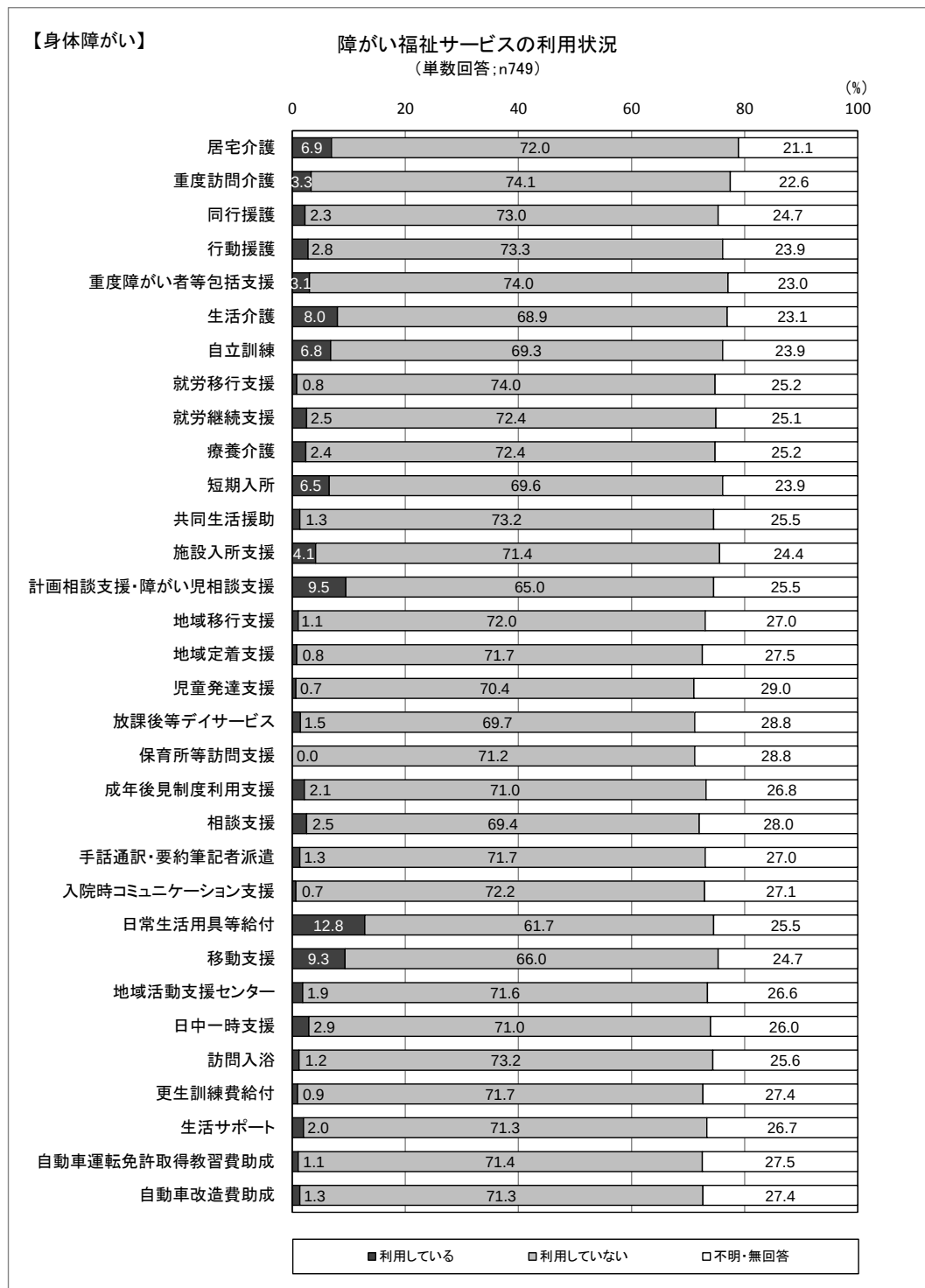


【障がい種別】

(身体障がい)

① 利用状況

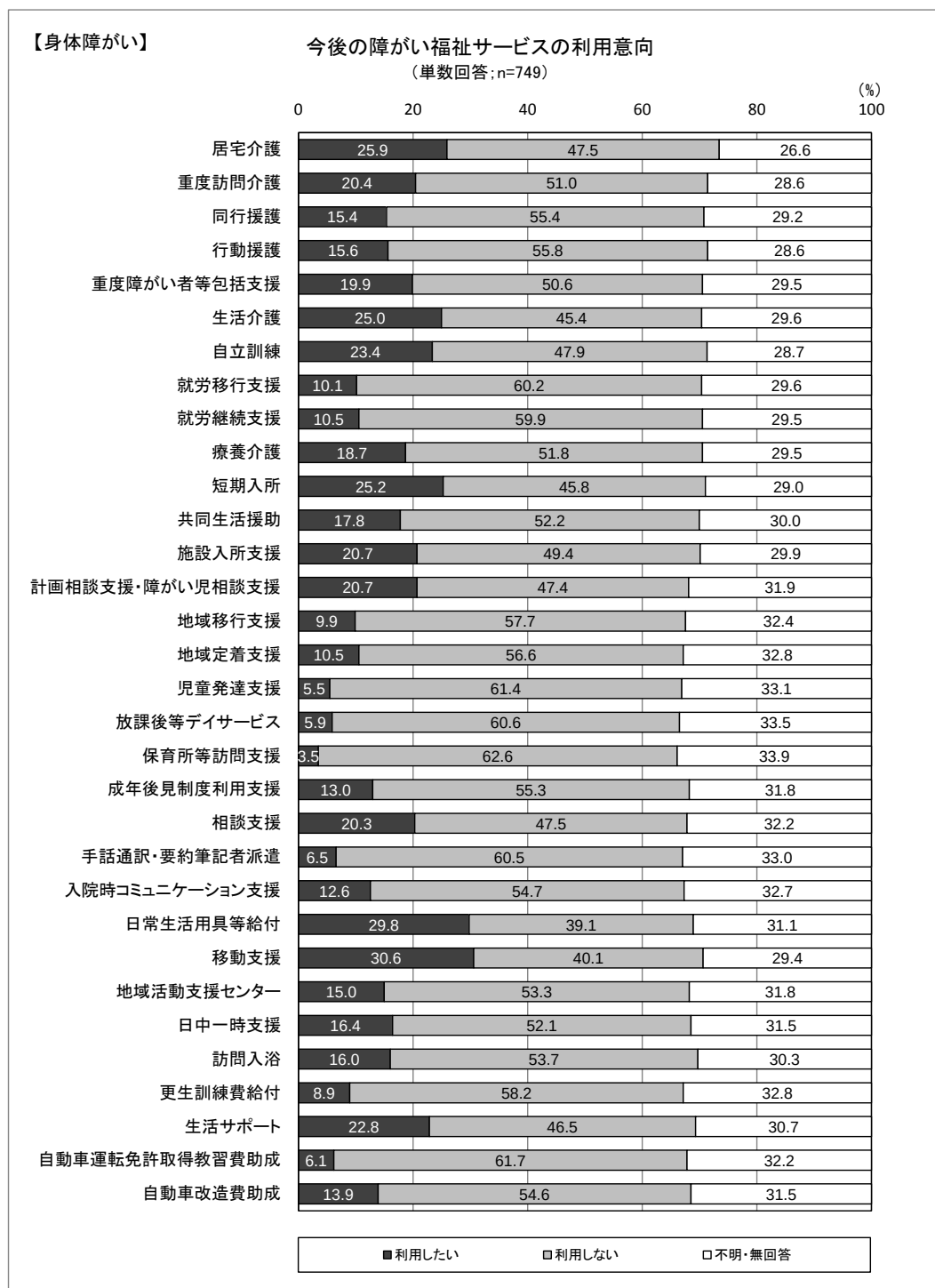
「利用している」は「日常生活用具等給付」が最も多く 12.8%、次いで「計画相談支援・障がい児相談支援」が 9.5%、「移動支援」が 9.3%、「生活介護」が 8.0%、「居宅介護」が 6.9%などとなっています。



② 利用意向

「利用したい」は「移動支援」が最も多く 30.6%、次いで「日常生活用具等給付」が 29.8%、「居宅介護」が 25.9%、「短期入所」が 25.2%、「生活介護」が 25.0%などとなっています。

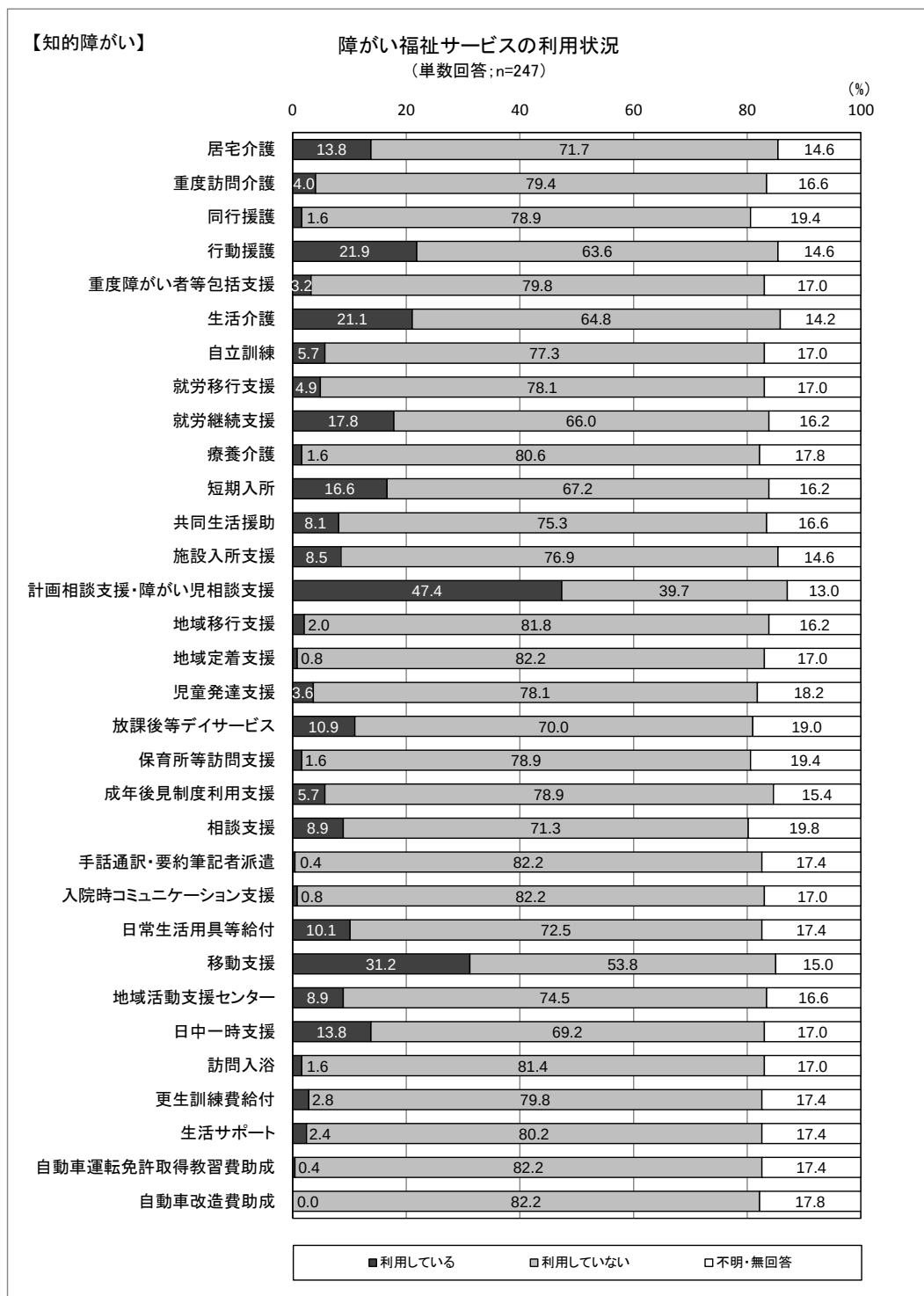
「利用しない」は「保育所等訪問支援」が最も多く 62.6%、次いで「自動車運転免許取得教習費助成」が 61.7%、「児童発達支援」が 61.4%、「放課後等デイサービス」が 60.6%、「手話通訳・要約筆記者派遣」が 60.5%などとなっています。



(知的障がい)

① 利用状況

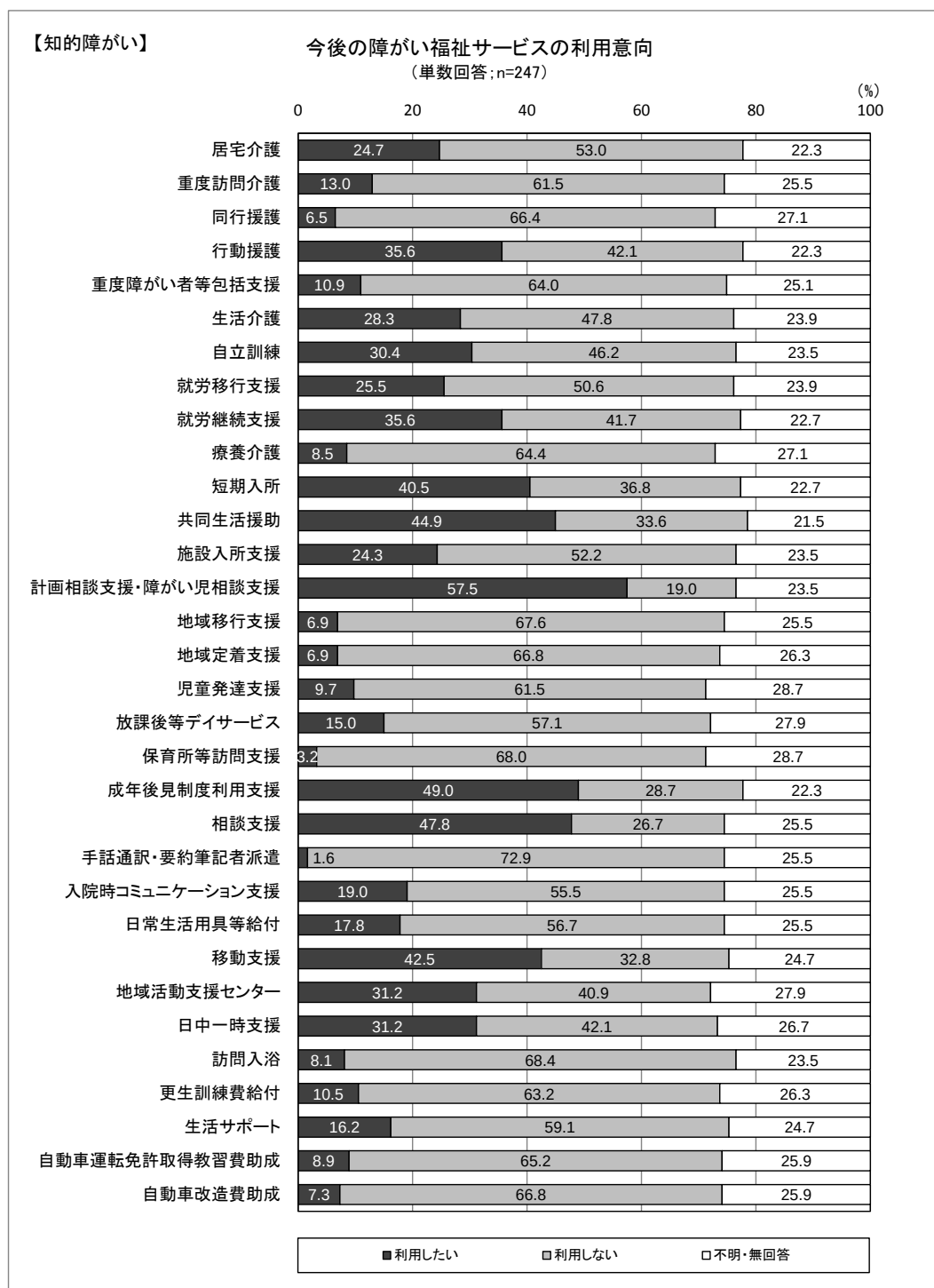
「利用している」は「計画相談支援・障がい児相談支援」が最も多く 47.4%、次いで「移動支援」が 31.2%、「行動援護」が 21.9%、「生活介護」が 21.1%、「就労継続支援」が 17.8%などとなっています。



② 利用意向

「利用したい」は「計画相談支援・障がい児相談支援」が最も多く 57.5%、次いで「成年後見制度利用支援」が 49.0%、「相談支援」が 47.8%、「共同生活援助」が 44.9%、「移動支援」が 42.5%などとなっています。

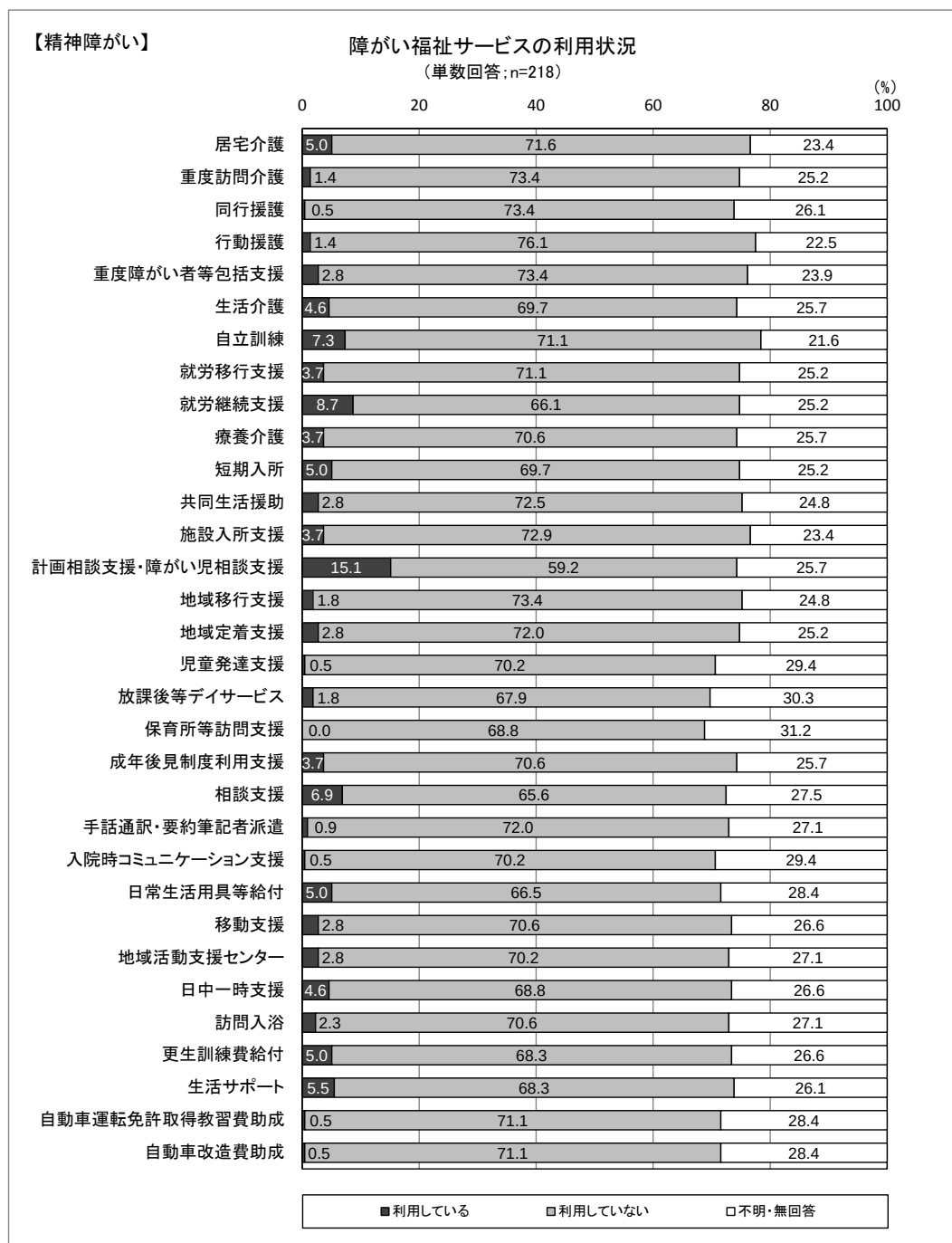
「利用しない」は「手話通訳・要約筆記者派遣」が最も多く 72.9%、次いで「訪問入浴」が 68.4%、「保育所等訪問支援」が 68.0%、「地域移行支援」が 67.6%「地域定着支援」「自動車改造費助成」が 66.8%などとなっています。



(精神障がい)

① 利用状況

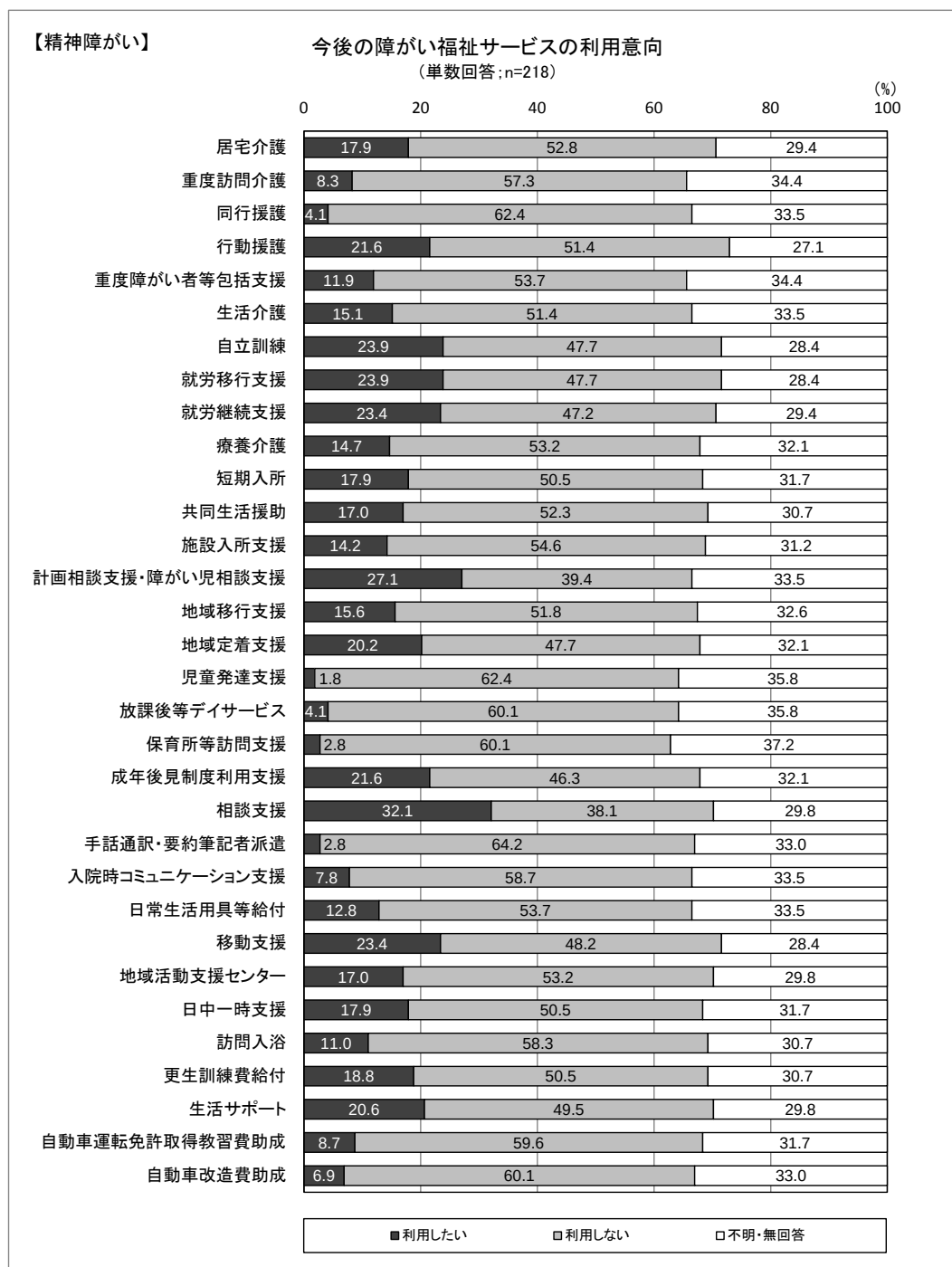
「利用している」は「計画相談支援・障がい児相談支援」が最も多く 15.1%、次いで「就労継続支援」が 8.7%、「自立訓練」が 7.3%、「相談支援」が 6.9%、「生活サポート」が 5.5%などとなっています。



② 利用意向

「利用したい」は「相談支援」が最も多く 32.1%、次いで「計画相談支援・障がい児相談支援」が 27.1%、「自立訓練」「就労移行支援」が 23.9%、「就労継続支援」「移動支援」が 23.4%などとなっています。

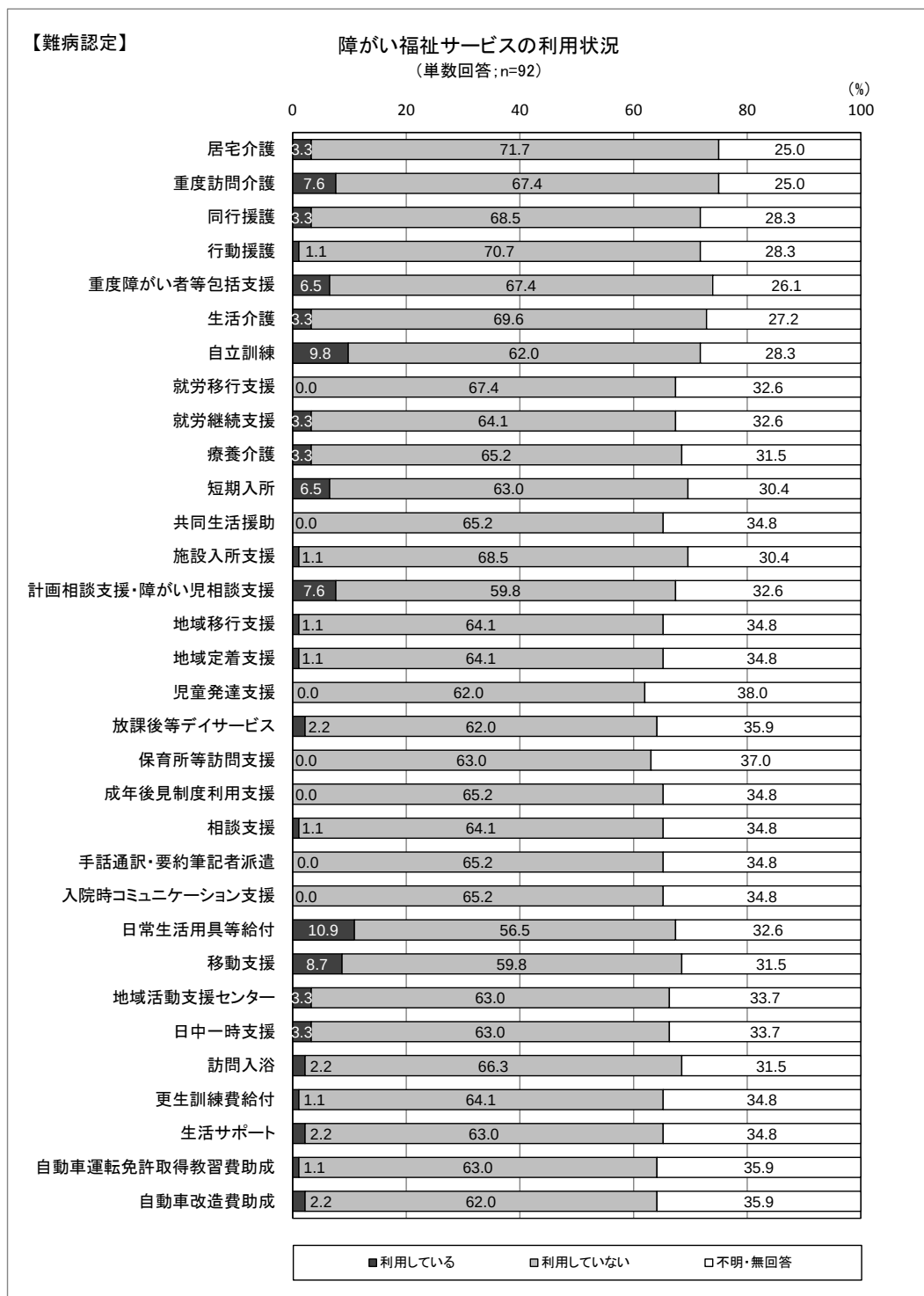
「利用しない」は「手話通訳・要約筆記者派遣」が最も多く 64.2%、次いで「同行援護」「児童発達支援」が 62.4%「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」が 60.1%などとなっています。



(難病認定)

① 利用状況

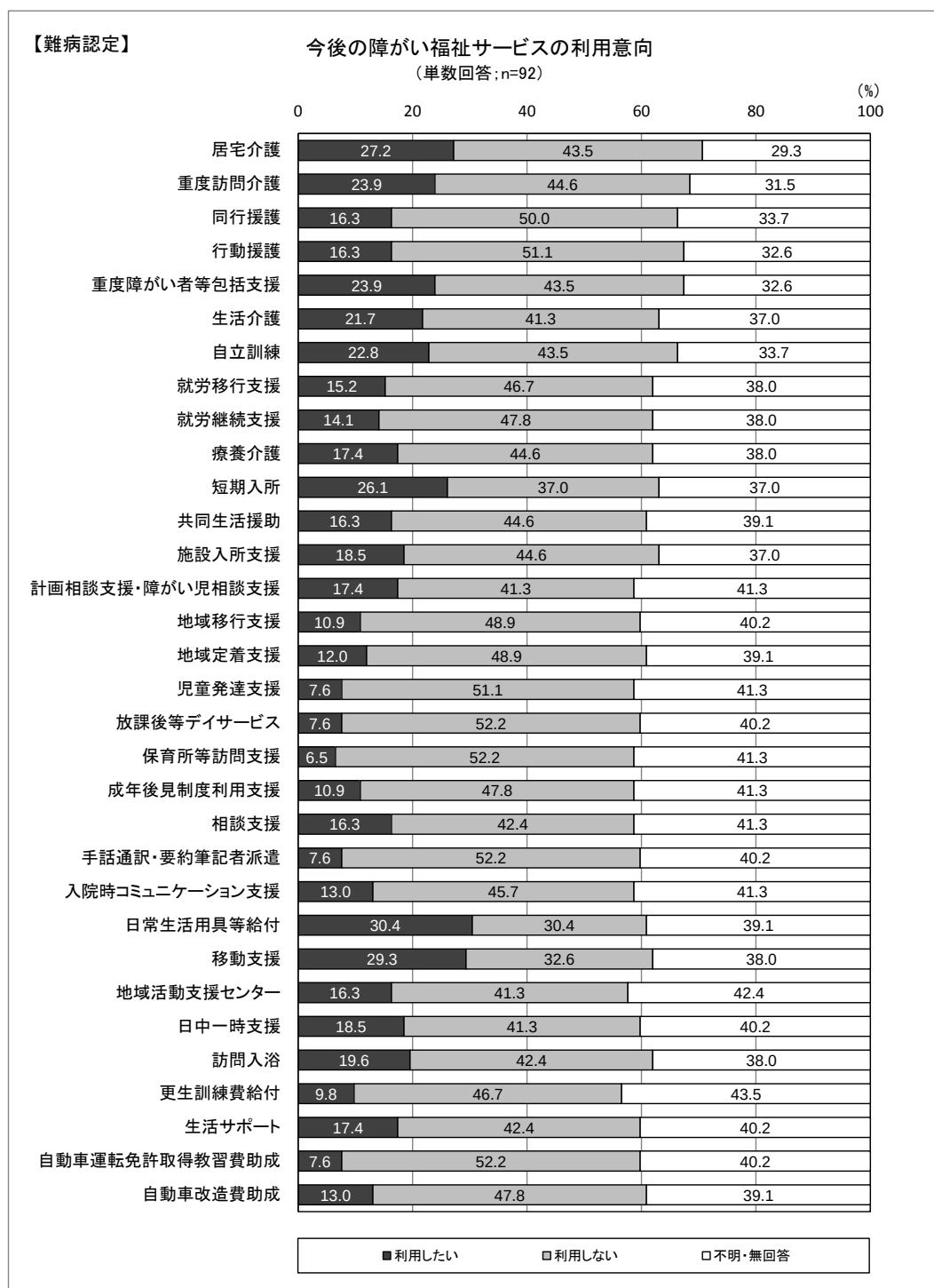
「利用している」は「日常生活用具等給付」が最も多く 10.9%、次いで「自立訓練」が 9.8%、「移動支援」が 8.7%、「重度訪問介護」「計画相談支援・障がい児相談支援」が 7.6%などとなっています。



② 利用意向

「利用したい」は「日常生活用具等給付」が最も多く 30.4%、次いで「移動支援」が 29.3%、「居宅介護」が 27.2%、「短期入所」が 26.1%、「重度訪問介護」「重度障がい者等包括支援」が 23.9%などとなっています。

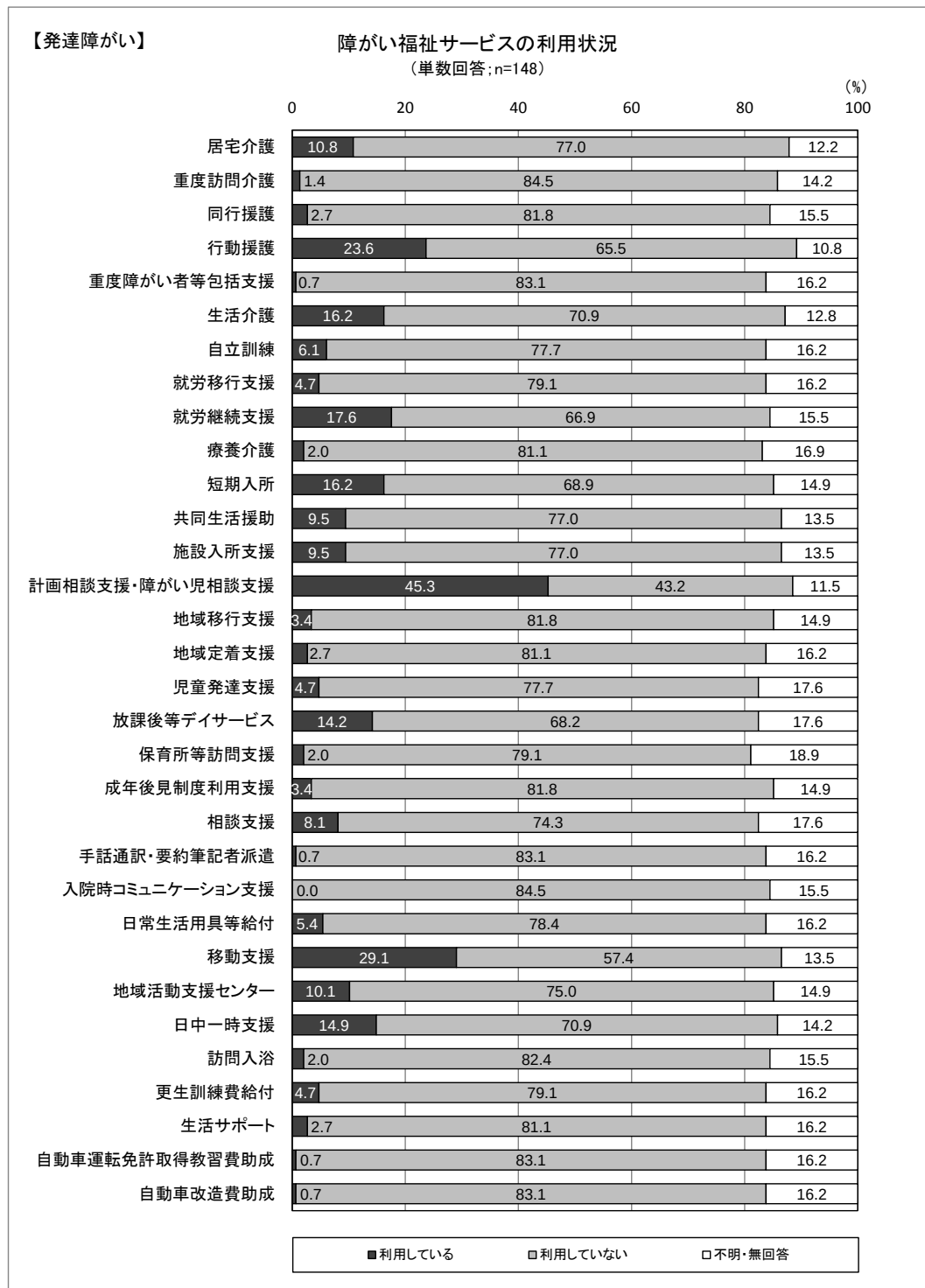
「利用しない」は「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」「手話通訳・要約筆記者派遣」「自動車運転免許取得教習費助成」が最も多く 52.2%、次いで「行動援護」「児童発達支援」が 51.1%などとなっています。



(発達障がい)

① 利用状況

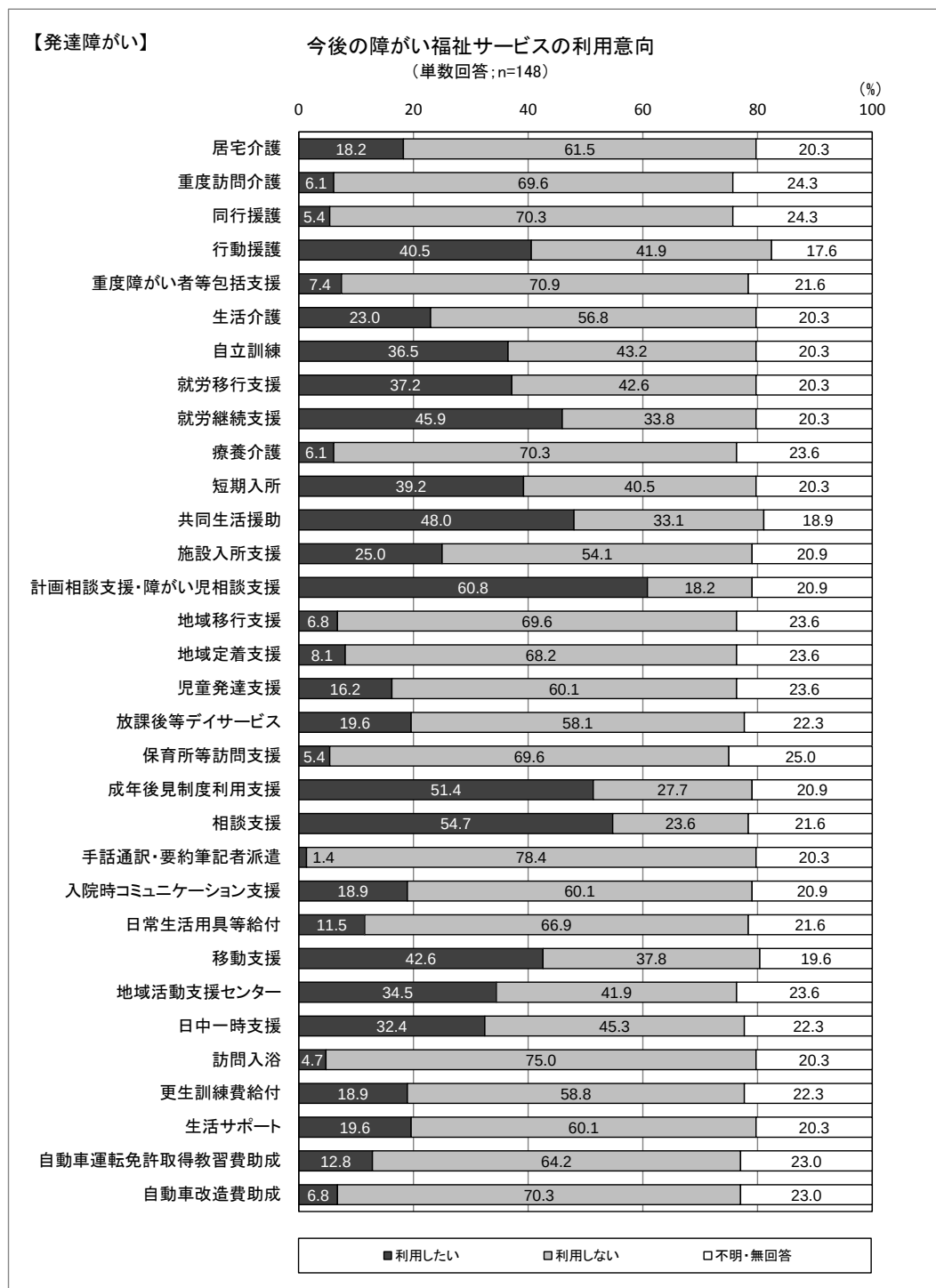
「利用している」は「計画相談支援・障がい児相談支援」が最も多く 45.3%、次いで「移動支援」が 29.1%、「行動援護」が 23.6%、「就労継続支援」が 17.6%、「生活介護」「短期入所」が 16.2%などとなっています。



② 利用意向

「利用したい」は「計画相談支援・障がい児相談支援」が最も多く 60.8%、次いで「相談支援」が 54.7%、「成年後見制度利用支援」が 51.4%、「共同生活援助」が 48.0%、「就労継続支援」が 45.9% などとなっています。

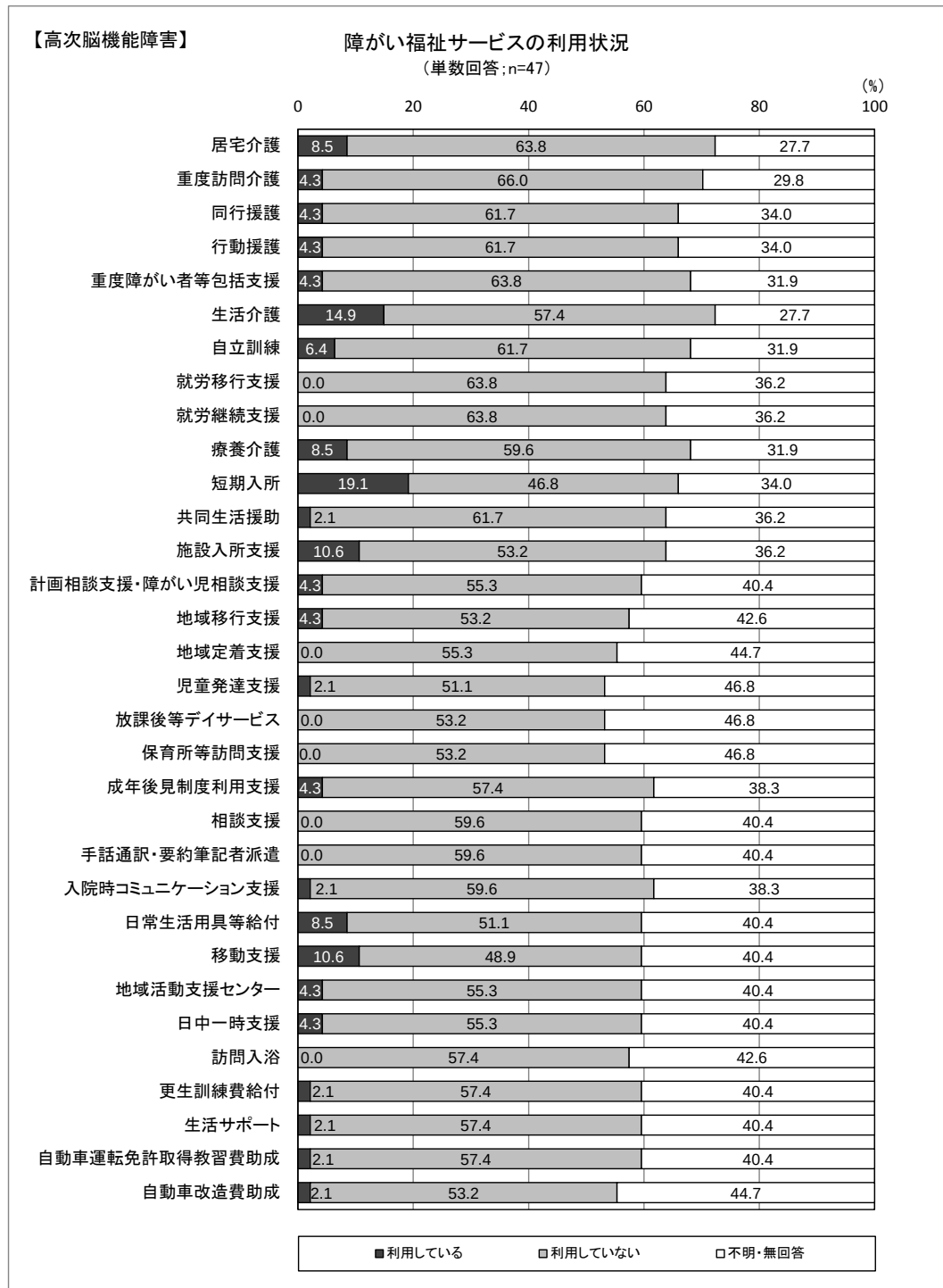
「利用しない」は「手話通訳・要約筆記者派遣」が最も多く 78.4%、次いで「訪問入浴」が 75.0%、「重度障がい者等包括支援」が 70.9%、「同行援護」「療養介護」「自動車改造費助成」が 70.3% などとなっています。



(高次脳機能障害)

① 利用状況

「利用している」は「短期入所」が最も多く 19.1%、次いで「生活介護」が 14.9%、「施設入所支援」「移動支援」が 10.6%、「居宅介護」「療養介護」「日常生活用具等給付」が 8.5%などとなっています。



② 利用意向

「利用したい」は「日常生活用具等給付」が最も多く 27.7%、次いで「短期入所」が 25.5%、「居宅介護」「行動援護」「生活介護」「療養介護」「移動支援」が 21.3%などとなっています。

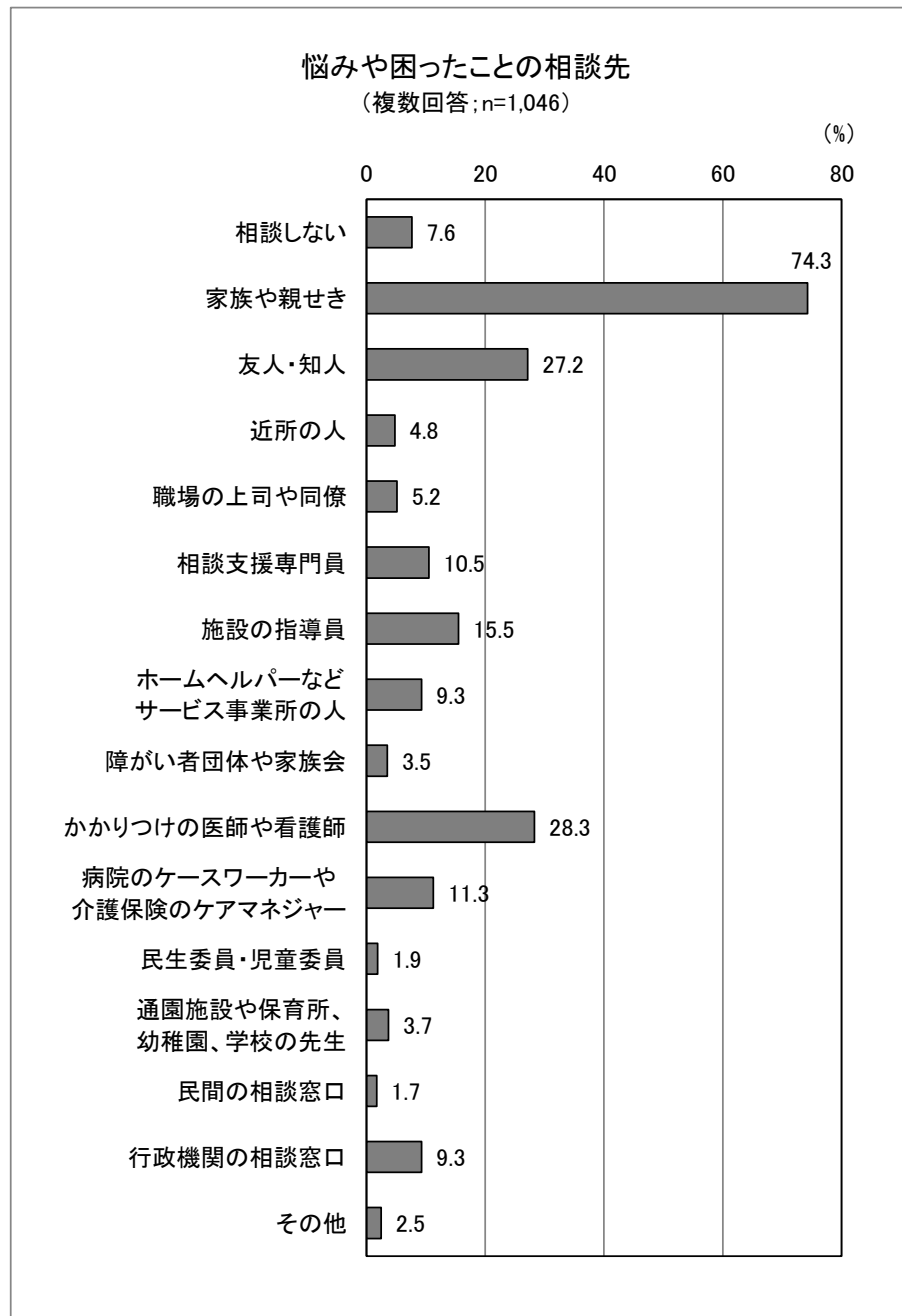
「利用しない」は「手話通訳・要約筆記者派遣」が最も多く 55.3%、次いで「就労継続支援」が 53.2%、「同行援護」が 51.1%、「居宅介護」「重度障がい者等包括支援」「自立訓練」「就労移行支援」「更生訓練費給付」が 48.9%などとなっています。



7. 相談相手について

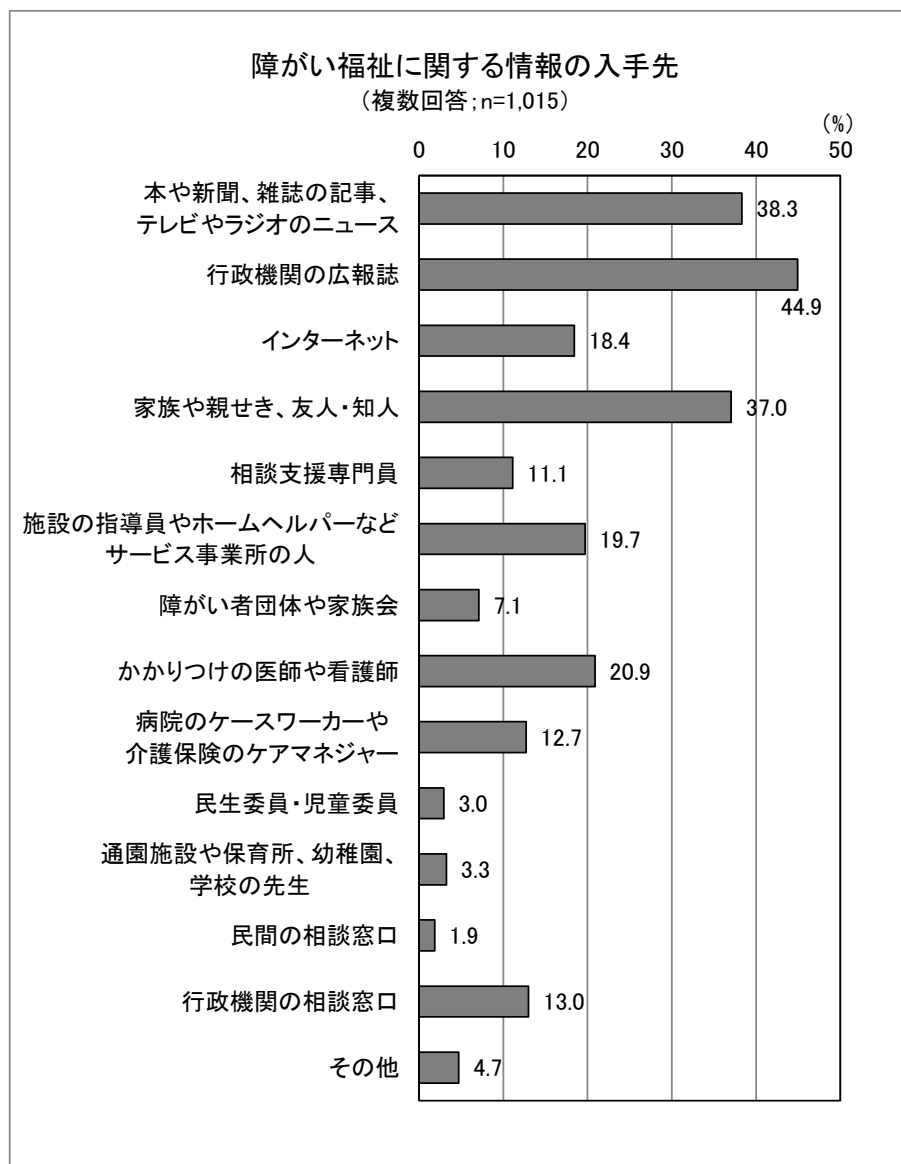
(1) 悩みや困ったことの相談先

「家族や親せき」が最も多く 74.3%、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 28.3%、「友人・知人」が 27.2%などとなっています。一方、「相談しない」は 7.6%となっています。



（２） 障がい福祉に関する情報の入手先

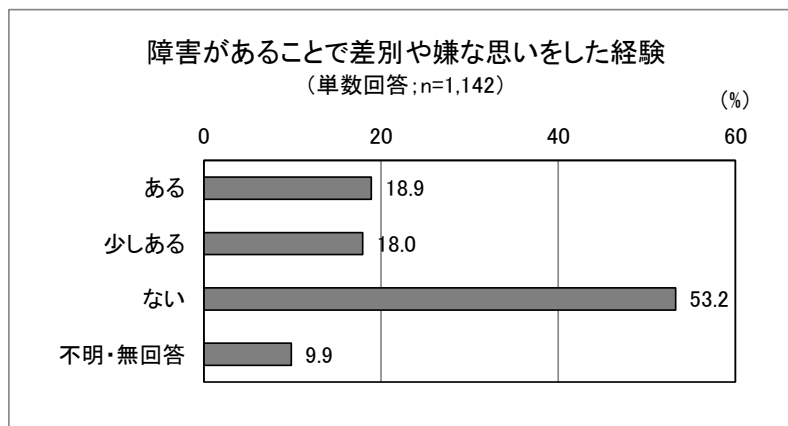
「行政機関の広報誌」が最も多く 44.9%、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が 38.3%、「家族や親せき、友人・知人」が 37.0%などとなっています。



8. 権利擁護について

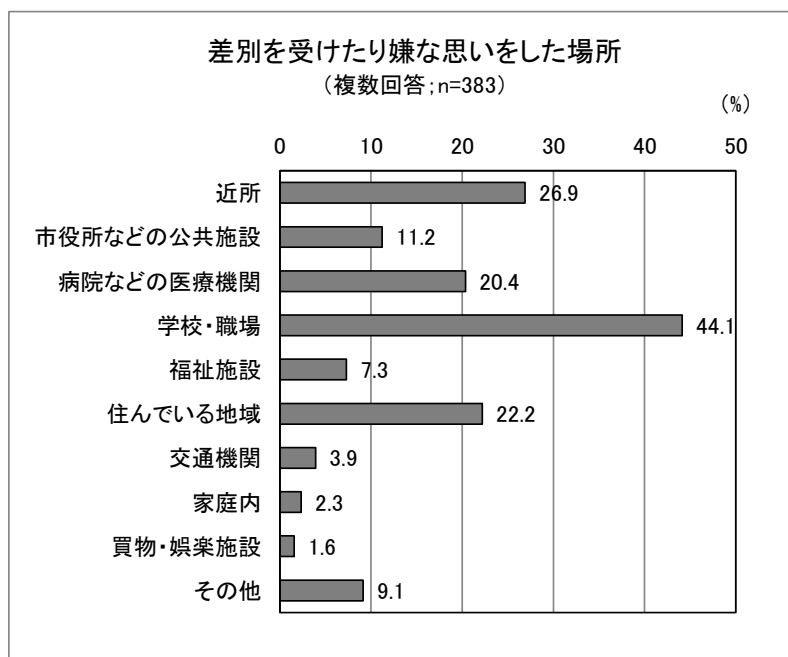
(1) 障がいがあることで差別や嫌な思いをした経験

「ない」が最も多く 53.2%、次いで「ある」が 18.9%、「少しある」が 18.0%となっています。



【差別を受けたり嫌な思いをした場所】

「学校・職場」が最も多く 44.1%、次いで「近所」が 26.9%などとなっています。



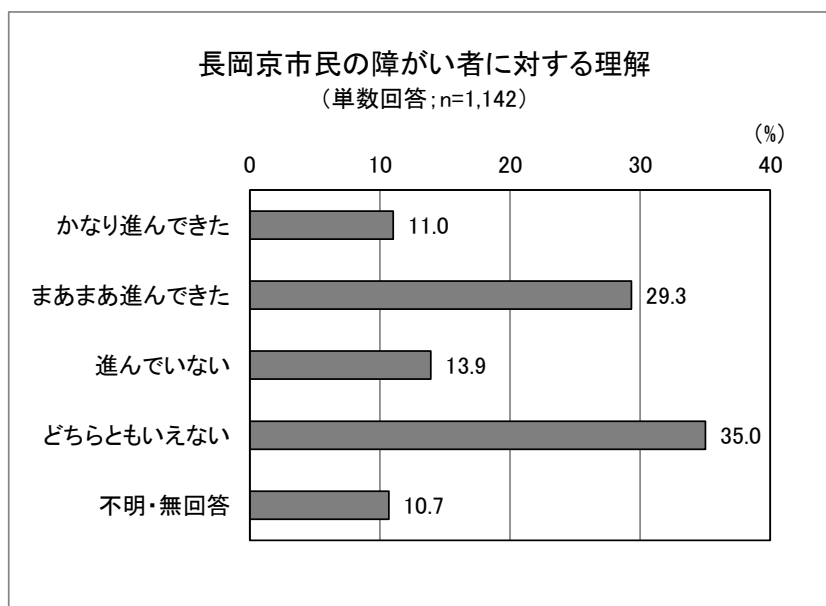
【受けた差別や嫌な思い】

延べ 238 件の意見があり以下のように分類しました。

- ・ 不愉快な言動…………… 56
- ・ 拒否・無視…………… 46
- ・ いやがらせ行為…………… 31
- ・ 蔑視・好奇の目線…………… 28
- ・ その他…………… 75

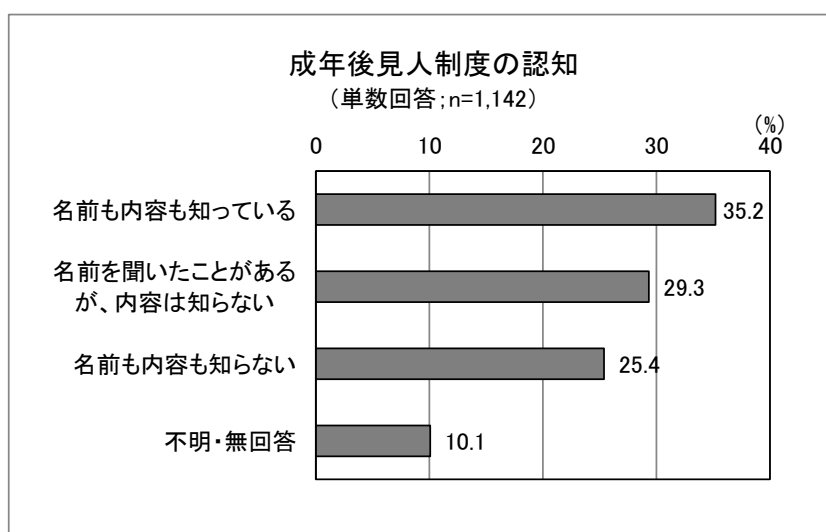
(2) 長岡京市民の障がい者に対する理解

「どちらともいえない」が最も多く 35.0%、次いで「まあまあ進んできた」が 29.3%などとなっています。



(3) 成年後見人制度の認知

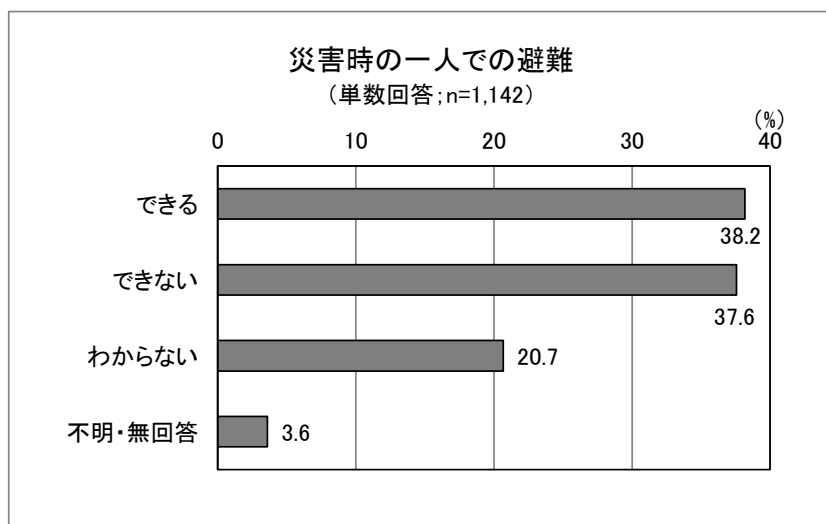
「名前も内容も知っている」が最も多く 35.2%、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 29.3%、「名前も内容も知らない」が 25.4%となっています。



9. 災害時の避難等について

(1) 災害時の一人での避難

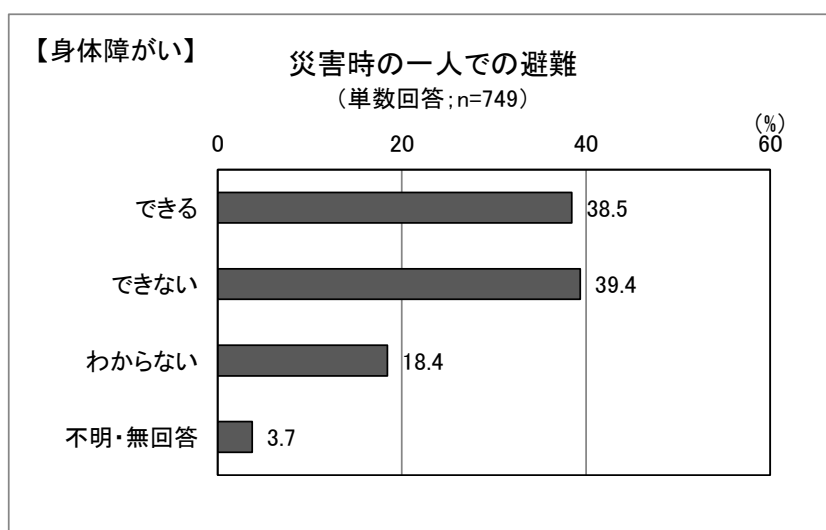
「できる」が最も多く 38.2%、次いで「できない」が 37.6%、「わからない」が 20.7%となっています。



【障がい種別】

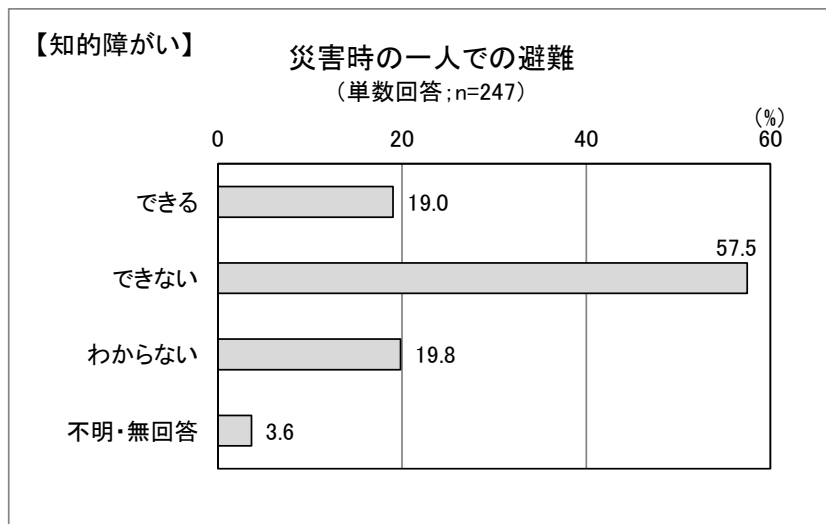
(身体障がい)

「できない」が最も多く 39.4%、次いで「できる」が 38.5%、「わからない」が 18.4%となっています。



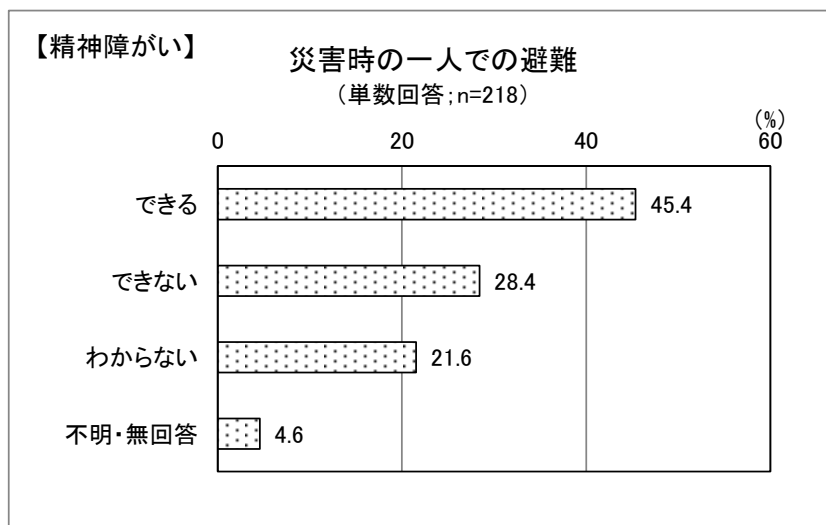
(知的障がい)

「できない」が最も多く 57.5%、次いで「わからない」が 19.8%、「できる」が 19.0%となっています。



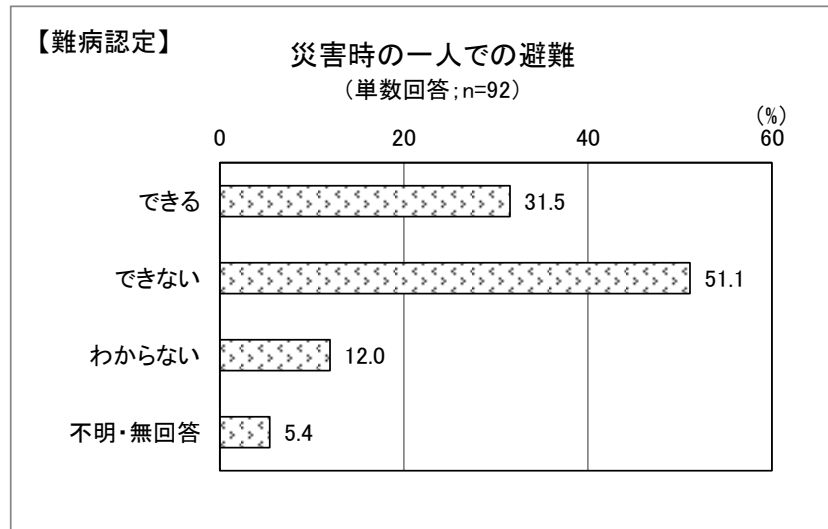
(精神障がい)

「できる」が最も多く 45.4%、次いで「できない」が 28.4%、「わからない」が 21.6%となっています。



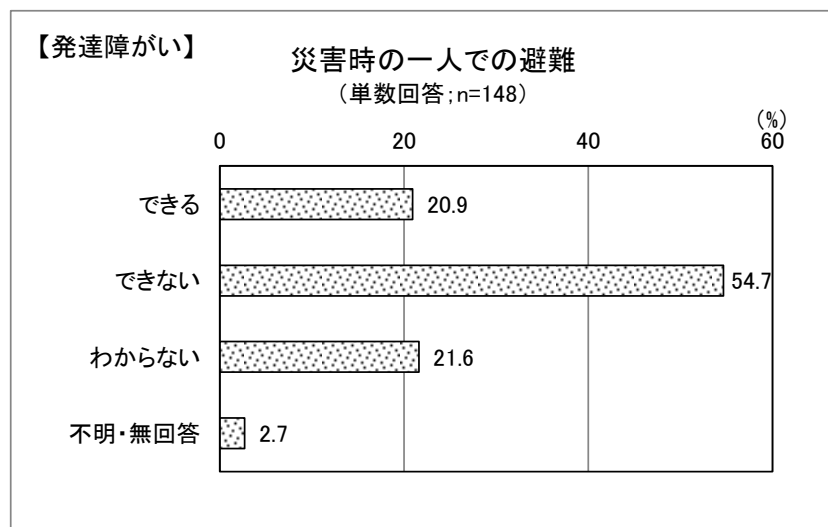
(難病認定)

「できない」が最も多く 51.1%、次いで「できる」が 31.5%、「わからない」が 12.0%となっています。



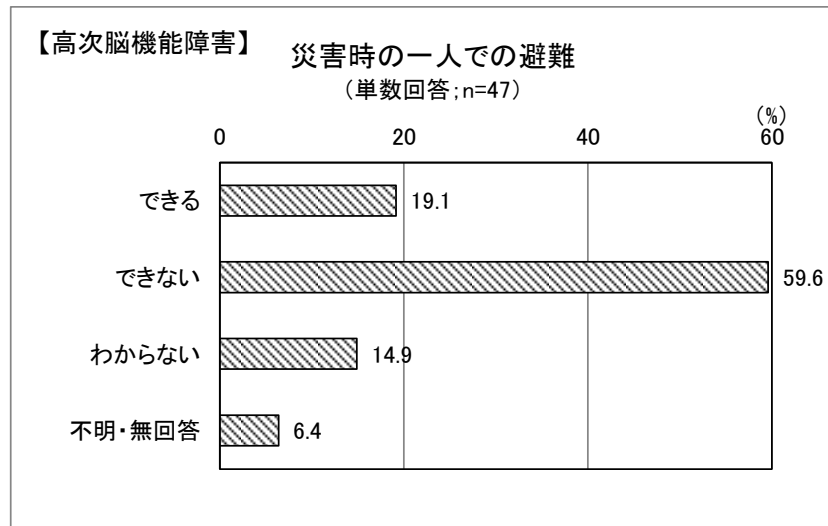
(発達障がい)

「できない」が最も多く 54.7%、次いで「わからない」が 21.6%、「できる」が 20.9%となっています。



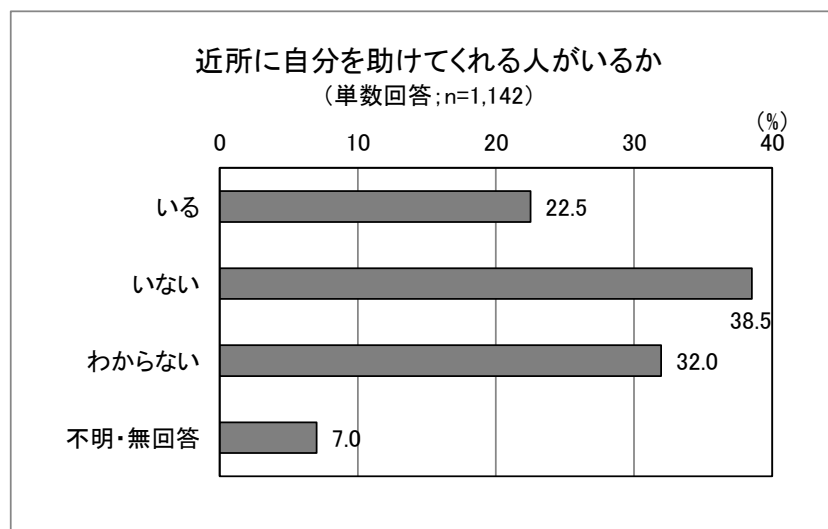
（高次脳機能障害）

「できない」が最も多く 59.6%、次いで「できる」が 19.1%、「わからない」が 14.9%となっています。



（２） 近所に自分を助けてくれる人がいるか

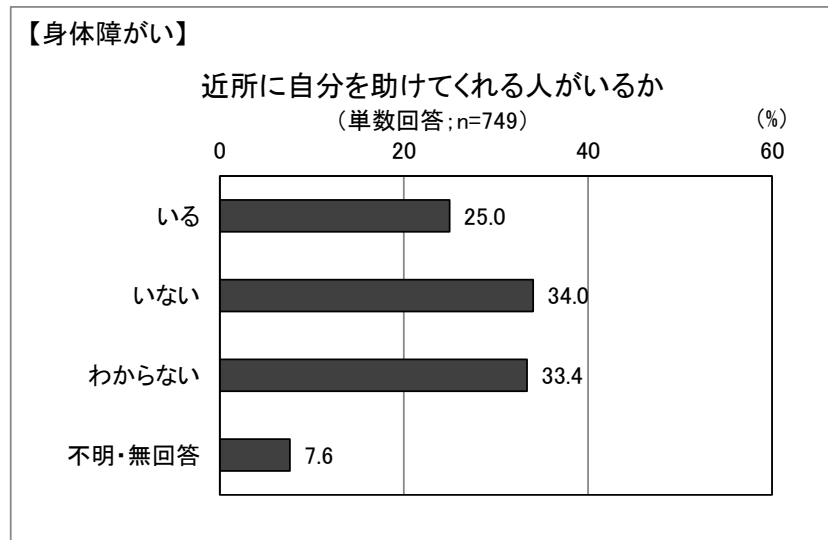
「いない」が最も多く 38.5%、次いで「わからない」が 32.0%、「いる」が 22.5%となっています。



【障がい種別】

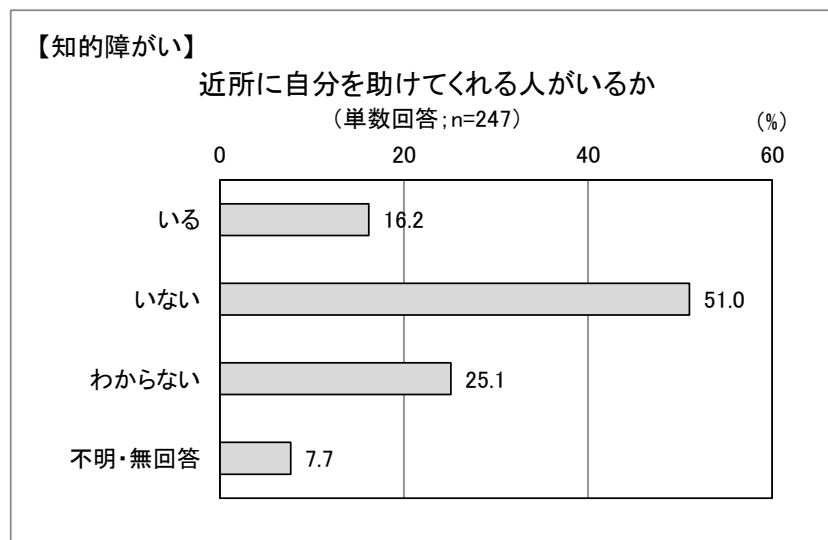
（身体障がい）

「いない」が最も多く 34.0%、次いで「わからない」が 33.4%、「いる」が 25.0%となっています。



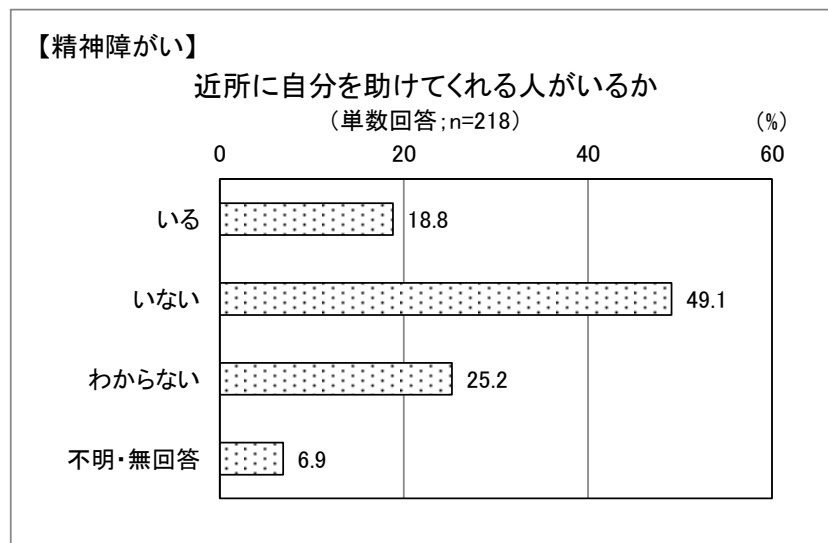
（知的障がい）

「いない」が最も多く 51.0%、次いで「わからない」が 25.1%、「いる」が 16.2%となっています。



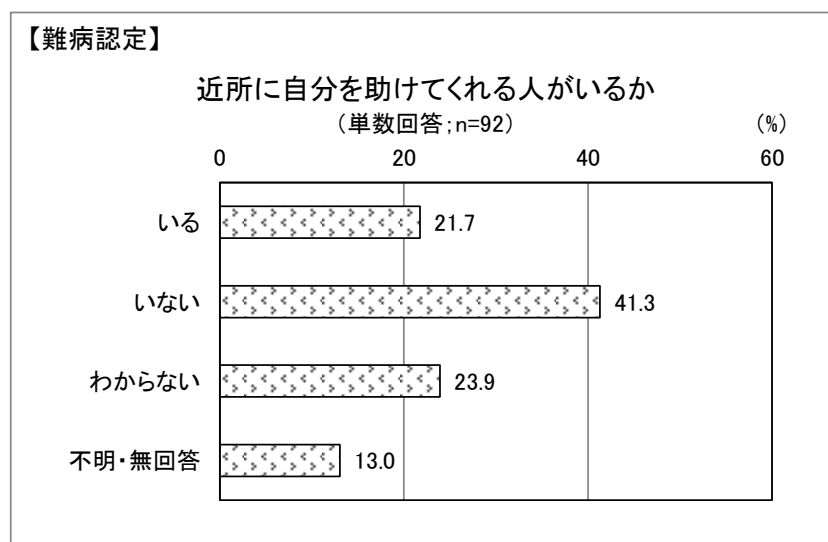
(精神障がい)

「いない」が最も多く 49.1%、次いで「わからない」が 25.2%、「いる」が 18.8%となっています。



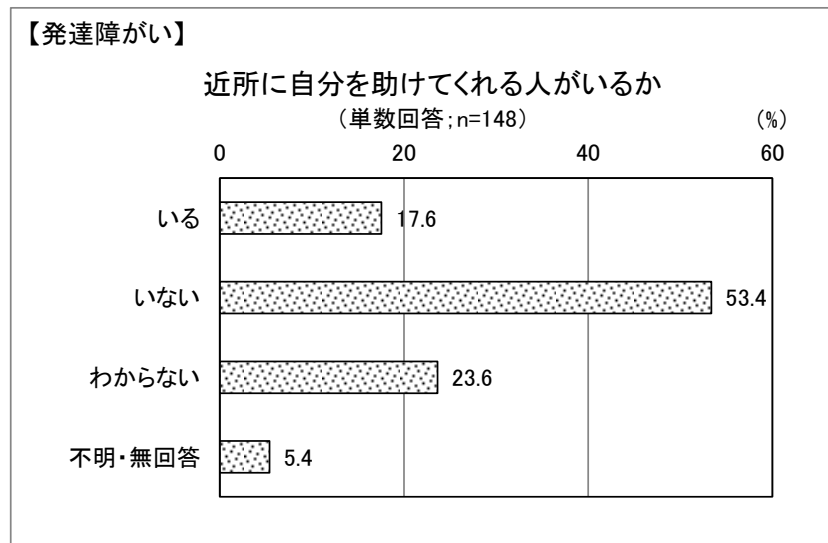
(難病認定)

「いない」が最も多く 41.3%、次いで「わからない」が 23.9%、「いる」が 21.7%となっています。



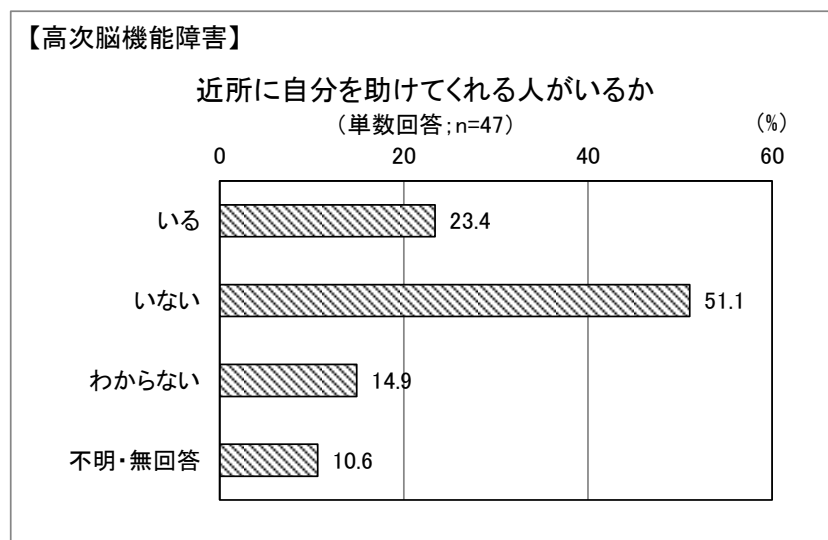
(発達障がい)

「いない」が最も多く 53.4%、次いで「わからない」が 23.6%、「いる」が 17.6%となっています。



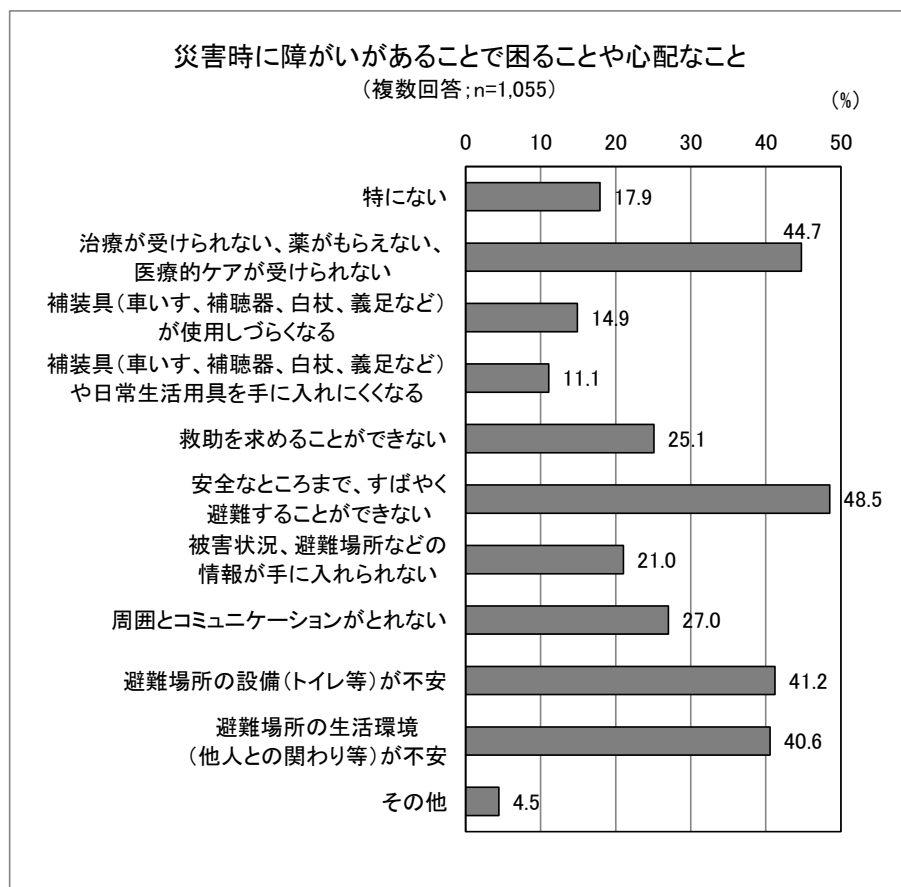
(高次脳機能障害)

「いない」が最も多く 51.1%、次いで「いる」が 23.4%、「わからない」が 14.9%となっています。



(3) 災害時に障がいがあることで困ることや心配なこと

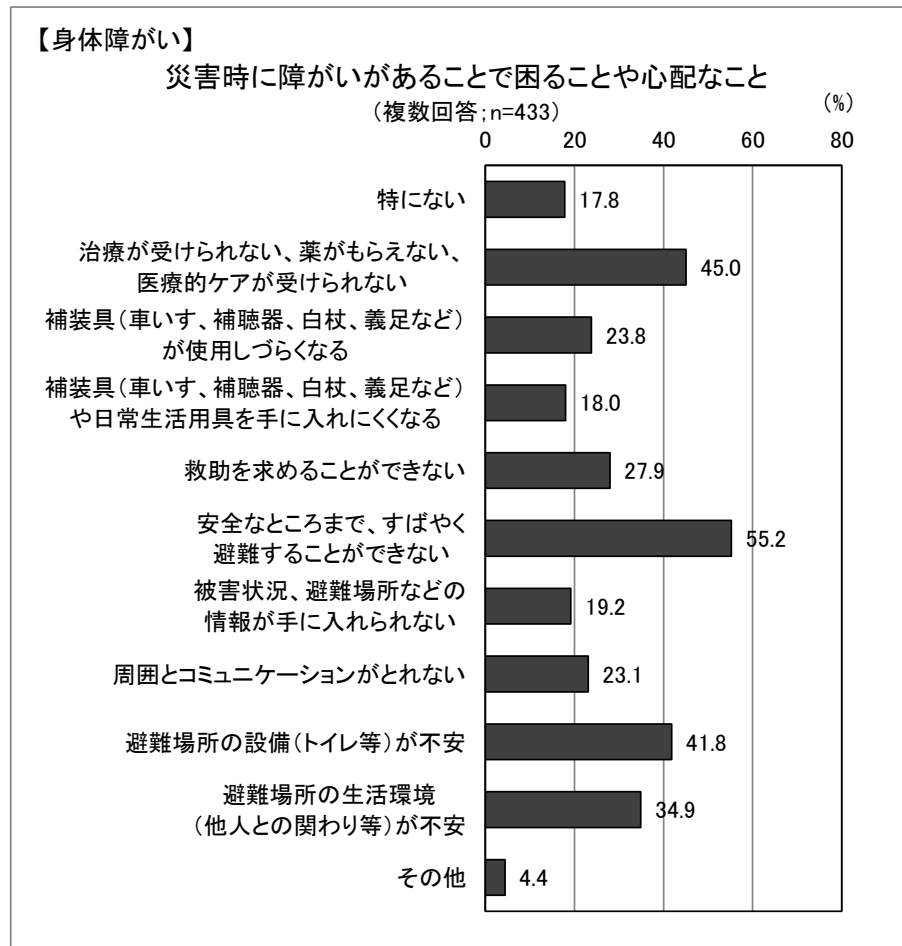
「安全なところまで、すばやく避難することができない」が最も多く 48.5%、次いで「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が 44.7%、「避難場所の設備（トイレ等）が不安」が 41.2%、「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が 40.6%などとなっています。



【障がい種別】

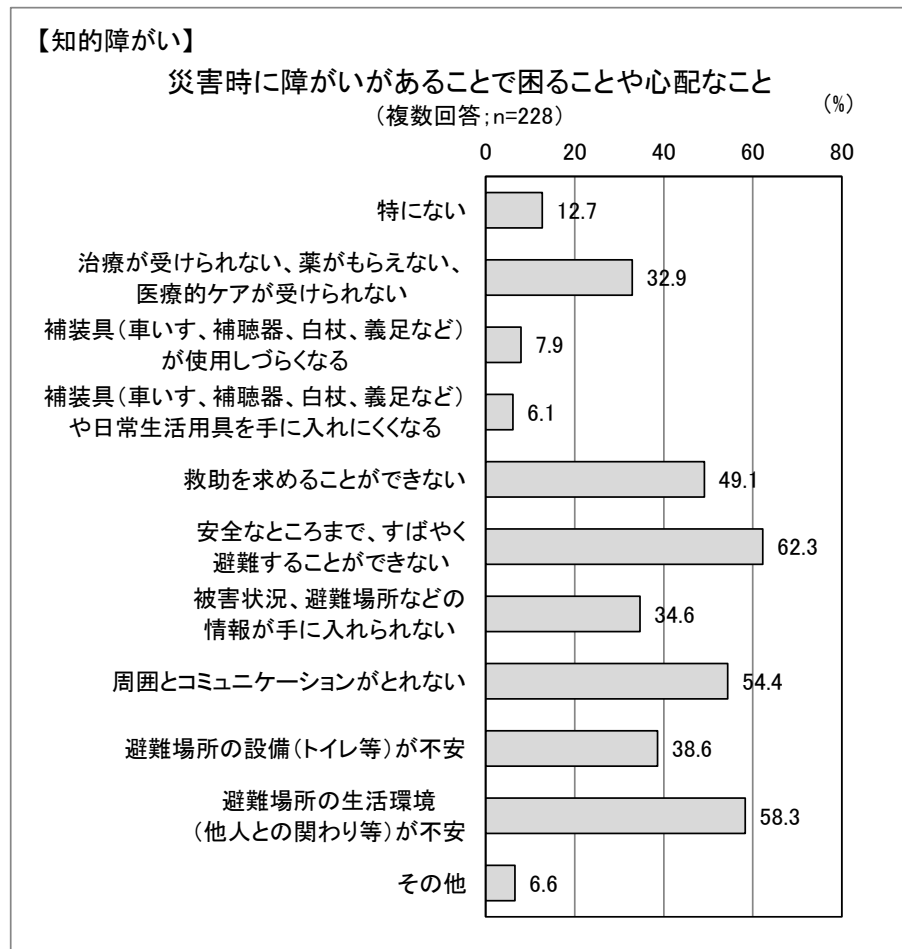
（身体障がい）

「安全なところまで、すばやく避難することができない」が最も多く 55.2%、次いで「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が 45.0%、「避難場所の設備（トイレ等）が不安」が 41.8%などとなっています。



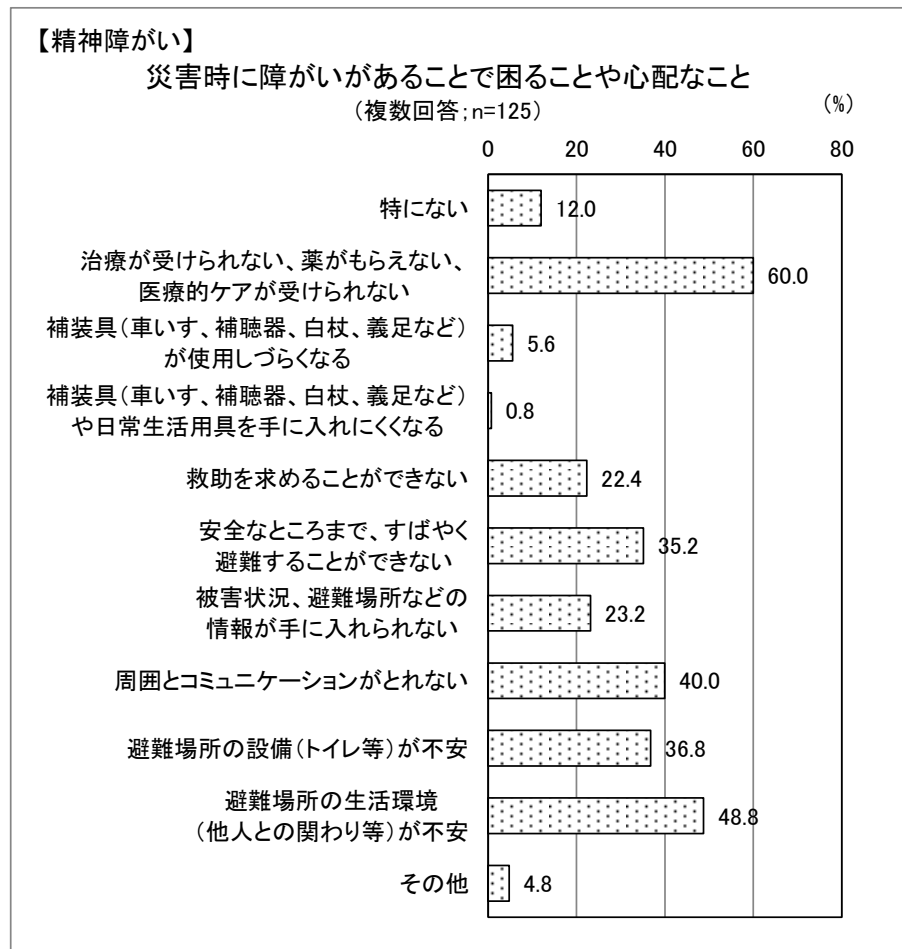
（知的障がい）

「安全なところまで、すばやく避難することができない」が最も多く 62.3%、次いで「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が 58.3%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 54.4%、「救助を求めることができない」が 49.1%などとなっています。



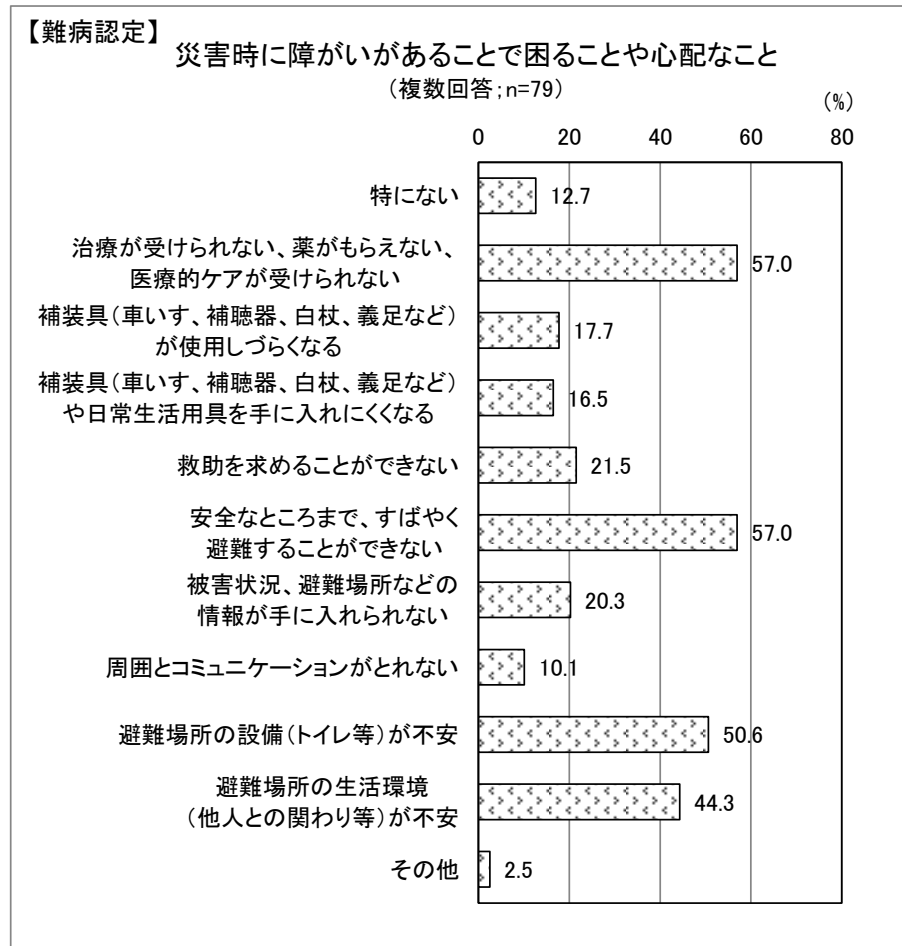
(精神障がい)

「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が最も多く 60.0%、次いで「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が 48.8%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 40.0%などとなっています。



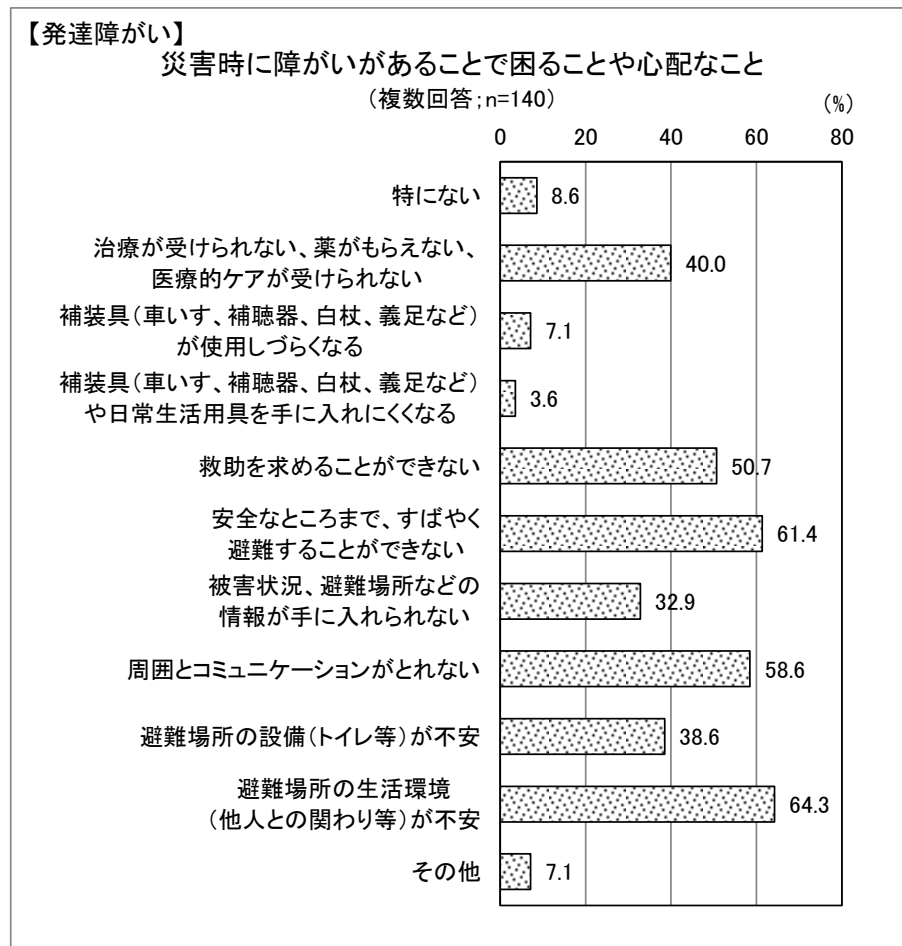
(難病認定)

「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」「安全なところまで、すばやく避難することができない」が最も多く 57.0%、次いで「避難場所の設備（トイレ等）が不安」が 50.6%、「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が 44.3%などとなっています。



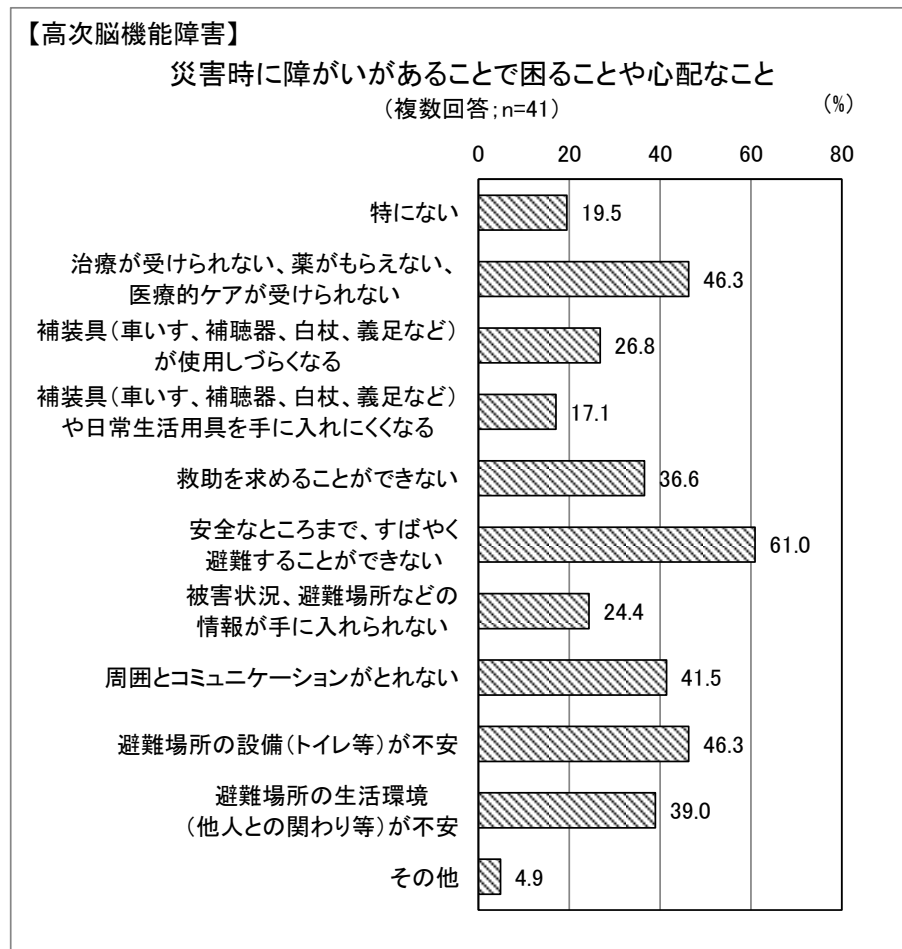
(発達障がい)

「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が最も多く 64.3%、次いで「安全なところまで、すばやく避難することができない」が 61.4%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 58.6%、「救助を求めることができない」が 50.7%となっています。



(高次脳機能障害)

「安全なところまで、すばやく避難することができない」が最も多く 61.0%、次いで「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」「避難場所の設備（トイレ等）が不安」が 46.3%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 41.5%などとなっています。



10. 自由記述

延べ 266 件の意見があり、以下の分類で整理しています。

介護・医療について	79
施設の増設	37
介護支援人員の充足	10
就労機会の増加	10
精神障害者への支援	8
相談窓口の設置	7
介護者への支援	5
その他	2
行政の窓口対応や情報提供等について	70
現状に満足	18
担当窓口の対応改善	16
一般市民への障がい者に対する普及啓発の充実	12
広報・情報提供の改善	10
制度への疑問・改善	8
プライバシー保護の徹底	6
将来への不安	27
親（介護者）世代の高齢化	20
災害時の対応・避難	7
経済的支援について	25
交通費（含タクシー券）助成拡大	12
年金の増額	4
生活保護条件の緩和	2
その他	7
バリアフリーや移動の確保について	21
道路などのバリアフリー化の推進	15
駐車場の整備	5
交通網の改善	1
その他	44
アンケート調査について	17
自立して生活している	9
その他	18

■資料編

アンケート調査票

福祉に関するアンケート調査票

みなさまには日ごろから福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

このアンケート調査は、今後策定を予定している「障がい福祉計画」「障がい者（児）福祉基本計画」の資料となるほか、長岡京市が福祉を進める上での貴重な資料となります。

よりよい長岡京市をつくるため、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、
長岡京市個人情報保護条例に基づき、プライバシーには十分注意いたします。

平成26年8月 長岡京市 障がい福祉課

TEL (075) 955-9549/FAX (075) 952-0001

＜ご記入にあたってのお願い＞

- このアンケートには、お名前を書いていただく必要はありません。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。また、記入欄には、具体的
にその内容をご記入ください。
- ご記入いただきましたアンケートは、一緒に入っていた封筒に入れて、切手を貼らず
に平成26年9月10日(水)までに、ポストに入れてください。

とい 問1 アンケートにお答えいただくのはどなたですか。(○は1つだけ)

ほんにん 1. 本人	ふ ぼ 2. 父母 そ ぶ ぼ 3. 祖父母 4. きょうだい かぞくいがい かいじょしゃ 5. 家族以外の介助者など 6. その他 ()
---------------	--

ほんにんが い かた こた
本人以外の方がお答えいただく
ばあい は ん い ほんにん
場合は、わかる範囲でご本人の
じょうきょう こた
状況についてお答えください。

あなた (あて な かた) の年齢・性別などについてお聞きます

とい 問2 あなたの年齢をお答えください。(平成26年7月末日現在)

まん 満		さい 歳
---------	--	---------

とい 問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 (だんせい)	2. 女性 (じょせい)
--------------	--------------

とい 問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)
※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は「6」に○をつけてください。

ふ ぼ 1. 父母 そ ぶ ぼ 2. 祖父母 3. きょうだい はいぐうしゃ おっと つま 4. 配偶者 (夫 または妻) こ 5. 子ども	かぞくいがい ひと 6. 家族以外の人 ひとり く 7. いない (一人で暮らしている) た 8. その他 ()
--	---

(問4で「1」～「5」を答えた方)

とい 問5 現在、一緒に暮らしているあなたの家族は、あなたを含め何人ですか。

あなたを含め (ふく)		にんかぞく 人家族
-------------	--	--------------

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

(①から⑩それぞれに○を1つ)

項目	ひとりで できる	いちぶかいじょ 一部介助が ひつよう 必要	ぜんぶかいじょ 全部介助が ひつよう 必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ お風呂	1	2	3
④ 着替え	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人に、自分の考えを伝える	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

(問6で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」を答えた方)

問7 あなたを介助してくれる方は主にどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族	2. ホームヘルパー・施設職員
	3. その他()
	4. 頼める人がいない

(問7で「1」を答えた方)

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方はどなたですか。また、その方の年齢、健康状態をお答えください。

① 介護の中心となる家族(○は1つだけ)

1. 父	4. 祖母	7. 姉	10. 妻
2. 母	5. 兄	8. 妹	11. 子ども
3. 祖父	6. 弟	9. 夫	12. その他()

② 介護の中心となる家族の年齢(平成26年7月末日現在)

まん 満		さい 歳
---------	--	---------

③ 介護の中心となる家族の健康状態(○は1つだけ)

1. よい	2. ふつう	3. よくない
-------	--------	---------

あなたの障がいの状況についてお聞きします

問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 4. 4級 | 7. 持っていない |
| 2. 2級 | 5. 5級 | |
| 3. 3級 | 6. 6級 | |

(問9で「1」～「6」を答えた方)

問10 身体障害者手帳の主たる障がいをお答えください。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 視覚障がい | 4. 肢体不自由 |
| 2. 聴覚障がい・平衡機能障がい | 5. 内部障がい(心臓、腎臓、呼吸器など) |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障がい | |

問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. A判定 | 2. B判定 | 3. 持っていない |
|--------|--------|-----------|

問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 持っていない |
|-------|-------|-------|-----------|

問13 あなたは難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

※難病(特定疾患)とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

問14 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※発達障がいとは、自閉症、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

問15 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

問16 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 医療的ケアは受けていない | 8. 中心静脈栄養(IVH) |
| 2. 気管切開 | 9. 透析 |
| 3. 人工呼吸器(レスピレーター) | 10. カテーテル留置 |
| 4. 吸入 | 11. ストーマ(人工肛門・人工膀胱) |
| 5. 吸引 | 12. 在宅酸素 |
| 6. 胃ろう・腸ろう | 13. インシュリン注射 |
| 7. 鼻経管栄養 | 14. その他() |

住まいや暮らしについてお聞きします

問17 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 一人で暮らしている |
| 2. 家族と暮らしている |
| 3. グループホームで暮らしている |
| 4. 福祉施設(障がい者支援施設、高齢者支援施設、児童福祉施設)で暮らしている |
| 5. 病院に入院している |
| 6. その他() |

(問17で「4」または「5」を答えた方)

問18 あなたは将来、どのように生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------|
| 1. 今のまま生活したい |
| 2. グループホームなどを利用したい |
| 3. 家族と一緒に生活したい |
| 4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい |
| 5. その他() |

問19 あなたが長岡京市に住んで地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅で医療的ケアなどが適切に受けられること
2. 障がい者にとって住みやすい家が準備されていること
3. 必要な福祉サービスが適切に利用できること
4. 生活するための訓練等が充実していること
5. 仕事に就くための訓練等が充実していること
6. 生活に必要なお金の負担が軽減されること
7. 相談できる場所や人等が充実していること
8. 緊急時に助けてくれる人がいること
9. 地域の人達に障がいや病気に対する理解があること
10. 障がい者同士や趣味が同じ人が集まる団体、クラブやサークルがあること
11. 障がい者を支援することを目的としたボランティア団体があること
12. その他 ()

問20 あなたは現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に困っていることはない
2. 緊急時に相談できる窓口がない
3. 身の回りの支援をしてくれる人がいない
4. 一緒に暮らす人がいない
5. 働くところがない
6. 生活に必要なお金が足りない
7. 趣味や生きがいが見つけれない
8. 生活をするうえで必要な情報が得られない
9. 自分の健康や体力に自信がない
10. 家族など介護者の健康状態に不安がある
11. 一緒に暮らしている家族との関係が気になる
12. 地域の中に親しい人がいない
13. 気軽に行ける病院がない
14. 将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である
15. その他 ()

日中活動や就労についてお聞きします

問21 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(〇は1つだけ)

1. ほぼ毎日外出する	4. まったく外出しない
2. 1週間に数回外出する	
3. めったに外出しない	

【問22・問23は、問21で「4」以外を答えた方】

問22 あなたは誰と一緒に外出することが多いですか。(〇は1つだけ)

1. 父母・祖父母・きょうだい	4. ヘルパーや施設の職員
2. 配偶者(夫または妻)	5. その他()
3. 子ども	6. 一人で外出する

問23 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 通勤・通学・通所	6. 趣味やスポーツをする
2. 訓練やリハビリに行く	7. グループ活動に参加する
3. 病院に行く	8. 散歩に行く
4. 買い物に行く	9. 地域のイベントに参加する
5. 友人・知人に会う	10. その他()

問24 外出する時に困ることや、外出しようと思ったときにとりやめたりすることはありますか。(〇は1つだけ)

1. ある	2. ない
-------	-------

(問24で「1」を答えた方)

問25 それはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはない
2. 電車やバスの乗り降りが難しい
3. 道路(歩道)や駅に階段や段差が多い
4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい
5. 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)
6. 介助者が確保できない
7. 外出にお金がかかる(交通費やヘルパーの利用料金など)
8. 周囲の目が気になる
9. 発作など突然の体調不良が心配である
10. 困った時にどうすればいいのかわかりにくい
11. 休憩できる場所が少ない
12. その他()

問26 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
3. 専業主婦(主夫)をしている
4. 福祉施設、作業所等に通っている(就労移行支援、就労継続支援A型・B型を含む)
5. 病院などのデイケアに通っている
6. リハビリテーションを受けている
7. 自宅で過ごしている
8. 入所している施設や病院等で過ごしている
9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
10. 特別支援学校(小中高等部)に通っている
11. 一般の高校、小中学校に通っている
12. 幼稚園、保育所、障がい児通園施設などに通っている
13. その他()

【問26で「1」を答えた方】

問27 どのような勤務形態で働いていますか。(〇は1つだけ)

1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農林水産業など
5. その他()

問28 あなたには働く意欲はありますか。(〇は1つだけ)

1. ある	2. ない
-------	-------

(問28で「1」を答えた方)

問29 あなたは現在、仕事(就労移行支援、就労継続支援A型・B型を含む)をしていますか。(〇は1つだけ)

1. している	2. していない
---------	----------

問30 収入を得る仕事に就くために、職業訓練（職業訓練校、トライアル雇用など、ハローワークを通じて訓練）などを受けたいと思いますか。（〇は1つだけ）

1. すでに職業訓練を受けている
2. 職業訓練を受けたい
3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問31 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに〇）

1. 通勤手段の確保
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮
3. 短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮
4. 在宅勤務の拡充
5. 職場の障がい者理解
6. 職場の上司や同僚に障がいの理解があること
7. 職場で介助や援助等が受けられること
8. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
9. 企業ニーズに合った就労訓練
10. 仕事についての職場外での相談対応、支援
11. その他（ ）

問32 病院に関係することで、「あなた」が困っていることはありますか。（〇は1つだけ）

- | | |
|-------|---------|
| 1. ある | 2. 特にない |
|-------|---------|

（問32で「1」を答えた方）

問33 それはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 通院するときに手助けしてくれる人がいない
2. 専門的な治療を行う病院が身近にない
3. 専門的なリハビリができる施設が身近にない
4. ちょっとした病気やけがのときに受け入れてくれる病院が身近にない
5. 障がいがある理由で治療を受けにくい診療科がある（例：歯科・整形外科など）
6. 気軽に診てくれる医師がいない
7. 交通費の負担が大きい
8. 医療費の負担が大きい
9. その他（ ）

しょう ぶくし どうりよう き
障がい福祉サービス等利用についてお聞きします

とい しょうがいしえん ていど くぶん にんてい う
問34 あなたは障害支援（程度）区分の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

1. 区分1	4. 区分4	7. 受けていない
2. 区分2	5. 区分5	
3. 区分3	6. 区分6	

とい つぎ りよう こんごりよう かんが
問35 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えていますか。
（①から④のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を
かいとう はんごう
回答（番号に○）してください）

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
きにゅうれい 記入例 ① きょたくかいご 居宅介護（ホームヘルプ） じたく にゅうよく はい しょくじ かいじょ 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を おこな 行 うサービスです	1 ○	2	1	2 ○
① きょたくかいご 居宅介護（ホームヘルプ） じたく にゅうよく はい しょくじ かいじょ 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を おこな 行 います	1	2	1	2
② じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護 じゅうど しょう 重度の 障 がいがあり常に介護が必要な かた じたく にゅうよく はい しょくじ 方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの かいじょ がいしゅつじ いどう ほじょ おこな 介助や外出時の移動の補助を行 います	1	2	1	2
③ どうこうえんご 同行援護 しかくしょう いどう いちじる こんなん 視覚 障 がいにより移動が 著 しく困難な かた がいしゅつ ひつよう しょうほう ていきょう いどう 方に、外出に必要な情報の提供や移動 ほじょ おこな の補助などを行 います	1	2	1	2
④ こうどうえんご 行動援護 ちてきしょう せいしんしょう こうどう 知的 障 がいや精神 障 がいにより行動が こんなん つね かいご ひつよう かた こうどう 困難で常に介護が必要な方に、行動する とき危険を回避するために必要な介助や がいしゅつじ いどう ほじょ おこな 外出時の移動の補助などを行 います	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
⑤ じゅうどしょう しゃとうほうかつしえん 重度 障がい者等包括支援 つね かいご ひつよう かた かいご ひつよう 常に介護が必要な方で、介護の必要の ていと いちじる だか かた きょたくかいご 程度が 著しく高い方に、居宅介護など ほうかつてき ていきょう のサービスを包括的に提供します	1	2	1	2
⑥ せいかつかいご 生活介護 つね かいご ひつよう かた しせつ にゅうよく はい 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排 せつ、食事の介護や創作的活動などの しよくじ かいご そうさくてきかつどう 機会を提供します きかい ていきょう	1	2	1	2
⑦ じりつくんれん きのうくんれん せいかつくんれん 自立訓練（機能訓練、生活訓練） じりつ にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ 自立した日常生活や社会生活ができるよう、 いってい きかん しんだいきのう せいかつのうりよく 一定の期間における身体機能や生活能力 こうじょう ひつよう くんれん おこな 向上のために必要な訓練を行います	1	2	1	2
⑧ しゅうろういこうしえん 就労移行支援 つうじょう じぎょうしよ はたら かた いってい 通常の事業所で働きたい方に、一定の きかん しゅうろう ひつよう ちしき のうりよく こうじょう 期間、就労に必要な知識や能力の向上 くんれん おこな のための訓練を行います	1	2	1	2
⑨ しゅうろうけいぞくしえん がた がた 就労継続支援（A型、B型） つうじょう じぎょうしよ はたら こんなん かた 通常の事業所で働くことが困難な方 しゅうろう きかい ていきょう せいさんかつどう に、就労の機会の提供や生産活動その た かつどう きかい ていきょう ちしき のうりよく 他の活動の機会の提供、知識や能力の こうじょう くんれん おこな 向上のための訓練を行います	1	2	1	2
⑩ りょうようかいご 療養介護 いりょう ひつよう かた つね かいご ひつよう 医療が必要な方で、常に介護を必要とする かた おも ひるま びょういんどう きのうくんれん 方に、主に昼間に病院等において機能訓練、 りょうようじょう かんり かんご ていきょう 療養上の管理、看護などを提供します	1	2	1	2
⑪ だんきにゅうしよ 短期入所（ショートステイ） さいたく しょう しゃ じ かいご かた 在宅の障がい者（児）を介護する方が びょうき ばあい しょう しゃ じ しせつ 病気の場合などに、障がい者（児）が施設 だんきかんにゅうしよ にゅうよく はい しよくじ に短期間入所し、入浴や排せつ、食事の かいご おこな 介護などを行います	1	2	1	2
⑫ きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助（グループホーム） やかん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな しゅうきょ 夜間や休日、共同生活を行う住居で、 そうだん にちじょうせいかつじょう えんじょ おこな 相談や日常生活上の援助を行います	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
⑭ しせつにゆうしよしえん 施設入所支援 しゅ やかん しせつ にゆうしよ しよう 主として夜間、施設に入所する障がい しゃ じ たい にゆうよく はい しょくじ 者（児）に対し、入浴や排せつ、食事の かいご しえん おこな 介護などの支援を行います	1	2	1	2
⑬ けいかくそうだんしえん しよう じ そうだんしえん 計画相談支援・障がい児相談支援 しよう しゃ ひとりひとり かだい かいけつ 障がい者（児）一人一人の課題解決や てきせつ りよう どう 適切なサービス利用のためのサービス等 りようけいかく さくせい 利用計画を作成します	1	2	1	2
⑮ ちいきいこうしえん 地域移行支援 にゆうしよしせつ せいしんかびょういん たいしよ たいいん 入所施設や精神科病院から退所・退院す ひと ちいき いこう しえん る人の地域への移行を支援します	1	2	1	2
⑯ ちいきていちゃくしえん 地域定着支援 にゆうしよしせつ せいしんかびょういん たいしよ たいいん 入所施設や精神科病院から退所・退院し ひと ちいきせいかつ けいそく しえん た人の地域生活の継続を支援します	1	2	1	2
⑰ しどうはつだつしえん いりょうがたじどうはつだつしえん 児童発達支援（医療型児童発達支援） にちじようせいかつ きほんてき どうさ しどう 日常生活における基本的な動作の指導、 ちしきぎのう しゅうとく しゅうだん せいかつ てきおう 知識技能の習得、集団生活への適応 くんれん しえん ちりよう おこな 訓練などの支援（と治療）を行います	1	2	1	2
⑱ ほうかごとう 放課後等ディサービス がっこう じゅぎょうしゅうりょうご がっこう きゅうこうび かや 学校の授業終了後や学校の休校日に通い、 せいかつのうりよくこうじよう ひつよう くんれん 生活能力向上のために必要な訓練や しゃかい こうりゅう そくしん しえん おこな 社会との交流の促進などの支援を行います	1	2	1	2
⑲ ぼいくしよとうほうもんしえん 保育所等訪問支援 ぼいくしよとう ほうもん しよう じ たい た 保育所等を訪問し、障がい児に対して、他 じどう しゅうだんせいかつ てきおう の児童との集団生活への適応のための せんもんてき しえん おこな 専門的な支援などを行います	1	2	1	2
⑳ せいねんこうけんせいどりようしえん 成年後見制度利用支援 はんだんのうりよく ぶじゅうぶん しよう ひと 判断能力が不十分な障がいのある人に たい けいやくどう てきせつ おこな 対して契約等が適切に行われるように せいねんこうけんせいど りよう しえん する、成年後見制度の利用を支援します	1	2	1	2
㉑ そうだんしえん 相談支援 そうだん じようほうていきよう ぎやくたいほうし けんりようご 相談、情報提供、虐待防止、権利擁護 ひつよう えんじょ おこな のために必要な援助を行います	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
②② しゅわつうやく ようやくひつきしゃはげん 手話通訳・要約筆記者派遣 しゅわつうやく ようやく ひつき おこな ひと 手話通訳や要約筆記などを行 う人の はげん おこな 派遣などを行 います	1	2	1	2
②③ にゅういんじ しえん 入院時コミュニケーション支援 はつごこんなん りゆう い し そつう はか 発語困難などの理由で意思疎通を図ることが むずか ひと にゅういん とし い し かんこし 難しい人が入院した時に、医師や看護師との コミュニケーションを支援する人を派遣します	1	2	1	2
②④ にちじょうせいかつようぐとうきゅうふ 日常生活用具等給付 じゅうど しょう かた たい にちじょうせいかつ 重度の障 がいのある方に対し、日 常 生 活 はんり ようぐ きゅうふ を便利にするための用具を給付します	1	2	1	2
②⑤ いどうしえん 移動支援 がいしゅつ いどう しえん 外 出などの移動を支援します	1	2	1	2
②⑥ ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター そうさくてきかつどう せいさんかつどう きかい ていきょう 創作的活動や生産活動の機会を提 供します	1	2	1	2
②⑦ にっちゅういちしえん 日中一時支援 にっちゅう かつどう ば かくほ しえん 日 中における活動の場の確保を支援します	1	2	1	2
②⑧ ほうもんにゅうよく 訪問入浴 しせつ よくそう はこ じたく にゅうよく 施設から浴槽を運び、自宅で入 浴サービ すを提 供します	1	2	1	2
②⑨ こうせいくんれんひきゅうふ 更生訓練費給付 じりつくんれんまた しゅうろういこうしえん う 自立訓練又は就労移行支援サービスを受けて いる、社会復帰を目指す人を支援します	1	2	1	2
③⑩ せいかつ 生活サポート きょたくかいこ しきゅうけつてい う 居宅介護の支給決定を受けることができない ひと にちじょうせいかつ か し たい しえん ひつよう 人が日 常 生 活や家事に対する支援を必要と するときにホームヘルパーを派遣します	1	2	1	2
③⑪ じどうしゃうんてんめんきょしゅどくきょうしゅうひじょせい 自動車運転免許取得教習費助成 じどうしゃうんてんめんきょ しゅどく ぎょう ひよう 自動車運転免許の取得に要 する費用の いちぶ じょせい 一部を助成します	1	2	1	2
③⑫ じどうしゃかいぞうひじょせい 自動車改造費助成 じどうしゃ かいぞう ぎょう ひよう いちぶ じょせい 自動車の改造に要 する費用の一部を助成 します	1	2	1	2

相談相手についてお聞きします

問36 あなたは、普段悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談しない (理由:)
2. 家族や親せき
3. 友人・知人
4. 近所の人
5. 職場の上司や同僚
6. 相談支援専門員
7. 施設の指導員など
8. ホームヘルパーなどサービス事業所の人
9. 障がい者団体や家族会
10. かかりつけの医師や看護師
11. 病 院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
12. 民生委員・児童委員
13. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
14. 民間の相談窓口
15. 行政機関の相談窓口
16. その他 ()

問37 あなたは 障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
2. 行政機関の広報誌
3. インターネット
4. 家族や親せき、友人・知人
5. 相談支援専門員
6. 施設の指導員やホームヘルパーなどサービス事業所の人
7. 障がい者団体や家族会 (団体の機関誌など)
8. かかりつけの医師や看護師
9. 病 院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
10. 民生委員・児童委員
11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生
12. 民間の相談窓口
13. 行政機関の相談窓口
14. その他 ()

けんりようご 権利擁護についてお聞きます

問38 あなたは、障がいがあることで差別を受けた、または嫌な思いをしたことがありますか。

(○は1つだけ)

1. ある	2. 少しある	3. ない
-------	---------	-------

【問38で、「1」または「2」を答えた方】

問39 どのような場所で差別を受けたり嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 近所	5. 福祉施設
2. 市役所などの公共施設	6. 住んでいる地域
3. 病院などの医療機関	7. その他()
4. 学校・職場	

それはどのような場合でしたか。差し支えない範囲でご記入ください。

問40 あなたは長岡京市民の障がい者に対する理解は進んできたと思いますか。

(○は1つだけ)

1. かなり進んできた	3. 進んでいない
2. まあまあ進んできた	4. どちらともいえない

問41 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

※成年後見制度とは、判断能力が不十分なために財産侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれたりすることがないように、法律面や生活面で支援する制度です。

さいがいじ ひなんとう き
災害時の避難等についてお聞きします

とい か じ じしんとう さいがいじ ひとり ひなん
問42 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(〇は1つだけ)

1. できる 2. できない 3. わからない

とい かぞく ふざい ばあい ひとりぐ ばあい きんじょ たす ひと
問43 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。
(〇は1つだけ)

1. いる 2. いない 3. わからない

とい か じ じしんとう さいがいじ しょう こま しんぱい
問44 火事や地震等の災害時、障がいがあることで困ること、心配なことはありますか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. 特にない
2. 治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない
3. 補装具(車いす、補聴器、白杖、義足など)が使用しづらくなる
4. 補装具(車いす、補聴器、白杖、義足など)や日常生活用具を手に入れにくくなる
5. 救助を求めることができない
6. 安全なところまで、すばやく避難することができない
7. 被害状況、避難場所などの情報が手に入れない
8. 周囲とコミュニケーションがとれない
9. 避難場所の設備(トイレ等)が不安
10. 避難場所の生活環境(他人との関わり等)が不安
11. その他()

しつもん いじょう さいご しょう ふくし ぎょうせい とりぐみ なに いけん
質問は以上です。最後に、障がい福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。